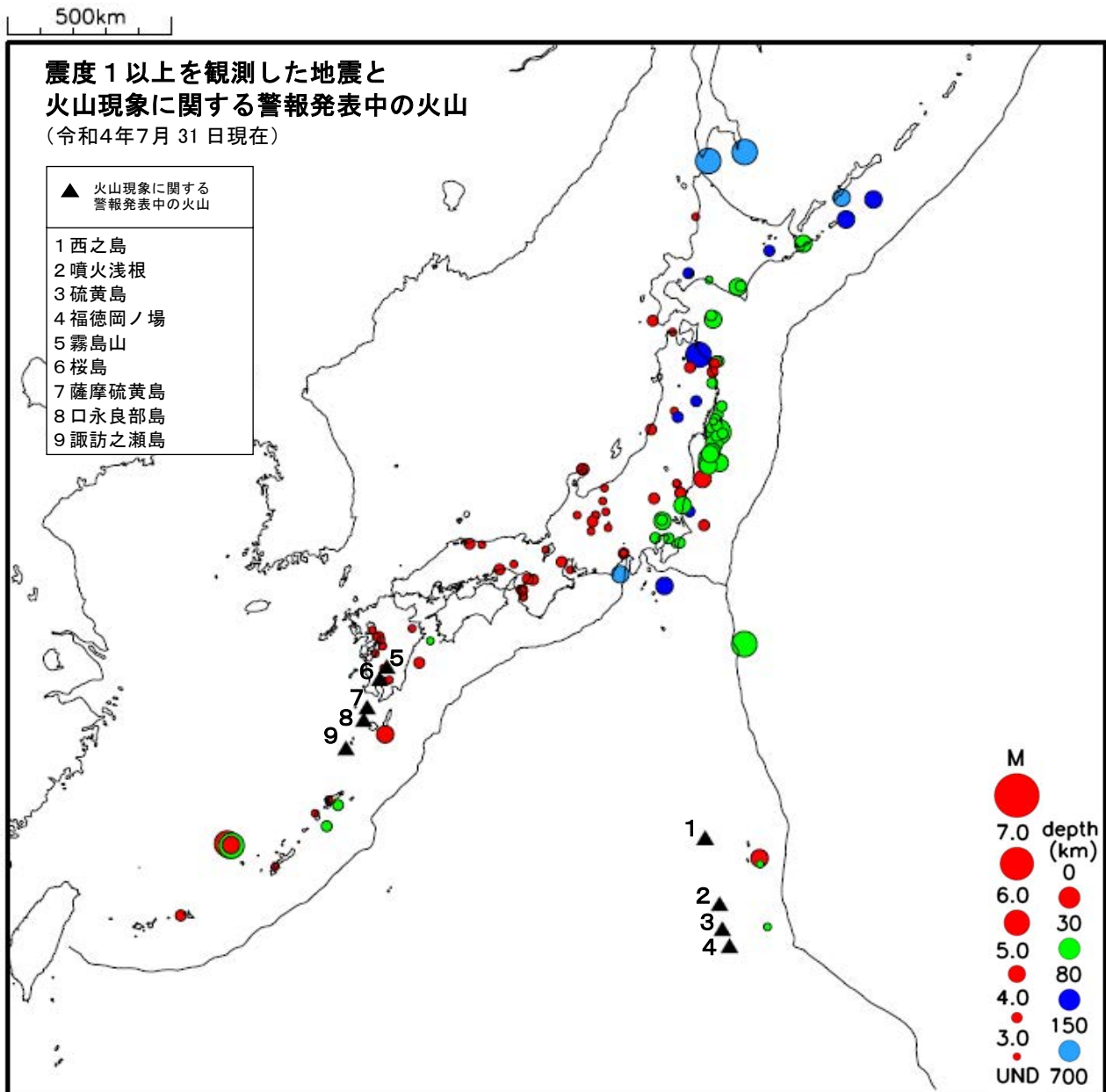


令和4年7月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

July 2022



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和4年7月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和4年7月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

M_w：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N = xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	4
東北地方の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	14
近畿・中国・四国地方の地震活動	16
九州地方の地震活動	17
沖縄地方の地震活動	18
その他の地域の地震活動	20
● 南海トラフ周辺の地殻活動	21
● 日本の主な火山活動	24
北海道地方の火山活動	36
東北地方の火山活動	38
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	40
近畿・中国・四国地方の火山活動	44
九州地方の火山活動	45
沖縄地方の火山活動	49
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	50
● 世界の主な地震	52
● 世界の主な火山活動	54
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	55
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	73
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	74
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	75
5. 緊急地震速報の提供状況	76

● 日本及びその周辺での主な地震活動

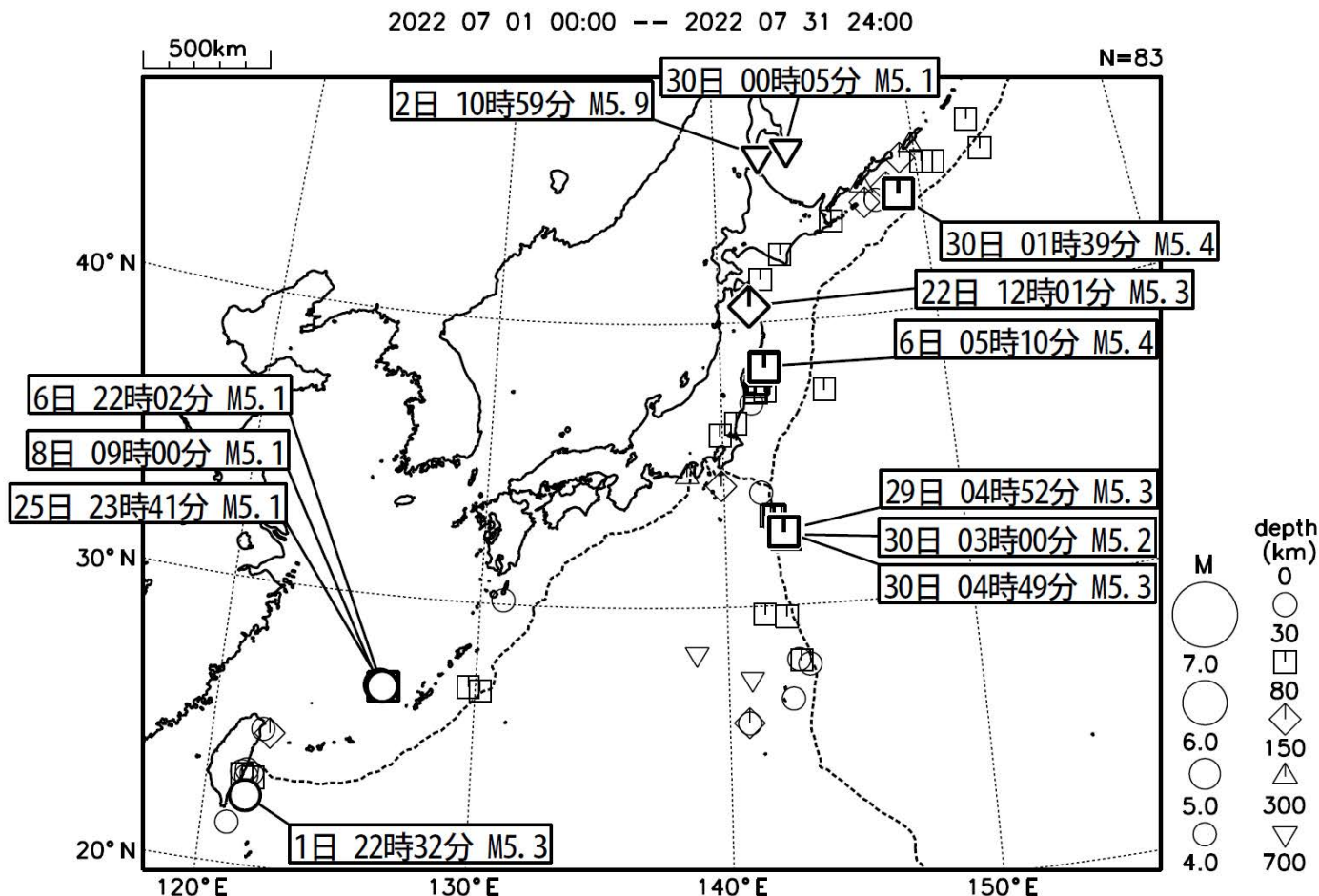


図1 令和4年7月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和4年(2022年)7月に日本国内で震度4以上を観測した地震は2回(6月は6回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は83回(6月は112回)であった(図1)。

7月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。7月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震もなかった(6月は震度5弱以上を観測した地震は3回、津波を観測した地震はなかった)。

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和4年7月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	7 2 10 59	宗谷海峡	5.9	5.9	・ ・ ・ ・	3：北海道 猿払町浅茅野* 青森県 階上町道仏*	5～7
2	7 5 17 52	日高地方東部	4.9	4.9	・ ・ ・ ・	3：北海道 浦河町塩見 幕別町忠類錦町* など1道4地点	8
3	7 6 5 10	宮城県沖	5.4	5.3	・ ・ S ・	4：岩手県 住田町世田米* 北上市相去町* など2県23地点	3、12
4	7 22 12 1	青森県三八上北地方	5.3	5.2	・ ・ S ・	4：青森県 階上町道仏*	3、13
5		石川県能登地方の地震活動			・ ・ ・ ・	2020年12月から続く石川県能登地方の地震活動の中で発生した地震 7月中に震度1以上を観測する地震が9回（震度2：1回、震度1：8回）（注7）	15
6		沖縄本島北西沖の地震活動			・ ・ ・ ・	2022年1月30日から続く沖縄本島北西沖の地震活動の中で発生した地震 7月中に震度1以上を観測する地震が5回（震度2：4回、震度1：1回）	19
7		福島県沖の地震活動			・ ・ ・ ・	2022年3月16日から続く福島県沖の地震活動の中で発生した地震 7月中に震度1以上を観測する地震が7回（震度2：3回、震度1：4回）（注8）	10、11

（注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

（注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注4）Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。

（注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

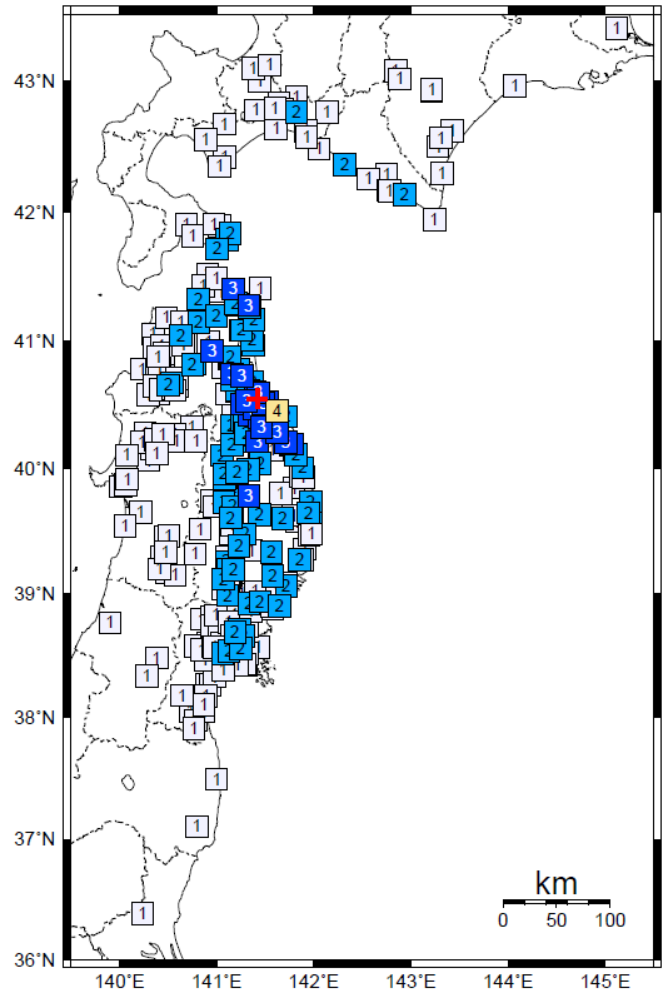
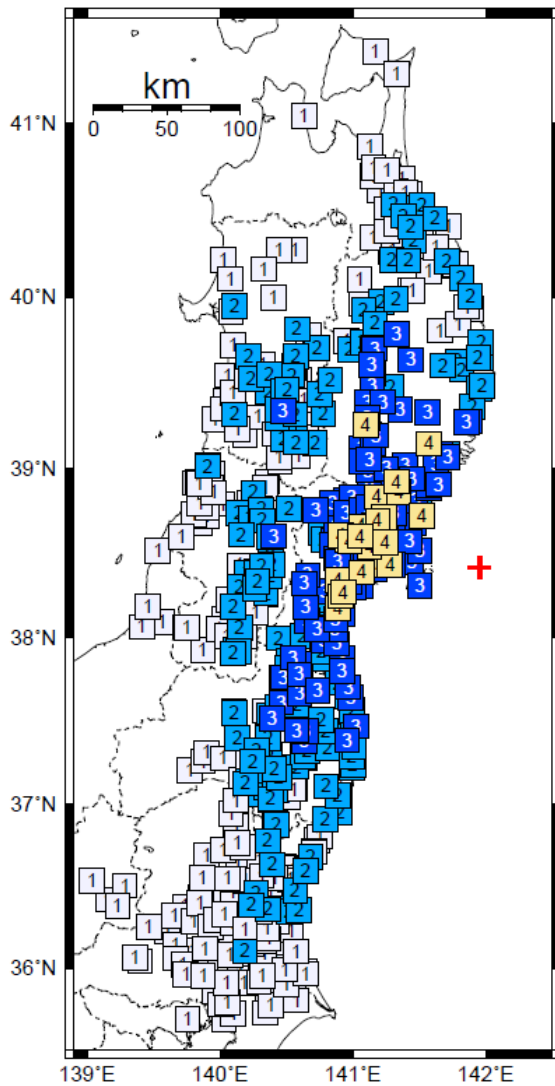
（注6）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注7）能登半島沖で発生した地震2回を含む。

（注8）宮城県沖で発生した地震4回を含む。

3 7月6日05時10分 宮城県沖
(M5.4、深さ63km、最大震度4)

4 7月22日12時01分 青森県三八上北地方
(M5.3、深さ86km、最大震度4)



震度分布図 凡例	
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

図4 震度分布図

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース (<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

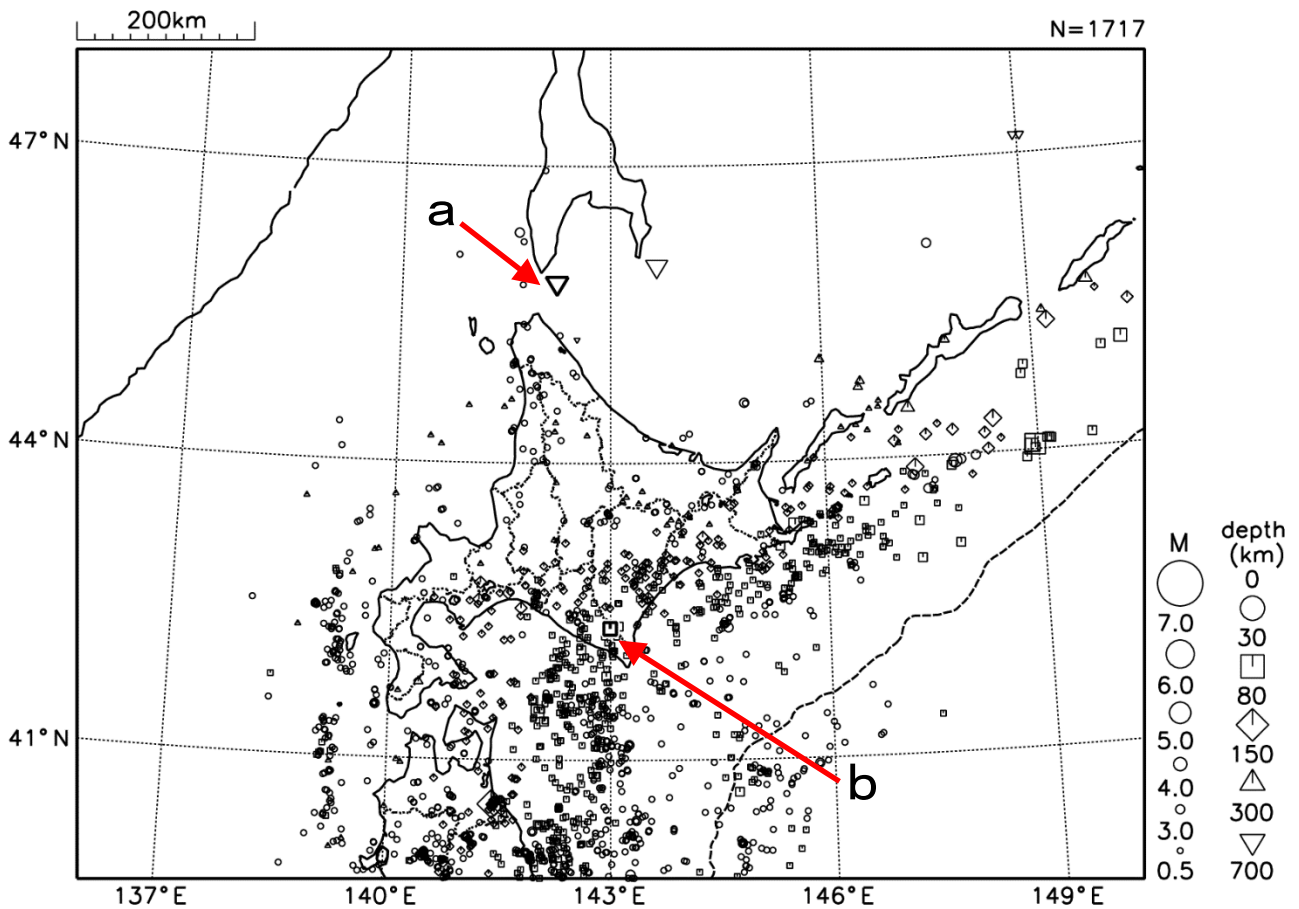


図5 北海道地方の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

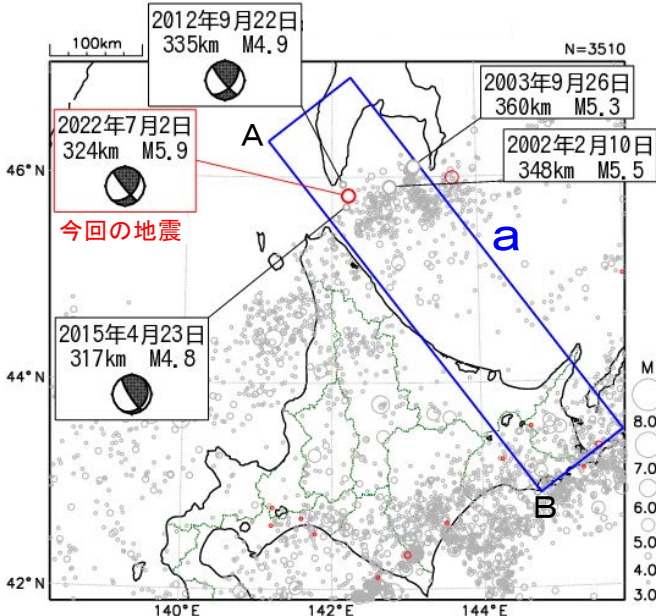
7月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は15回（6月は12回）であった。7月中の主な地震活動は次のとおりである。

2日10時59分に宗谷海峡の深さ324kmでM5.9の地震（図5中のa）が発生し、北海道猿払村、青森県階上町で震度3を観測したほか、北海道及び東北地方で震度2～1を観測した（p. 5～7参照）。

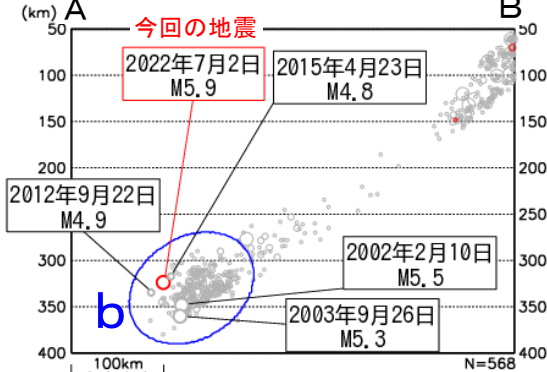
5日17時52分に日高地方東部の深さ53kmでM4.9の地震（図5中のb）が発生し、北海道日高、十勝地方で震度3を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度2～1を観測した（p. 8参照）。

7月2日 宗谷海峡の地震

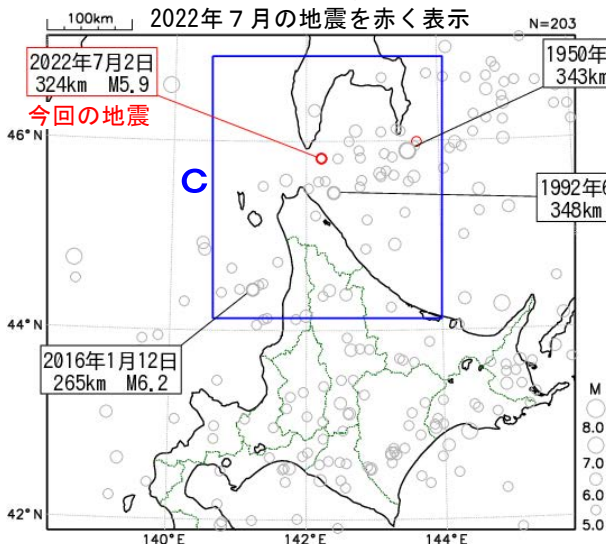
震央分布図
 (2001年10月1日～2022年7月31日、
 深さ50～400km、 $M \geq 3.0$)
 2022年7月の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
 (1919年1月1日～2022年7月31日、
 深さ100～600km、 $M \geq 5.0$)
 2022年7月の地震を赤く表示

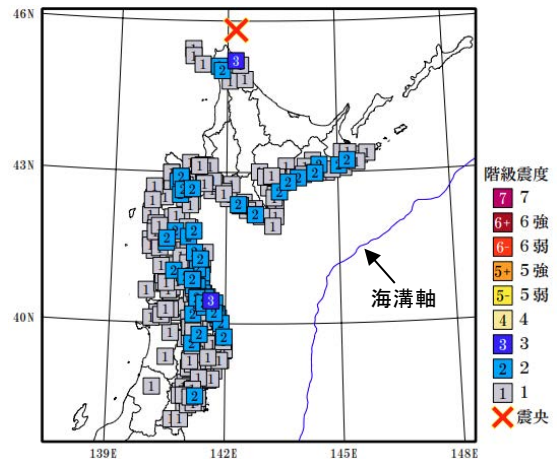


2022年7月2日10時59分に宗谷海峡の深さ324kmでM5.9の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震では、「異常震域」と呼ばれる現象により、震央から離れた北海道の太平洋側や東北地方でも震度3～1の揺れを観測している。

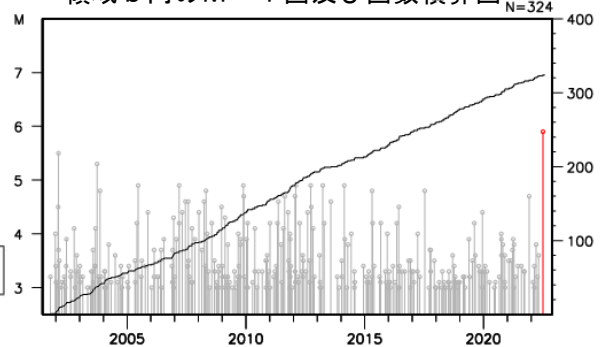
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2002年2月10日のM5.5の地震 (最大震度1) などM5程度の地震が時々発生している。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。

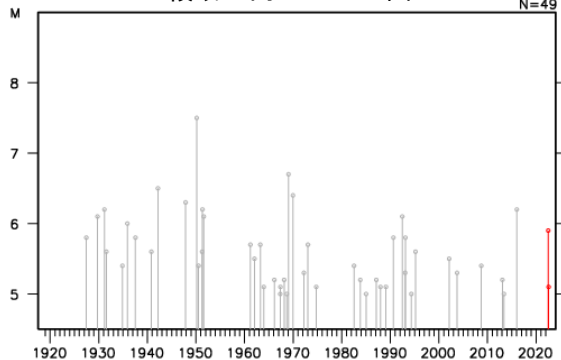
今回の地震の震度分布図



領域 b 内のM-T図及び回数積算図



領域 c 内のM-T図



【参考】震央付近の場所よりも震央から離れた場所で大きな震度を観測する地震について

震源が非常に深い場合、震源の真上ではほとんど揺れないのに、震源から遠くはなれた場所で揺れを感じることがあります（次ページ参照）。この現象は、「異常震域」という名称で知られています。原因は、地球内部の岩盤の性質の違いによるものです。

プレートがぶつかり合うようなところでは、陸のプレートの地下深くまで海洋プレートが潜り込んで（沈み込んで）います。通常、地震波は震源から遠くになるほど減衰するものですが、この海洋プレートは地震波をあまり減衰せず伝えやすい性質を持っています。このため、沈み込んだ海洋プレートのかなり深い場所で地震が発生すると（深発地震）、真上には地震波があまり伝わらないにもかかわらず、海洋プレートでは地震波はあまり減衰せずに遠くの場所まで伝わります（下図）。その結果、震源直上の地表での揺れ（震度）が小さくとも、震源から遠く離れた場所で震度が大きくなる場合があります。

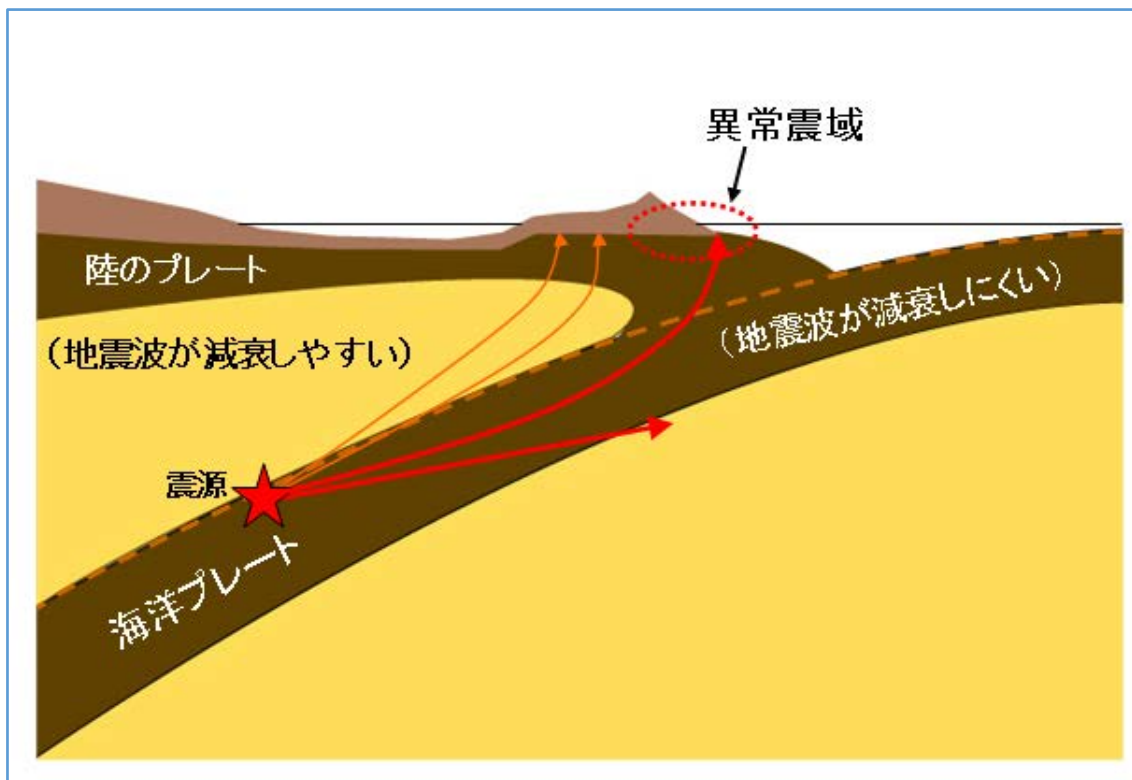
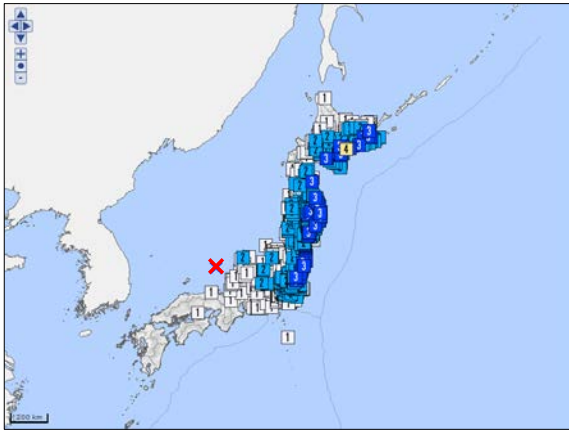
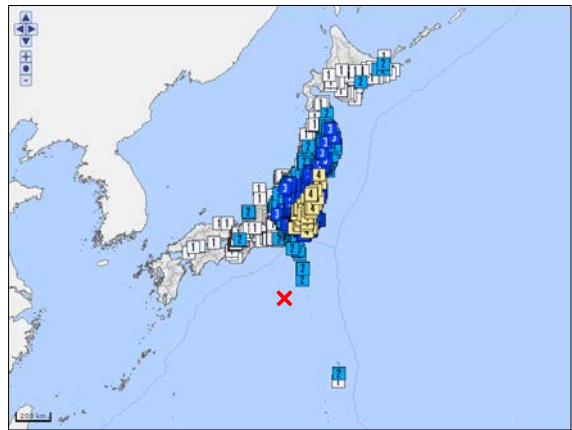


図 深発地震と異常震域

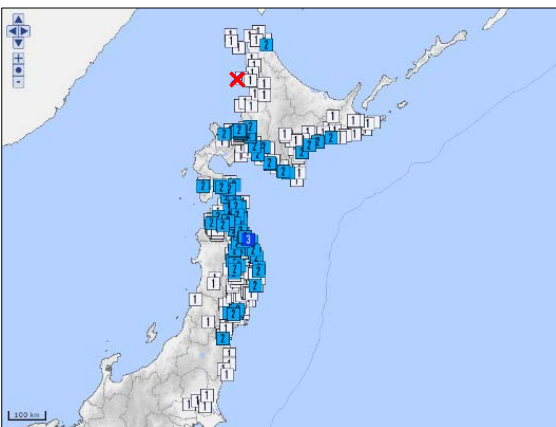
◇ 異常震域のあった過去の地震の震度分布図の例



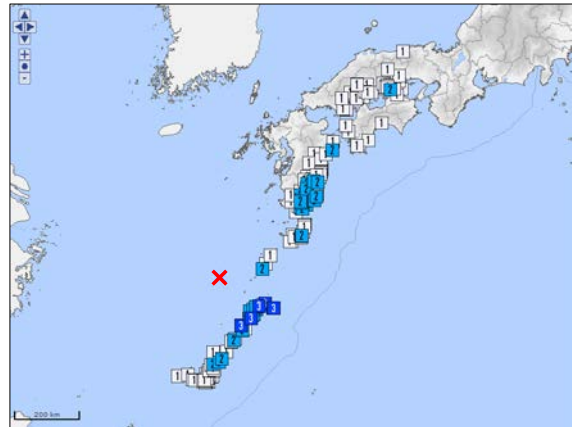
2007年7月16日の京都府沖の地震
(M6.7、震源の深さ374km)



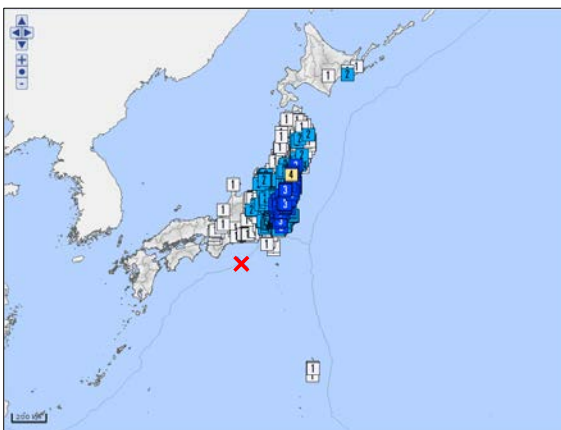
2012年1月1日の鳥島近海の地震
(M7.0、震源の深さ397km)



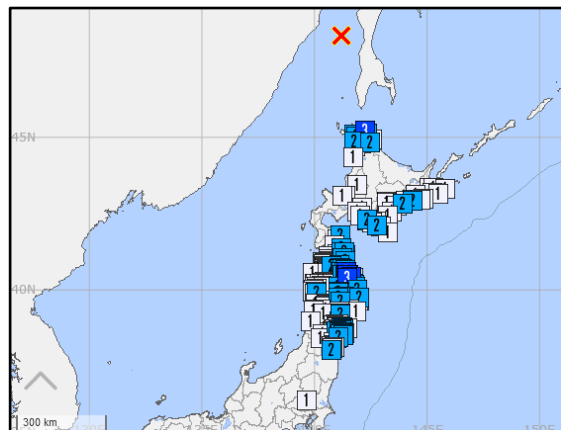
2016年1月12日の北海道北西沖の地震
(M6.2、震源の深さ265km)



2019年7月13日の奄美大島北西沖の地震
(M6.0、震源の深さ256km)



2019年7月28日の三重県南東沖の地震
(M6.6、震源の深さ393km)



2020年12月1日のサハリン西方沖の地震
(M6.7、震源の深さ619km)

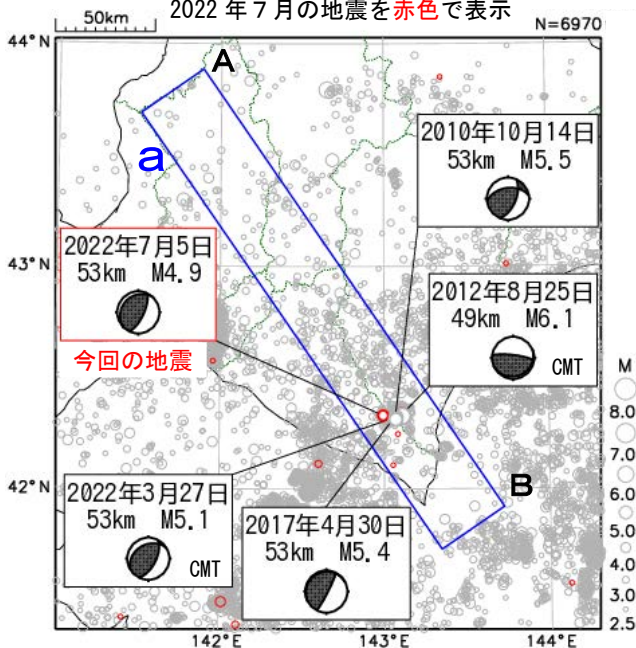
※震度分布図は気象庁の震度データベース検索
(気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/>)にて検索したものを
※震度分布図の地図に国土交通省国土数値情報のデータを使用している。

7月5日 日高地方東部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)

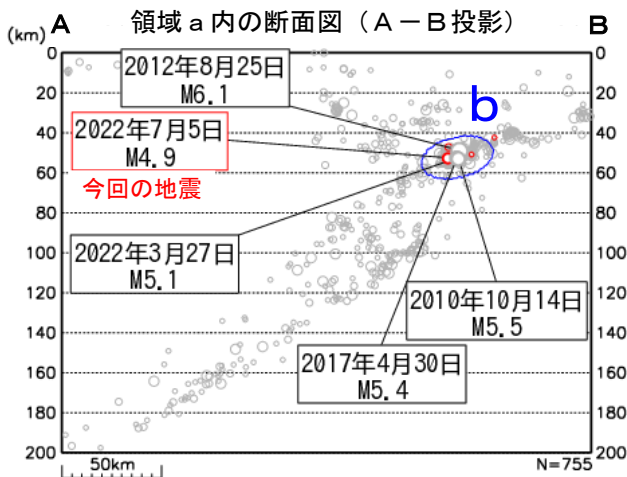
2022年7月の地震を赤色で表示



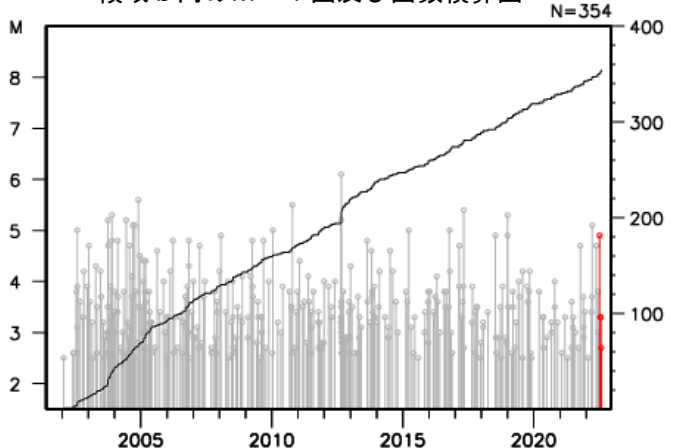
2022年7月5日17時52分に日高地方東部の深さ53kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5クラスの地震がしばしば発生している。直近では、2022年3月27日にM5.1の地震（最大震度4）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1970年1月21日に発生したM6.7の地震（最大震度5）により、負傷者32人、住家全壊2棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

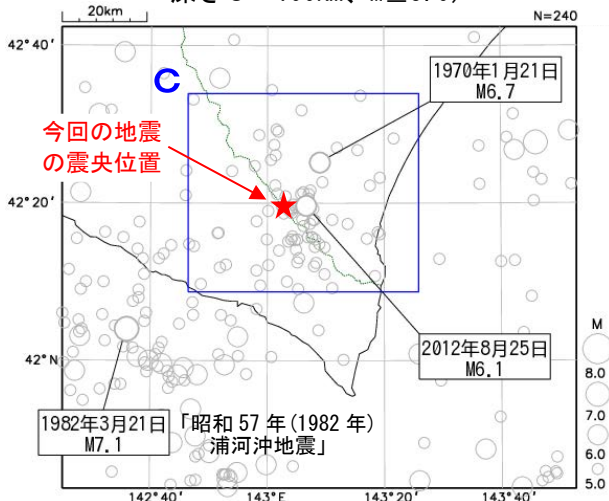


領域b内のM-T図及び回数積算図

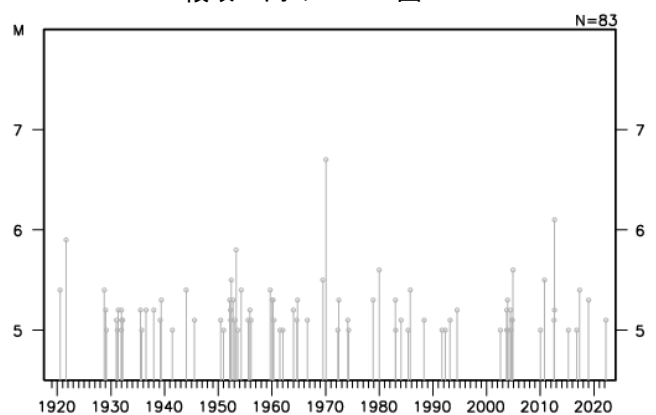


震央分布図

(1919年1月1日～2022年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

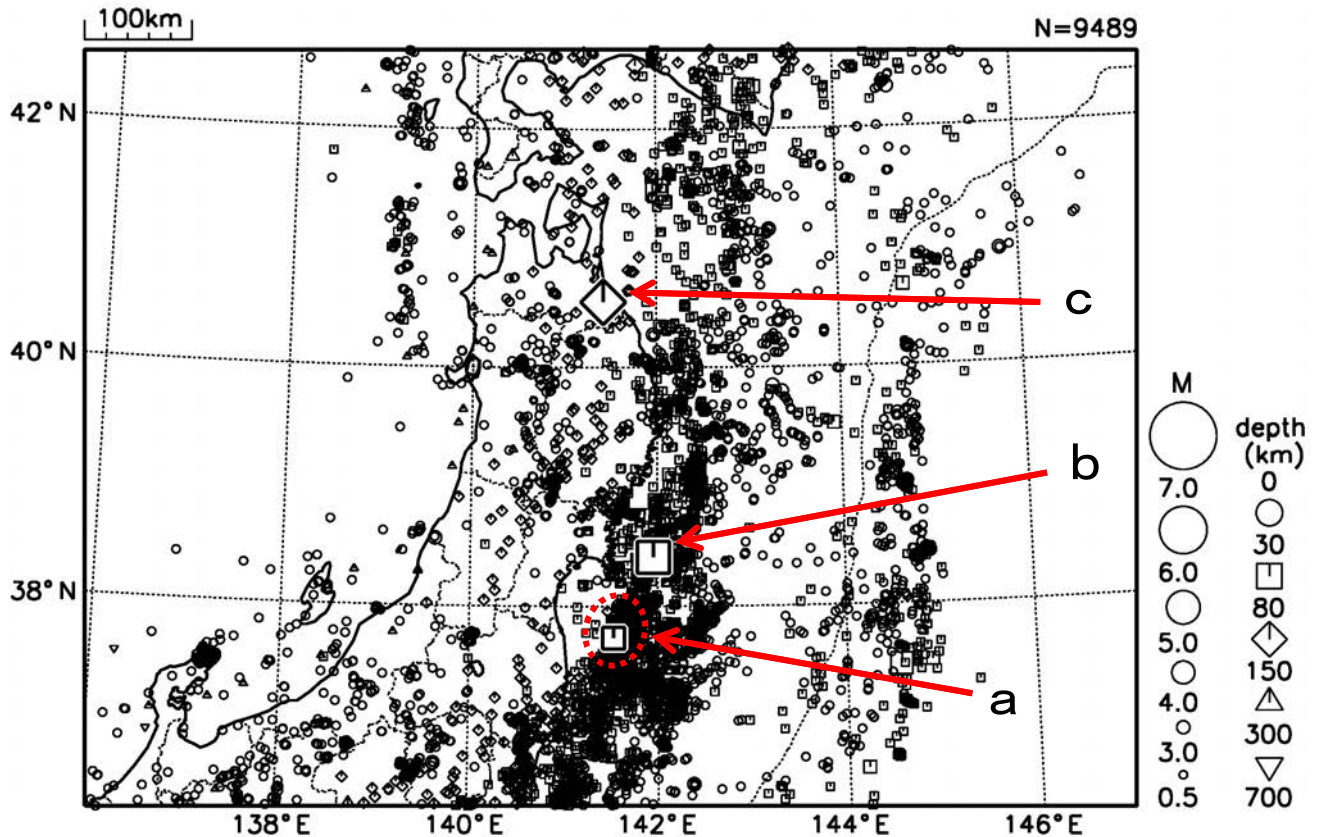


図6 東北地方の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

7月に東北地方で震度1以上を観測した地震は46回（6月は49回）であった。7月中の主な活動は次のとおりである。

福島県沖では7月に震度1以上を観測した地震が7回（震度2：3回、震度1：4回）発生した（図6中のa）。このうち最大規模の地震は7日17時03分に発生したM4.4の地震であり、福島県、宮城県で震度2を観測したほか、東北地方と関東地方で震度1を観測した（p.10、11参照）。

22日12時01分に青森県三八上北地方の深さ86kmでM5.3の地震（図6中のc）が発生し、青森県階上町で震度4を観測したほか、北海道、東北地方及び茨城県で震度3～1を観測した（p.13参照）。

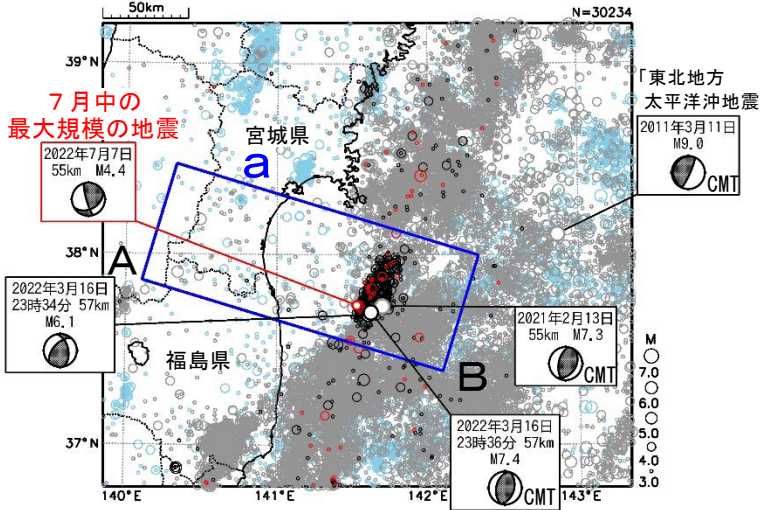
6日05時10分に宮城県沖の深さ63kmでM5.4の地震（図6中のb）が発生し、宮城県、岩手県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した（p.12参照）。

3月16日からの福島県沖の地震活動

震央分布図

(1997年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

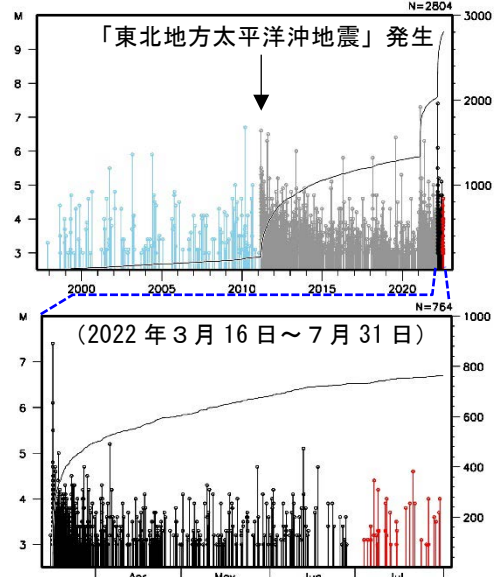
2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2022年3月16日以降に発生した地震を黒色、
2022年7月に発生した地震を赤色で表示



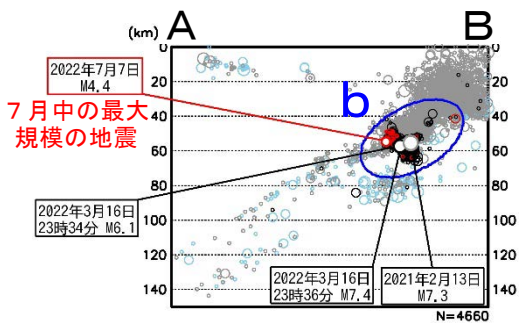
福島県沖では、2022年3月16日のM7.4の地震（最大震度6強）の発生後、震源付近で地震活動が活発になった。この地震活動により、震度1以上を観測する地震が、3月は107回、4月、5月、6月はそれぞれ18回、7月は7回（次ページ参照）発生するなど、地震活動は、当初に比べて低下してきているものの、依然として継続している。このうち7月中の最大規模の地震は7日17時03分に発生したM4.4の地震（最大震度2）である。

1997年10月以降の活動をみると、領域bでは「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前はM5.0以上の地震がまれに発生していたが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



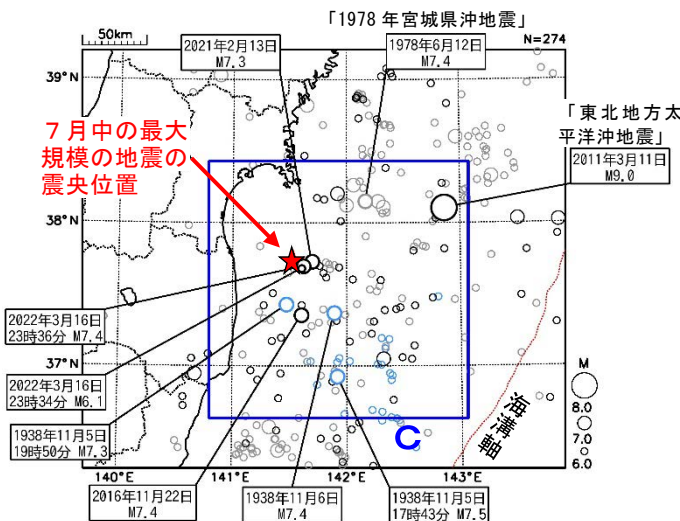
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

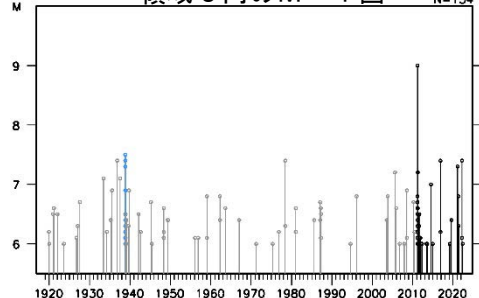
(1919年1月1日～2022年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

1938年11月5日～1938年11月30日の地震を水色、
2011年3月11日以降の地震を黒色、
その他の期間を灰色で表示



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、同年11月30日までにM6.0以上の地震回数が増加するなど、福島県沖で地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

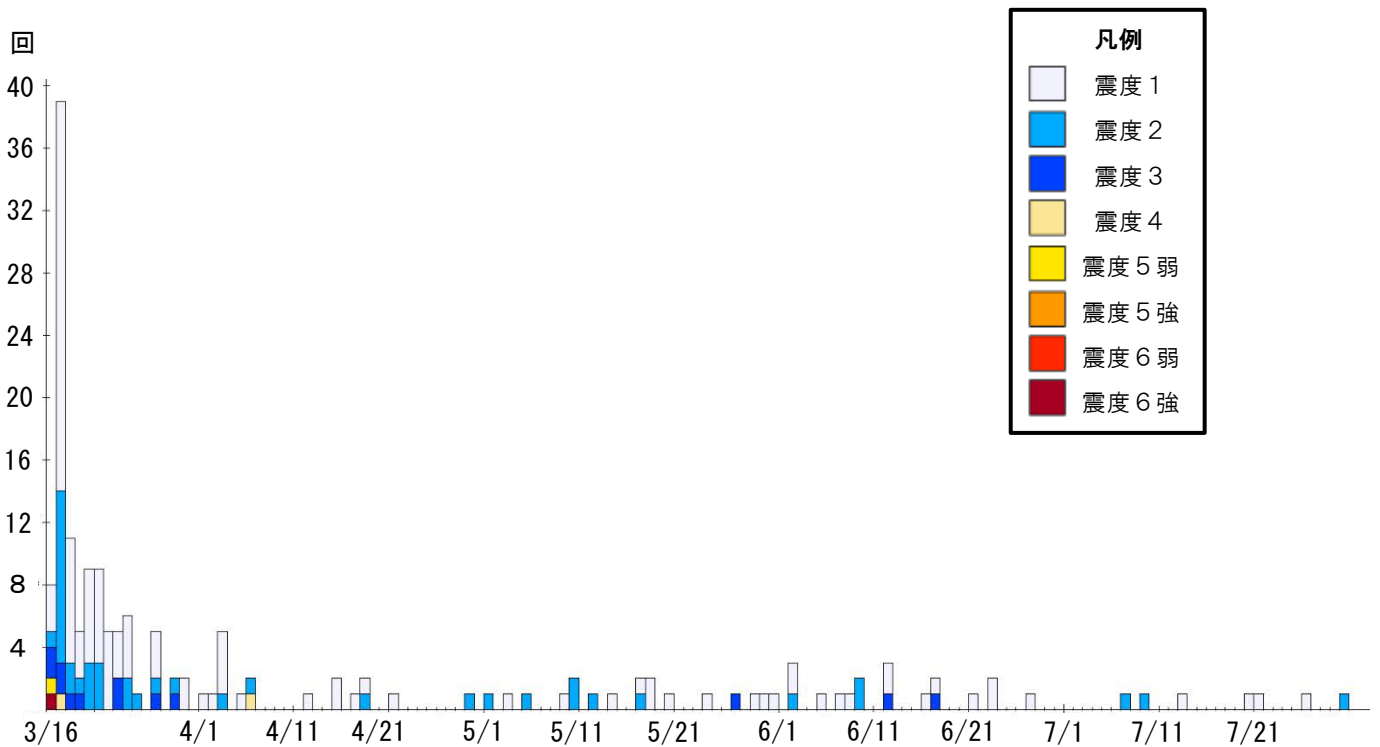


気象庁作成

震度1以上の月別最大震度別地震回数表
(2022年3月16日～7月31日)

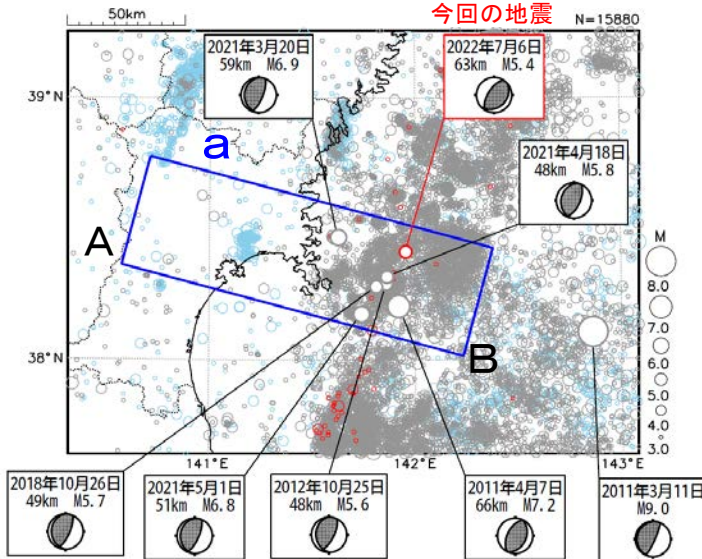
期間	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	累計	
2022/3/16～3/31	68	26	10	1	1	0	0	1	0	107	107	
2022/4/1～4/30	13	4	0	1	0	0	0	0	0	18	125	
2022/5/1～5/31	11	6	1	0	0	0	0	0	0	18	143	
2022/6/1～6/30	13	3	2	0	0	0	0	0	0	18	161	
2022/7/1～7/31	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	168	
総数	109	42	13	2	1	0	0	1	0	168		

震度1以上の日別地震回数グラフ
(2022年3月16日～7月31日)



7月6日 宮城県沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2022年7月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
 2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
 2022年7月に発生した地震を**赤色**で表示
 発震機構はCMT解

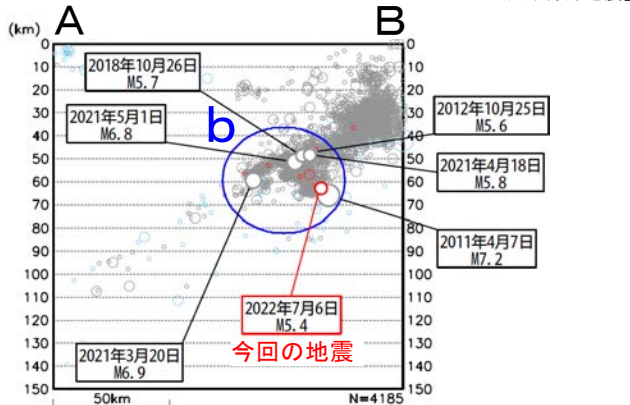


2022年7月6日05時10分に宮城県沖の深さ63kmで $M 5.4$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

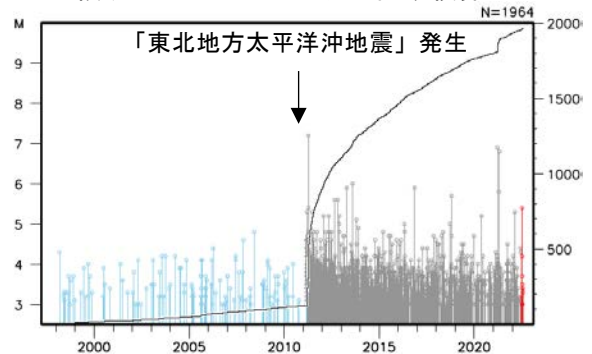
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前は $M 5.0$ 以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生前から $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、1978年6月12日に発生した「1978年宮城県沖地震」（ $M 7.4$ 、最大震度5）では、気仙沼漁港で120cm（全振幅）の津波を観測した。この地震により、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟、半壊5,574棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

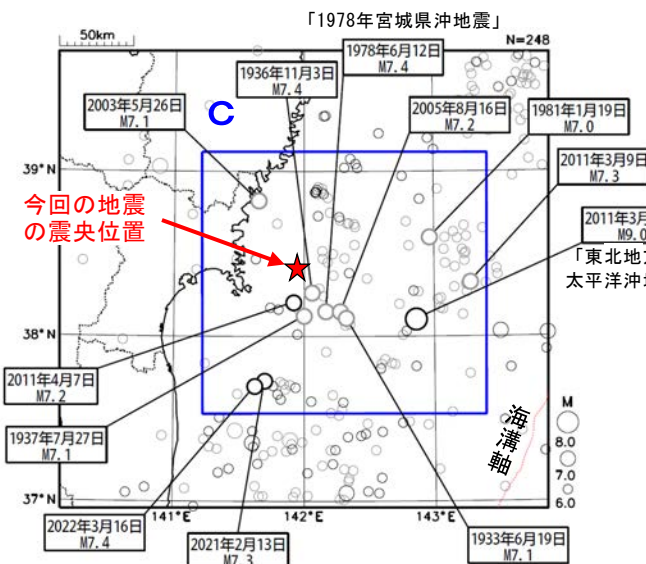
領域a内の断面図（A－B投影）



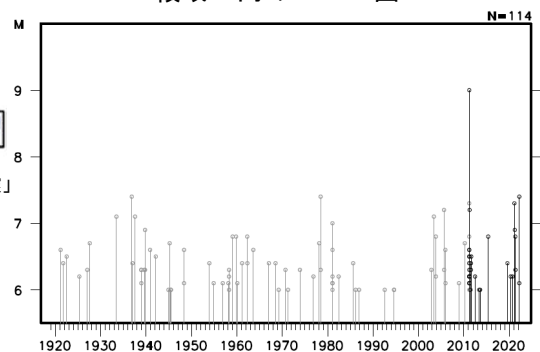
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2022年7月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
 2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示

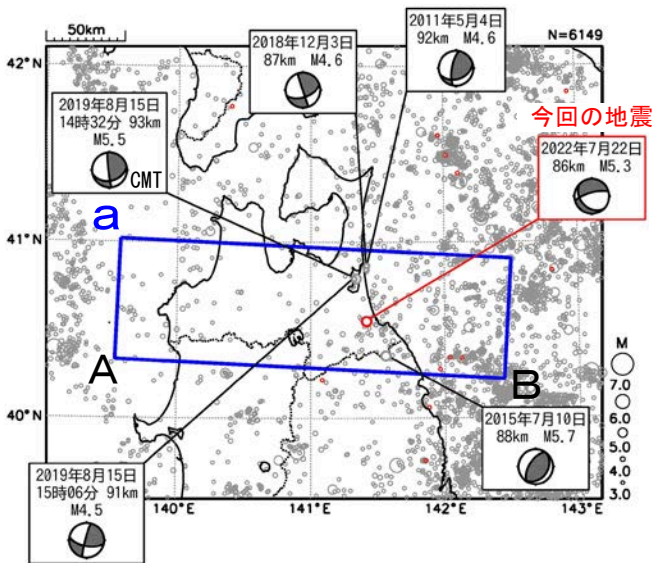


領域c内のM－T図



7月22日 青森県三八上北地方の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2022年7月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 3.0$)、
 2022年7月の地震を赤色で表示

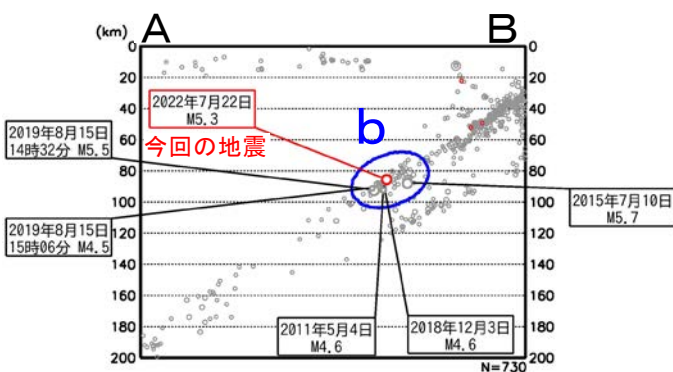


2022年7月22日12時01分に青森県三八上北地方の深さ86kmで $M5.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ型である。

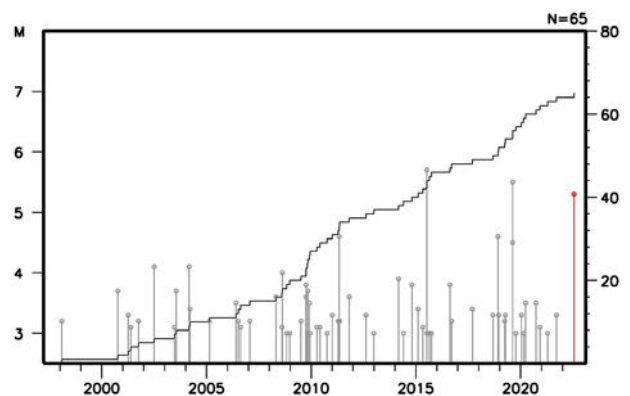
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M4.0$ 以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震である $M7.2$ の地震（最大震度5）が発生した。

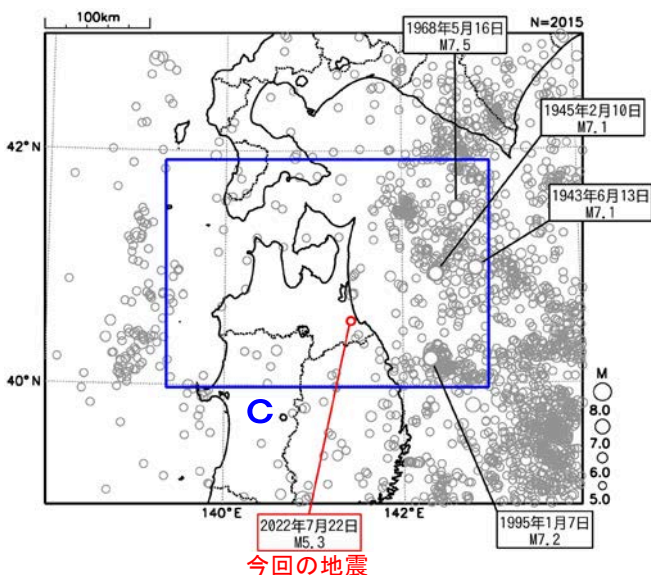
領域a内の断面図（A-B投影）



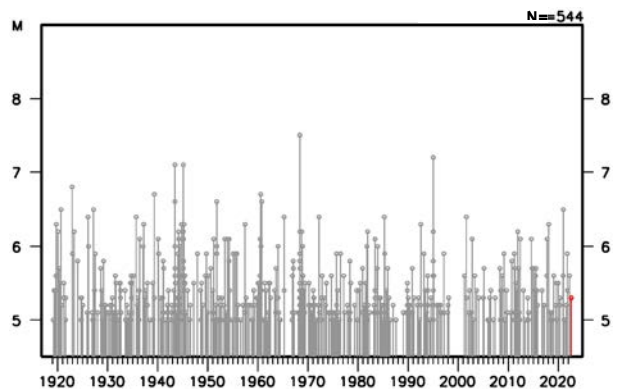
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2022年7月31日、
 深さ0～200km、 $M \geq 5.0$)、
 2022年7月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

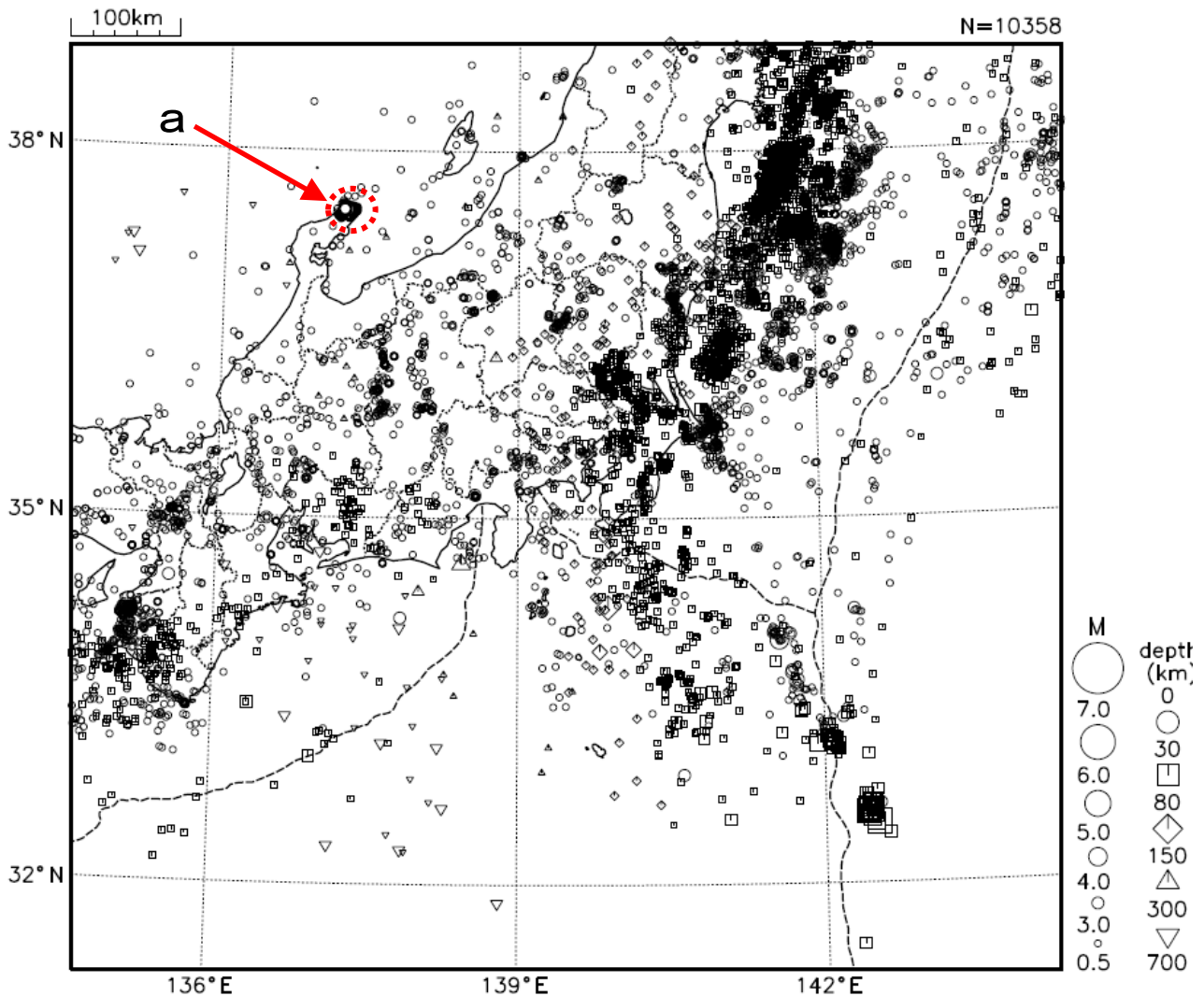


図7 関東・中部地方の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は55回（6月は69回）であった。7月中の主な活動は次の通りである。

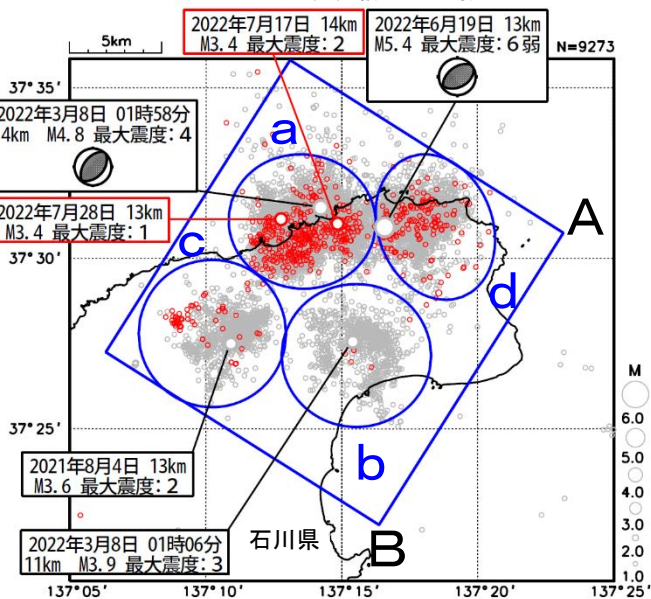
石川県能登地方では7月中に震度1以上を観測した地震が9回（震度2：1回、震度1：8回）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は、17日20時51分に深さ14kmで発生したM3.4の地震（震央地名は能登半島沖、最大震度2）及び28日21時52分に深さ13kmで発生したM3.4の地震（震央地名は能登半島沖、最大震度1）である（p.15参照）。

石川県能登地方の地震活動

震央分布図

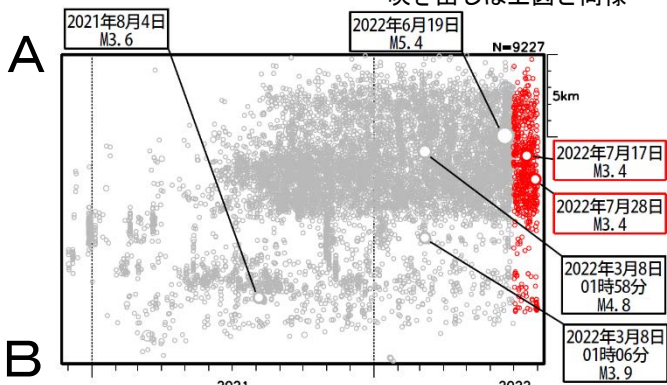
(2020年12月1日～2022年7月31日、
深さ0～25km、M \geq 1.0)

黒色の吹き出しは領域a～dの各領域内で最大規模の地震
赤色の吹き出しは矩形内で2022年7月中の最大規模の地震
2022年7月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

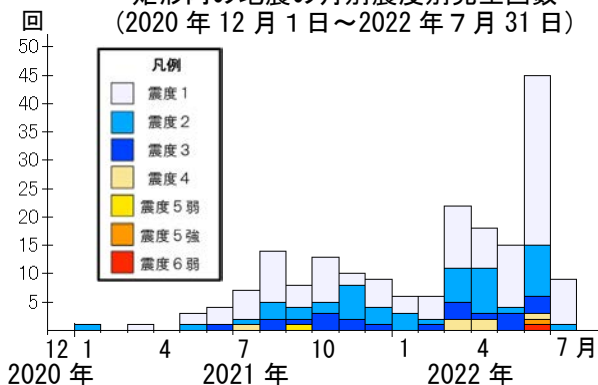


上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)

吹き出しは上図と同様



矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2022年7月31日)



期間別・震度別の地震発生回数表

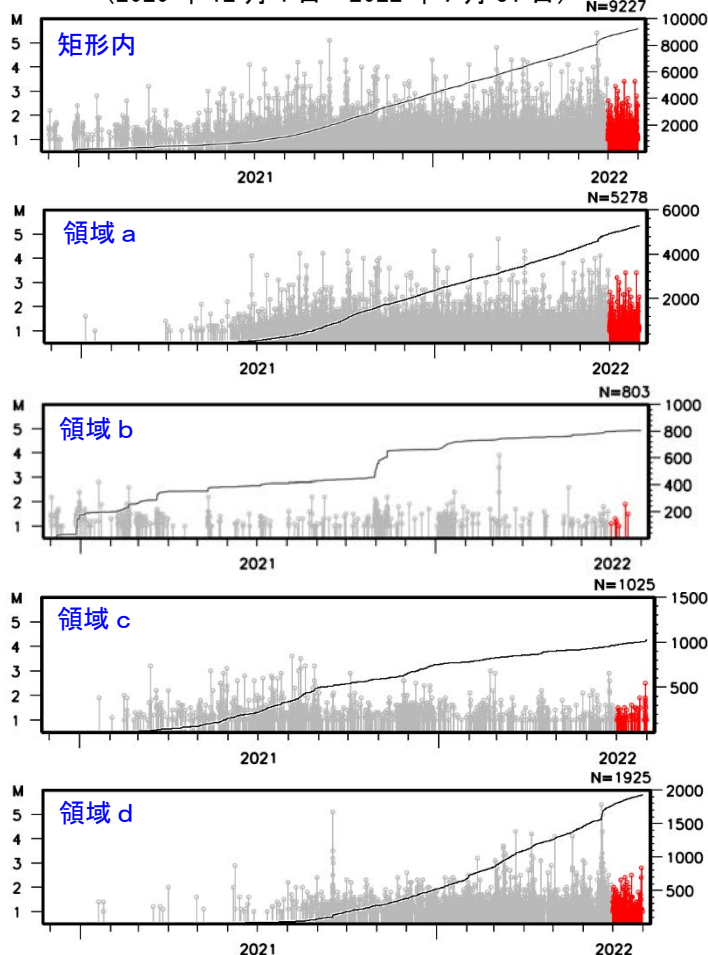
期間	最大震度別回数							計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	
2020年12月1日 ～2022年6月30日	105	47	21	6	1	1	1	182
2022年7月1日～31日	8	1	0	0	0	0	0	9
計	113	48	21	6	1	1	1	191

石川県能登地方（矩形内）では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2022年7月中もその傾向は継続している。2022年7月中の最大規模の地震は、17日に能登半島沖で発生したM3.4の地震（最大震度2）及び28日に能登半島沖で発生したM3.4の地震（最大震度1）である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4の地震（最大震度6弱）である。

2020年12月以降の領域別の地震活動をみると、最初に活発化した領域bの活動は、2021年4月以降鈍化傾向であるが、2021年11月初頭前後、2022年1月頃及び3月頃に一時的に活発になった。領域bに続き活発化した領域cの活動も、2021年9月以降鈍化傾向であるが、2021年12月にやや活発になった。一方、遅れて2021年半ば頃から活発化した領域a及び領域dの活動は依然活発である。矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は期間別・震度別の地震発生回数表のとおり。

左図矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図

(2020年12月1日～2022年7月31日)



○近畿・中国・四国地方の地震活動

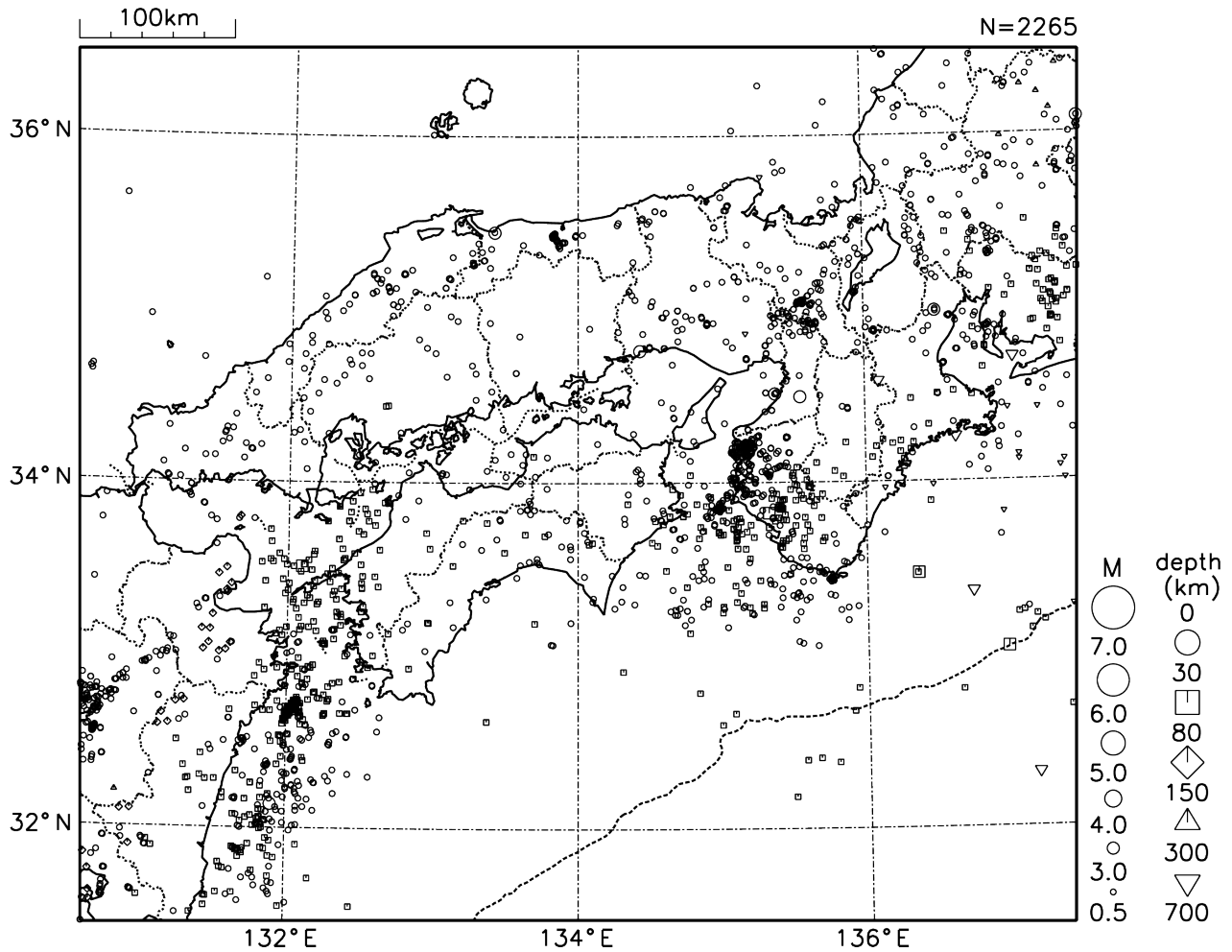


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は12回（6月は23回）であった。7月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

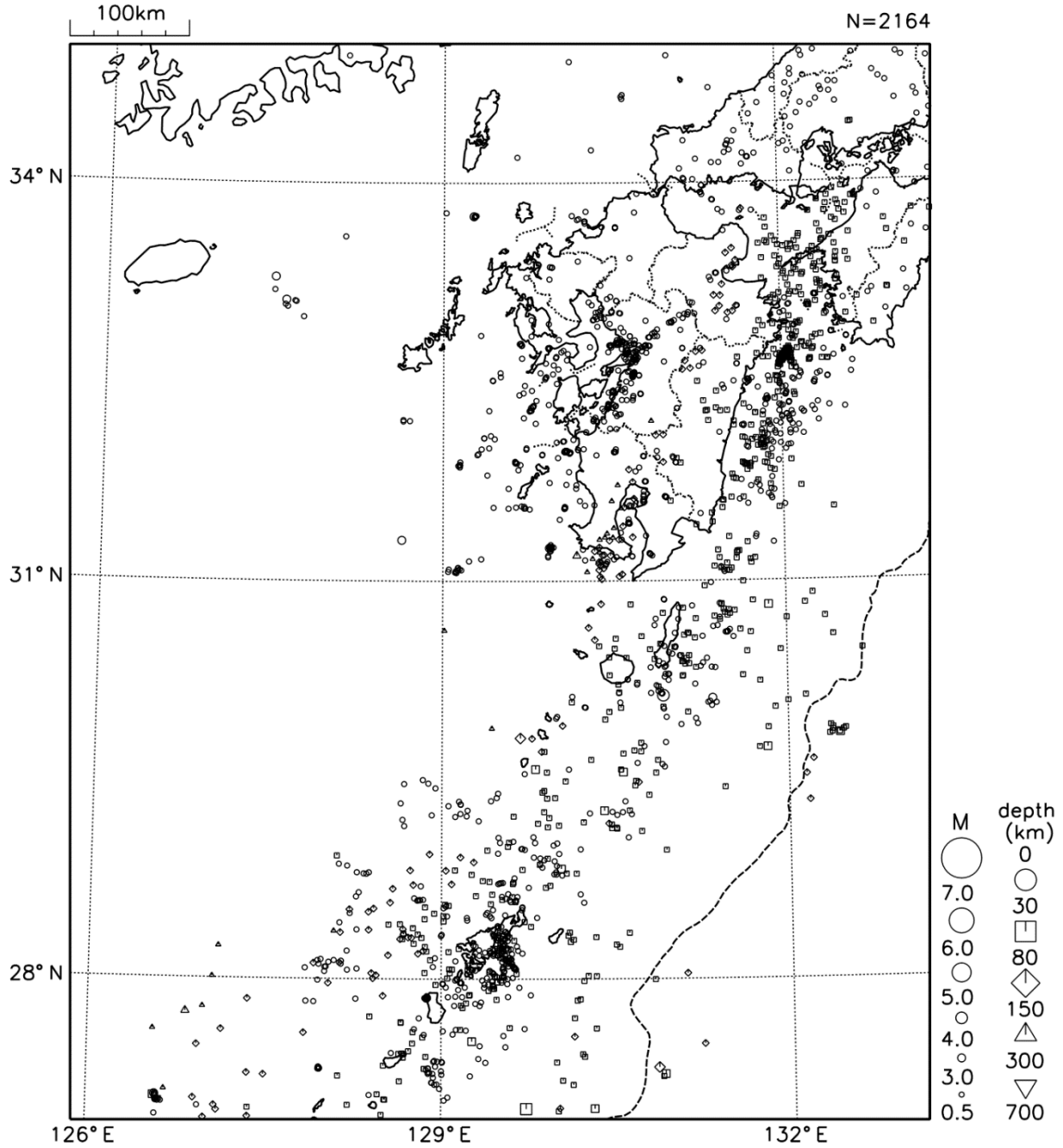


図9 九州地方の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、M \geq 0.5）

[概況]

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は17回（6月は30回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

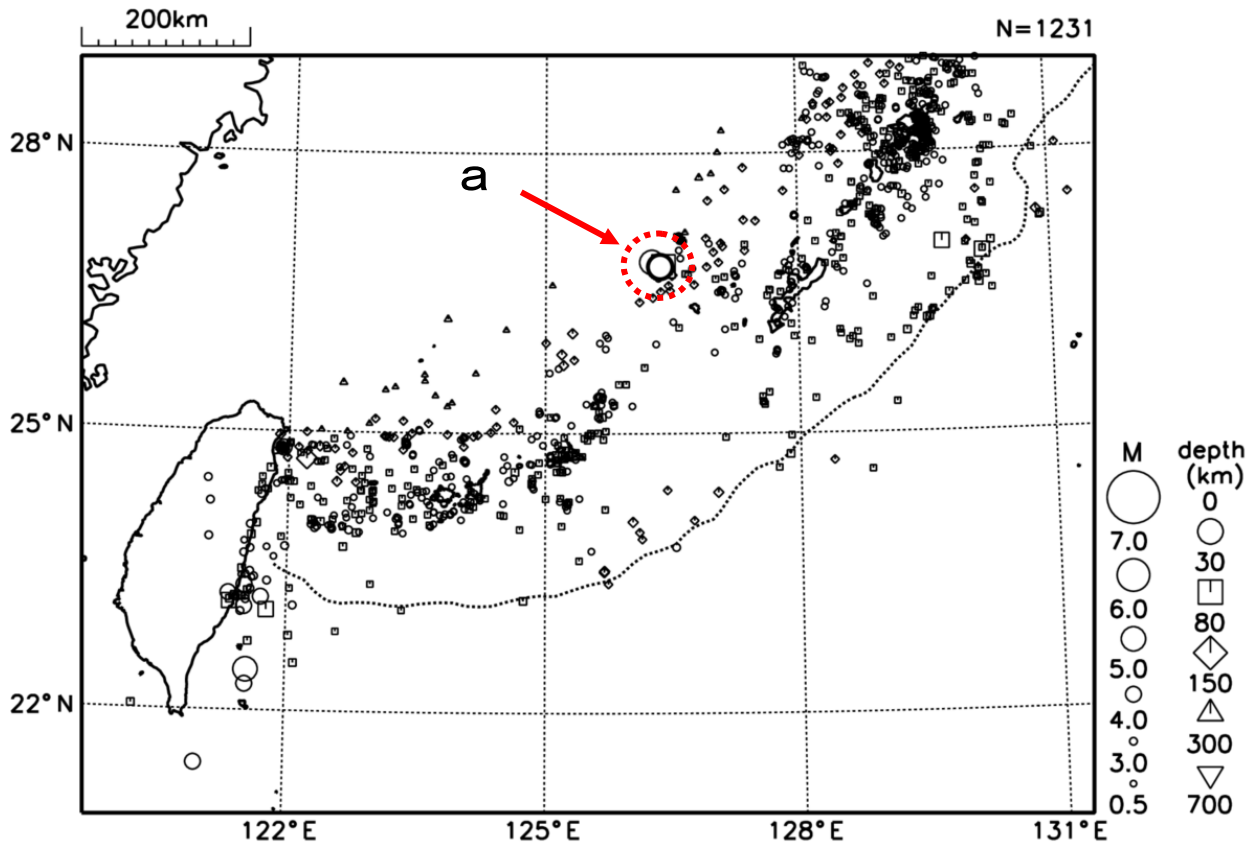


図10 沖縄地方の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（6月は20回）であった。7月中の主な活動は次の通りである。

沖縄本島北西沖では、7月中に震度1以上を観測する地震が5回（震度2：4回、震度1：1回）発生した（図10中のa）。このうち最大規模の地震は6日、8日及び25日に発生したM5.1の地震（いずれも最大震度2）であった（p.19参照）。

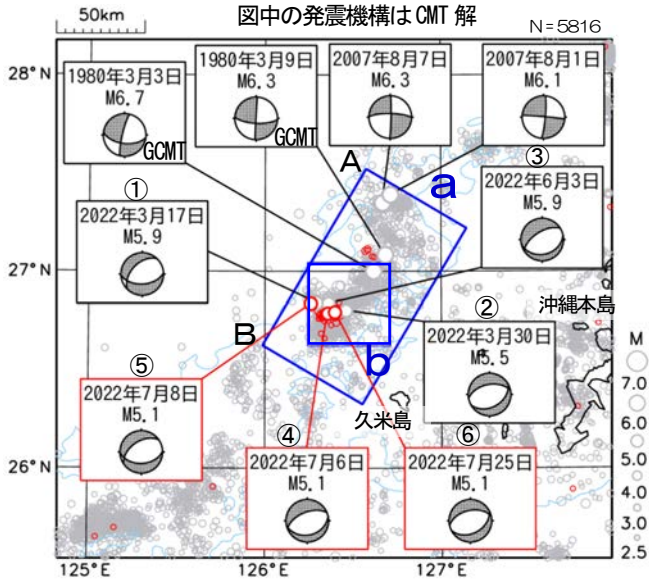
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980年1月1日～2022年7月31日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)

2022年7月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

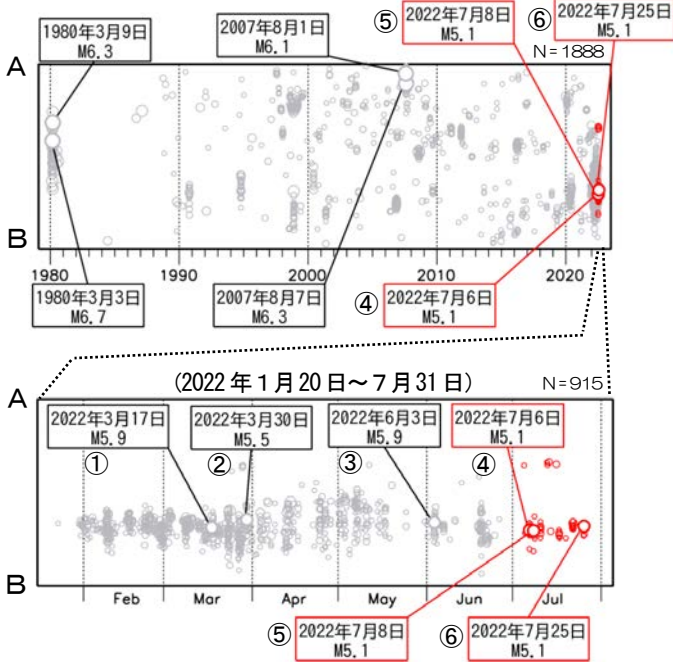


図中の水色の等値線は水深1500mを示す。

※1980年3月3日および3月9日の地震の発震機構はGlobal CMT

領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

(1980年1月1日～2022年7月31日)



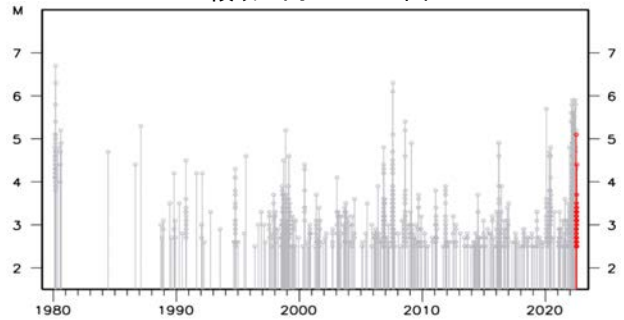
沖縄本島北西沖では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、その後消長を繰り返しながら継続している。7月中に震度1以上を観測する地震が5回 (震度2：4回、震度1：1回) 発生した。7月中の最大規模の地震は、6日、8日及び25日に発生したM5.1の地震 (いずれも最大震度2、それぞれ図中④、⑤、⑥) であった。これらの地震の発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

活動の全期間を通じて、最大規模の地震は3月17日及び6月3日のM5.9の地震 (いずれも最大震度2、それぞれ図中①、③)、最大震度を観測した地震は3月30日のM5.5の地震 (最大震度3、図中②) であった。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

1980年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980年2月から3月にかけて活発化した際には、同年3月3日にM6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

領域a内のM-T図

N=1888

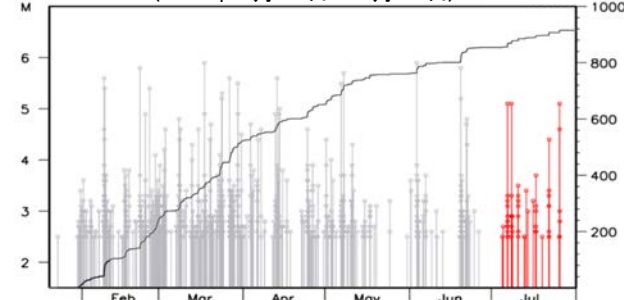


(この期間の検知能力は低い)

領域b内のM-T図及び回数積算図

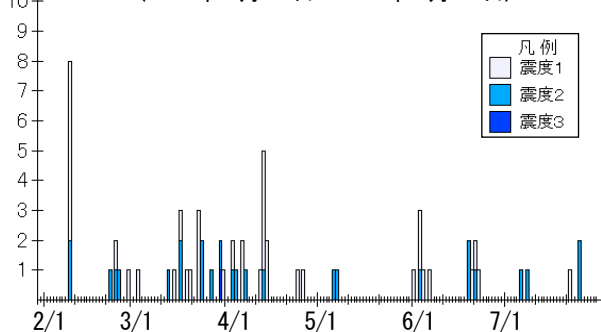
(2022年1月20日～7月31日)

N=915



震度1以上の日別最大震度別地震回数図

(2022年1月30日～2022年7月31日)



震度1以上の最大震度別地震回数表

(2022年1月30日～2022年7月31日)

月別	最大震度別回数			震度1以上を 観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月1日～28日	8	5	0	13	13
3月1日～31日	9	7	1	17	30
4月1日～30日	12	4	0	16	46
5月1日～31日	0	2	0	2	48
6月1日～30日	8	4	0	12	60
7月1日～31日	1	4	0	5	65
総計	38	26	1		65

○その他の地域の地震活動

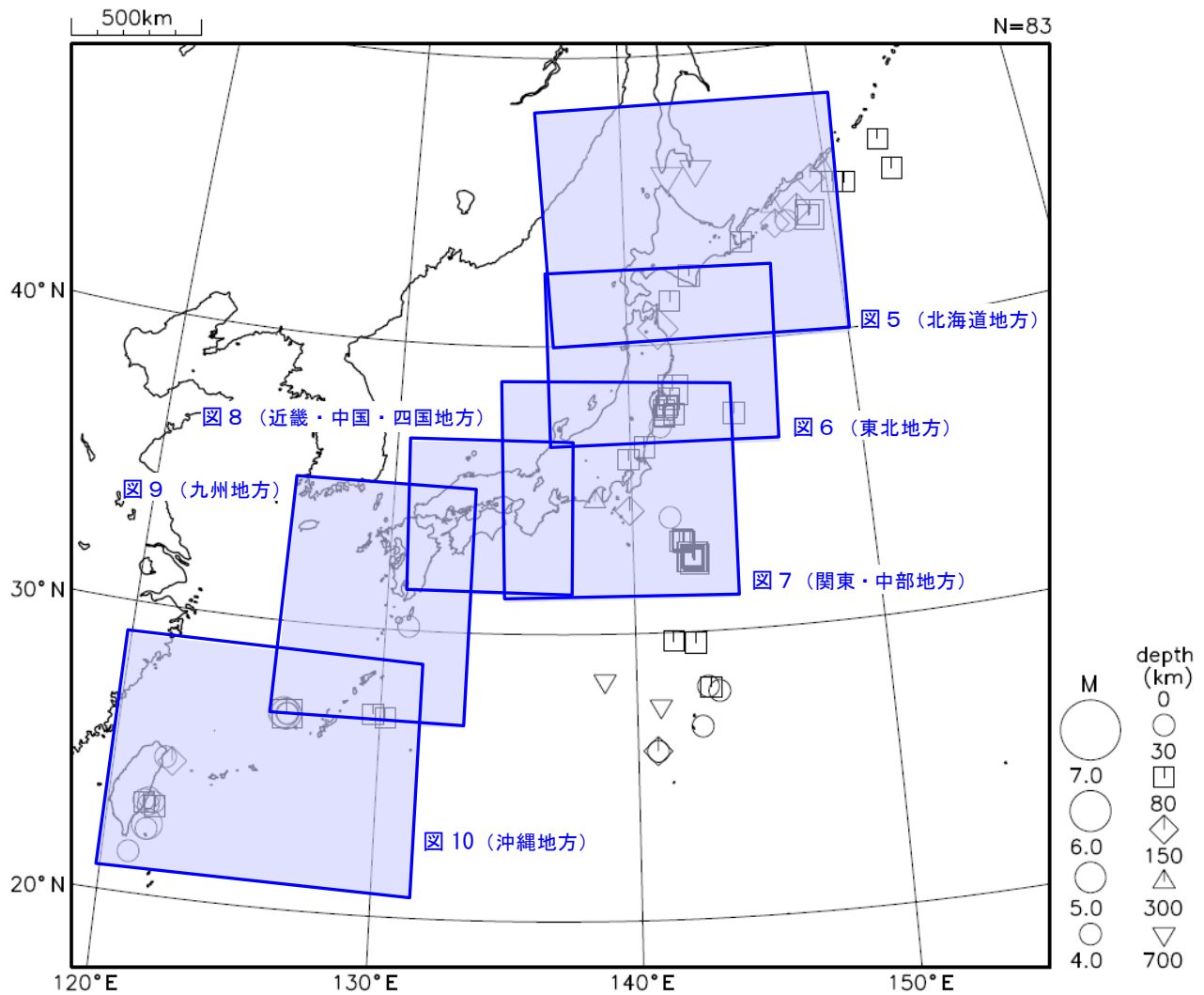


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2022年7月1日～7月31日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

7月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震はなかった（6月は2回）。

7月中に図5～10の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第58回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第436回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和4年8月5日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.23に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注1)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注1) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- (1) 四国西部：7月7日から13日
- (2) 四国西部：7月14日から16日
- (3) 四国東部：7月25日から30日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2020年夏頃から紀伊半島西部・四国東部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2022年春頃に鈍化したまま、現在もその状態が続いているように見えます。加えて、2020年夏頃から九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2021年秋頃から停滞していましたが、2022年春頃からは停滞前の状態に戻りつつあるように見えます。^(注2)

(注2) 紀伊半島西部・四国東部及び九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動について、解析手法の改良を行い、表現を変更しています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動、2020年夏頃からの紀伊半島西部・四国東部及び九州南部での地殻変動は、それぞれ四国中部周辺、紀伊水道周辺及び日向灘南部のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、紀伊水道周辺の長期的ゆ

つくりすべりは、2022年春頃に鈍化したまま、現在もその状態が続いています。また、日向灘南部の長期的ゆっくりすべりは、2021年秋頃から停滞していましたが、2022年春頃からは停滞前の状態に戻りつつあります。^(注3)

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（注3）紀伊水道周辺及び日向灘南部のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりについて、解析手法の改良を行い、表現を変更しています。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

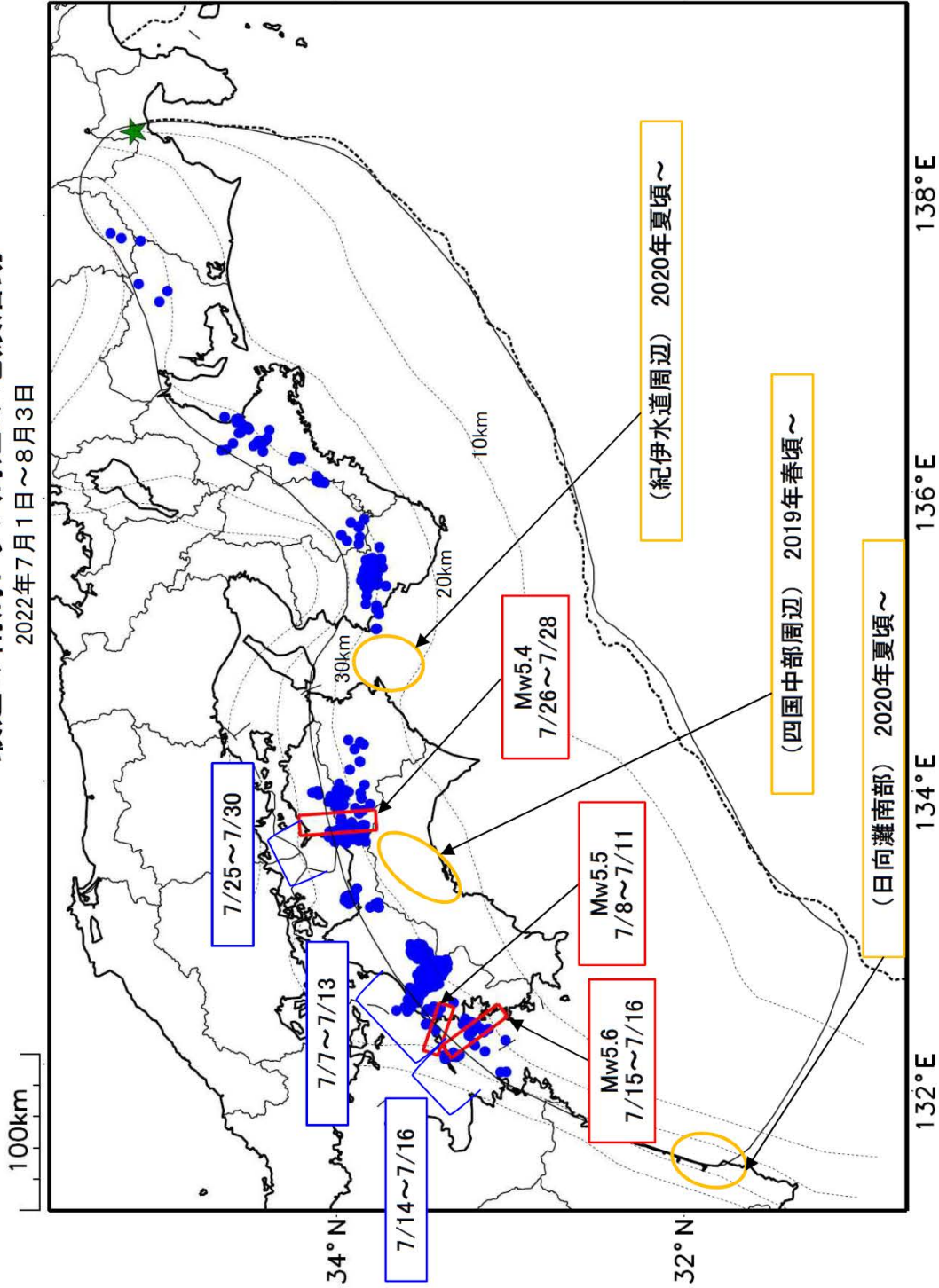
- ・「想定震源域」
南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。
- ・「クラスタ」、「クラスタ除去」
地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。
- ・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」
想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。
- ・「深部低周波地震（微動）」
深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。
- ・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2022年7月1日～8月3日



緑(★)
 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
 青(●)
 深部低周波地震(微動)
 赤(□)
 短期的ゆっくりすべり
 黄(○)
 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。
 ※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【四国東部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和4年7月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和4年8月8日14時現在）。

鶴見岳・伽藍岳では、8日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その後、27日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

諏訪之瀬島では、11日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

焼岳では、12日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

桜島では、24日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げました。その後、27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引き下げました。

口永良部島では、31日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和4年8月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	噴火浅根※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新湯焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、阿蘇山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（7月1日～31日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

焼岳【噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】←12日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

焼岳では、5月23日から6月上旬にかけて山頂付近を震源とする微小な火山性地震が増加しました。その後、地震活動は低調に推移しています。山頂付近の噴気の状態や地殻変動にも地震活動に伴う変化は認められません。このように、火山活動は地震増加前の状態に戻っていることから、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。

このため、12日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張の可能性のある変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口内に、引き続き、噴気や高温域が認められており、噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

11日から翁（おきな）浜沖で噴火が確認されています。GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められません。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられますが、変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

鶴見岳・伽藍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕←8日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ。27日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。

伽藍岳では、8日に火山性地震が増加し、伽藍岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから、鶴見岳・伽藍岳の噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。9日以降は伽藍岳付近の火山性地震の発生はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったことから、27日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

鶴見岳では、火山性地震は少ない状態で経過しましたが、B型地震¹⁾が時々発生しています。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過していましたが、7月下旬以降、減少傾向がみられています。

GNSS連続観測では、昨年（2021年）12月頃から、霧島山を挟む基線において、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びが認められましたが、7月頃から停滞しています。また、新燃岳を挟む一部の基線においては、今年（2022年）4月以降わずかな伸びが認められましたが、6月以降は停滞しています。

地震は減少傾向がみられていますが、中期的には増減を繰り返しながらやや多い状態であるため、今後の情報に注意してください。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】 ←24日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げ。27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引き下げ。

南岳山頂火口では、24日20時05分に爆発が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から東方向へ2.4kmを超えて飛散しました。このため同日20時50分に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げました。その後、火山活動の更なる活発化は認められず、南岳山頂火口及び昭和火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、27日20時00分に噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引き下げました。

南岳山頂火口では、7月中旬頃から噴火活動が活発となっています。今期間は噴火²⁾が37回発生し、このうち12回が爆発でした。噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上2,800mまで上がりました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられ、火山ガス放出量にも増加傾向がみられることから、現在、噴火活動がみられている南岳山頂火口を中心に、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ←31日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

口永良部島では、主に古岳付近の浅い所が震源と推定される火山性地震が、30日から31日にかけて増加しました。

火山活動が高まった状態となっていることから、31日06時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ←11日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げ。

御岳（おたけ）火口では、2020年10月下旬から活発な噴火活動が続いています。2022年4月中旬以降、噴火活動に低下傾向が認められていましたが、8月2日（期間外）以降、爆発が増加しています。

諏訪之瀬島では御岳火口中心から1kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、11日11時00分に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。しかしながら、現在も活発な噴火活動が継続していることから、火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散する可能性があります。

御岳火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してく

ださい。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。
上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	噴火浅根	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年5月29日噴火警報(レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報(レベル5、避難)切替 2016年6月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2019年6月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年10月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年2月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年5月25日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2022年7月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2020年12月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年4月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年6月23日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月29日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年9月17日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2022年7月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカランダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

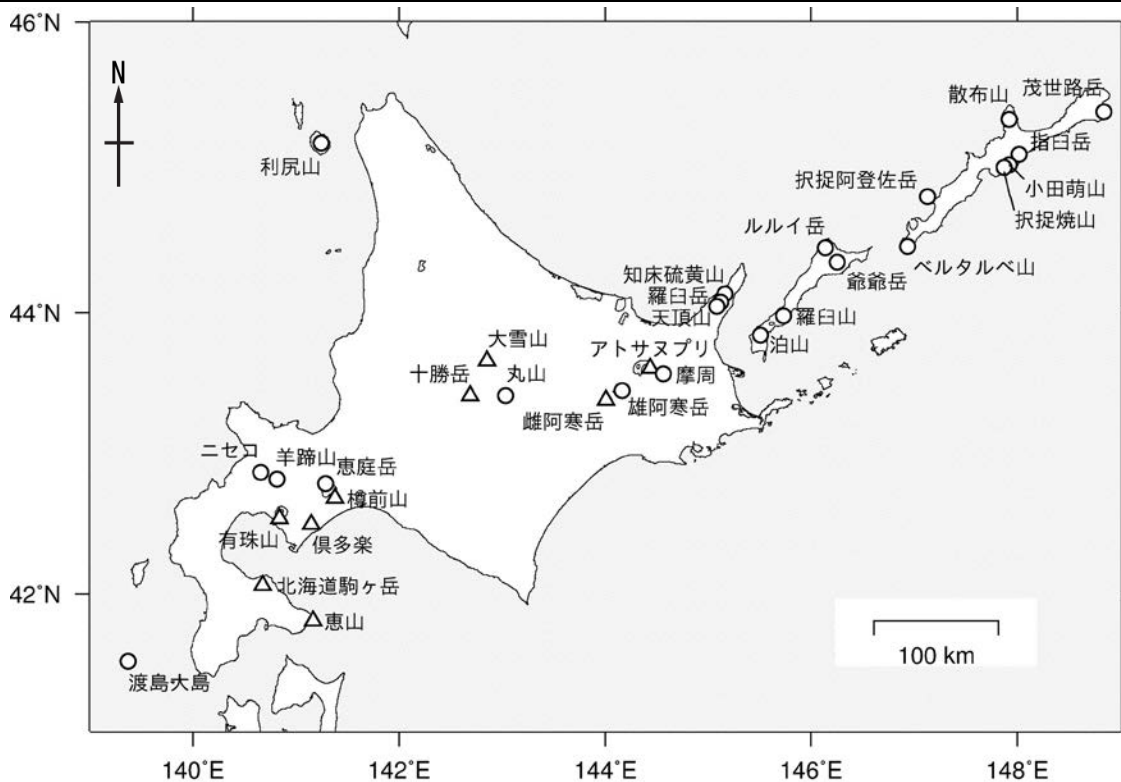
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年7月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』及び『基盤地図情報』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2006年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は2017年秋頃から停滞していましたが、2021年頃から一部のGNSS観測点で山体浅部の収縮傾向を示す変化が観測されています。一方、2018年以降は62-2火口付近の一時的な地震増加、微動発生や傾斜変動、62-2火口及びその周辺での噴煙・噴気の増加や温度上昇、微弱な火映が観測されるなど、浅部の活動は活発な状態が継続していますので、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年7月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち女岳^{めだけ}付近では地熱活動も継続的に認められますので、中長期的な火山活動の活発化に留意してください。



鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

7月中旬頃から火山性地震がやや多い状態で経過し、8月7日（期間外）には火山性微動が発生しました。浄土平に設置している傾斜計で5月上旬頃から西（大穴火口方向）上がりの緩やかな変化が継続している等、火山活動がわずかに高まっている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

大穴火口周辺では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

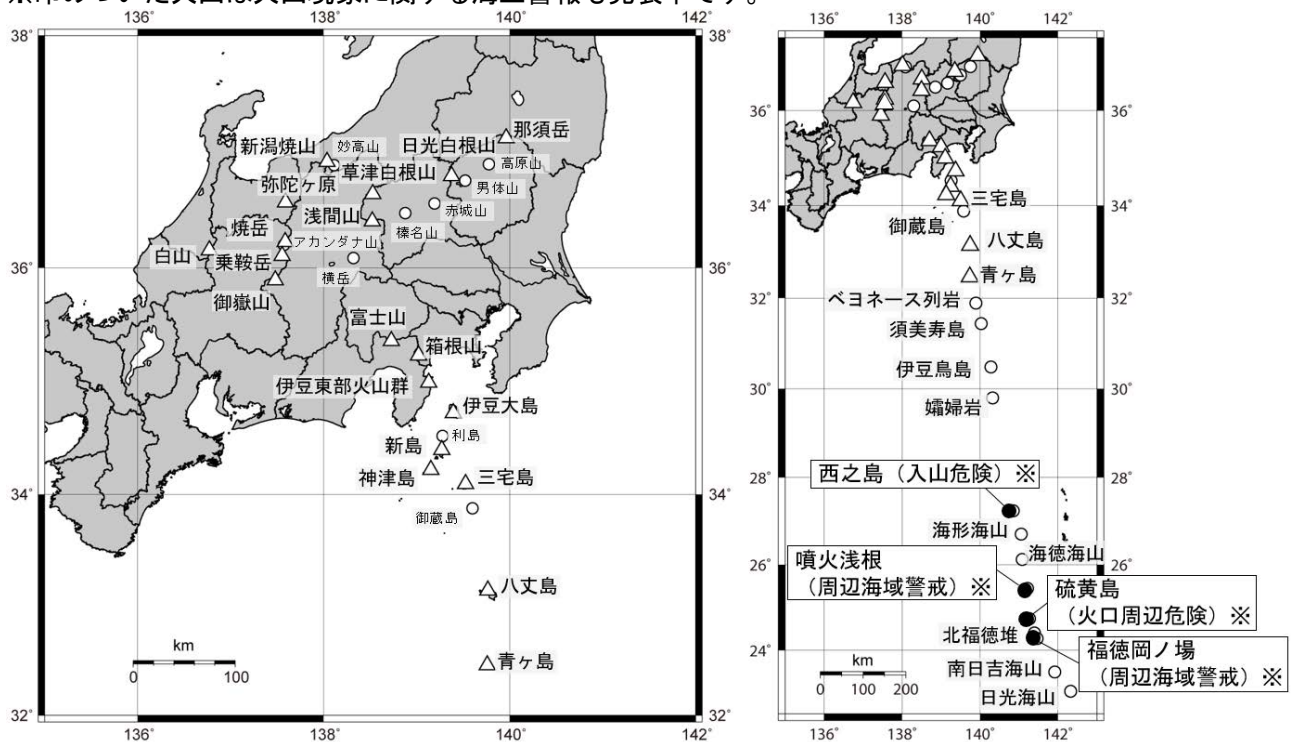
管内月間火山概況（令和4年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	噴火浅根※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近）、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡例
 噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

焼岳では、12日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調なもの、2018年4月の活発化前に比べて高い状態が続いており、火山活動は、中長期的には活発な状態が継続していると考えられます。湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震、噴煙量及び火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね少ない状態で経過しています。浅間山の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は認められません。

以上から、浅間山の火山活動は低下した状態ですが、今後も火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、立山地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕←12日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

焼岳では、5月23日から6月上旬にかけて山頂付近を震源とする微小な火山性地震が増加しました。その後、地震活動は低調に推移しています。山頂付近の噴気の状態や地殻変動にも地震活動に伴う変化は認められません。このように、火山活動は地震増加前の状態に戻っていることから、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。

このため、12日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張の可能性のある変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、地震活動は低調に経過し、地殻変動も停滞しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が噴出しており、地獄谷火口内では突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

三宅島では、GNSS連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられる、山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2022年に入り停滞傾向に変化していますが、火山活動は依然として徐々に高まりつつあると考えられます。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口内に、引き続き、噴気や高温域が認められており、噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

11日からおきなほま翁浜沖で噴火が確認されています。GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められません。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられますが、変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性がります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

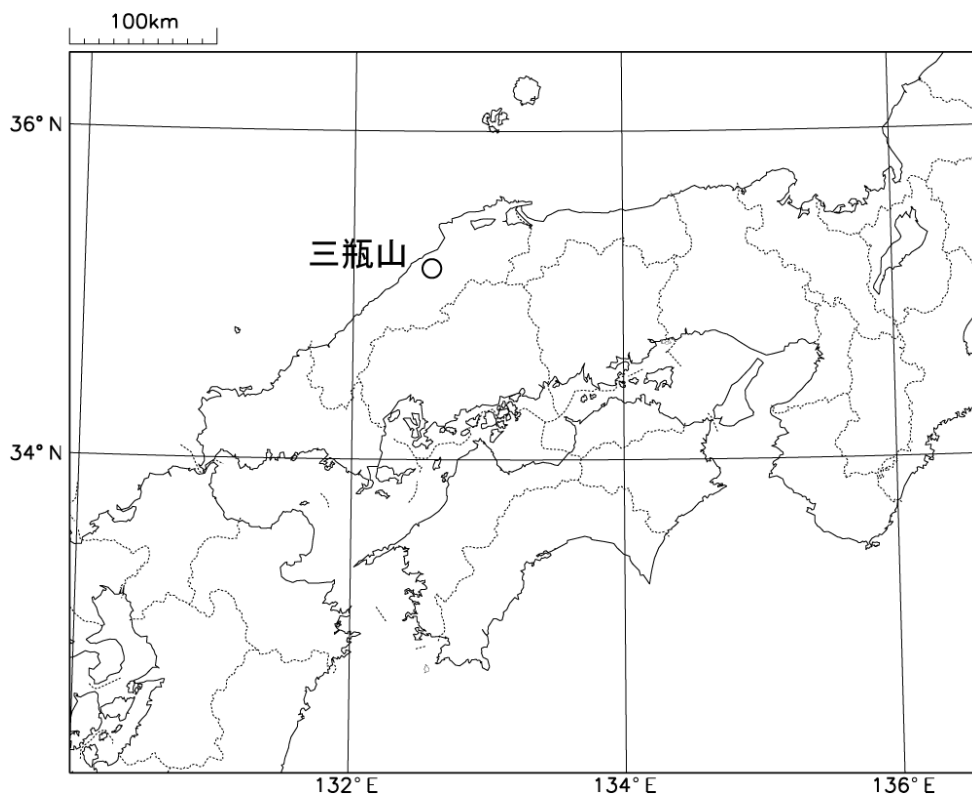
管内月間火山概況（令和4年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（7月31日現在）

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

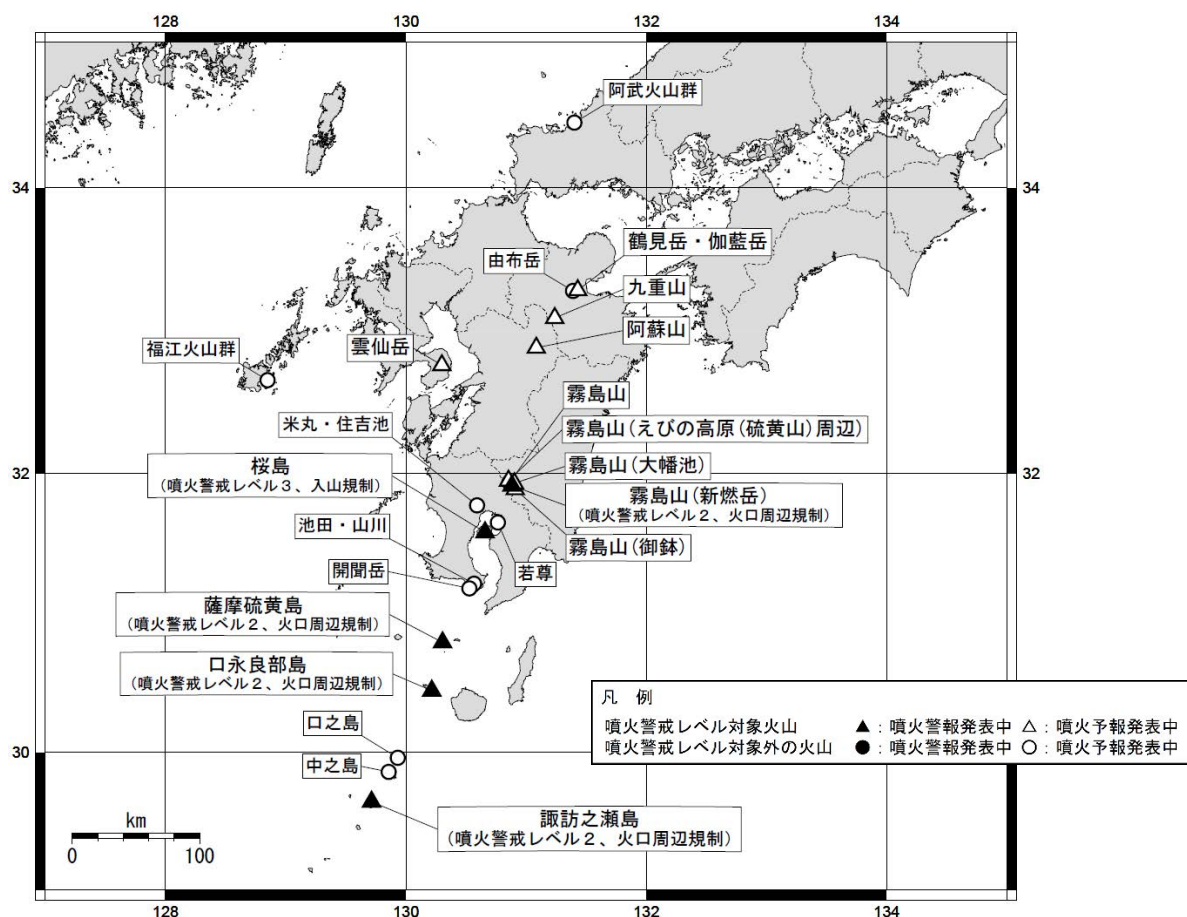
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年7月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和4年7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

鶴見岳・伽藍岳では、8日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。また、27日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

桜島では、24日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げました。また、27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引き下げました。

口永良部島では、31日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

諏訪之瀬島では、11日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

つるみだけ がらんだけ
鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）] ←8日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ。27日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。

伽藍岳では、8日に火山性地震が増加し、伽藍岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから、鶴見岳・伽藍岳の噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。9日以降は伽藍岳付近の火山性地震の発生はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったことから、27日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

鶴見岳では、火山性地震は少ない状態で経過しましたが、B型地震¹⁾が時々発生しています。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出が見られますので、注意してください。

くじゅうざん
九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられています。今後の火山活動に留意してください。

あそざん
阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は、概ね小さい状態で経過しています。6月25日頃（期間外）から11日頃まで孤立型微動及び火山性地震が増加しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態でした。

火口内では、土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ
雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は概ね少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線長には特段の変化はみられていません。

硫黄山では噴火の兆候は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

霧島山（大幡池）きりしまやま おおほたいけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過していましたが、7月下旬以降、減少傾向がみられています。

GNSS 連続観測では、昨年（2021年）12月頃から、霧島山を挟む基線において、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びが認められましたが、7月頃から停滞しています。また、新燃岳を挟む一部の基線においては、今年（2022年）4月以降わずかな伸びが認められましたが、6月以降は停滞しています。

地震は減少傾向がみられていますが、中期的には増減を繰り返しながらやや多い状態であるため、今後の情報に注意してください。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←24日に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ。27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引下げ。

南岳山頂火口では、24日20時05分に爆発²⁾が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から東方向へ2.4kmを超えて飛散しました。このため同日20時50分に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げました。その後、火山活動の更なる活発化は認められず、南岳山頂火口及び昭和火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、27日20時00分に噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引き下げました。

南岳山頂火口では、7月中旬頃から噴火活動が活発となっています。今期間は噴火³⁾が37回発生し、このうち12回が爆発でした。噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上2,800mまで上がりました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられ、火山ガス放出量にも増加傾向がみられることから、現在、噴火活動がみられている南岳山頂火口を中心に、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←31日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ。

口永良部島では、主に古岳付近の浅い所が震源と推定される火山性地震が、30日から31日にかけて増加しました。

火山活動が高まった状態となっていることから、31日06時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←11日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。

御岳（おたけ）火口では、2020年10月下旬から活発な噴火活動が続いています。2022年4月中旬以降、噴火活動に低下傾向が認められていましたが、8月2日（期間外）以降、爆発が増加しています。

諏訪之瀬島では御岳火口中心から1kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、11日11時00分に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。しかしながら、現在も活発な噴火活動が継続していることから、火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散する可能性があります。

御岳火口中心から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和4年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

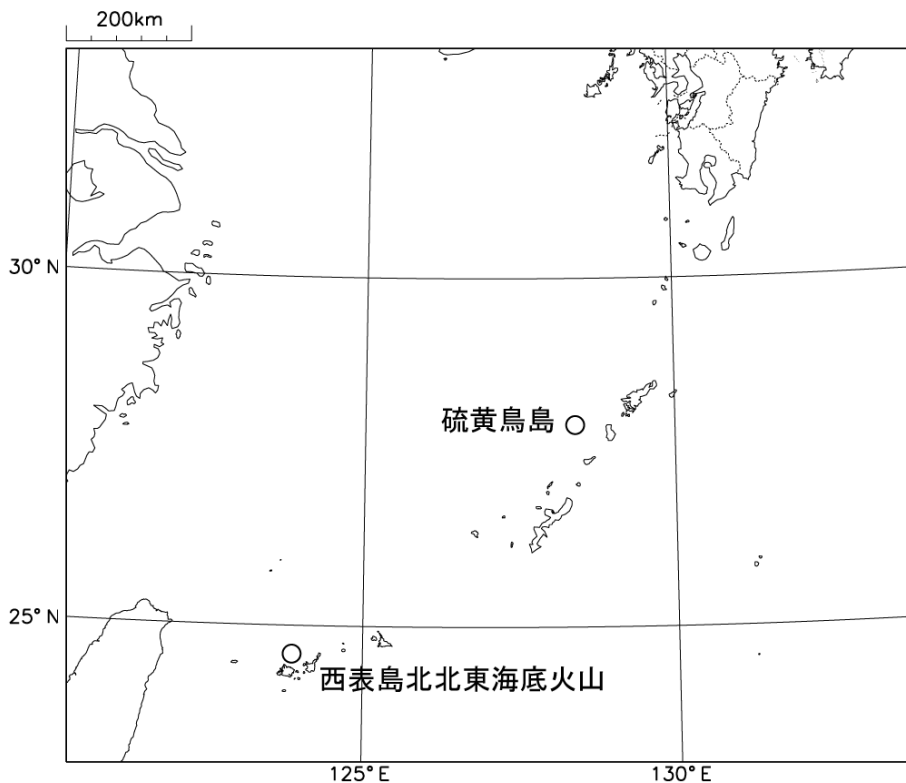
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（7月31日現在）

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_vact_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和4年7月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第52号～63号	1日、4日、8日、11日、15日、18～24日 16時00分	噴火活動、火山性地震・微動、地殻変動等の火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	17日 19時11分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報（詳細）	17日 19時24分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
	噴火警報 (噴火警戒レベル5、避難)	噴火警報	24日 20時50分	24日20時05分に発生した爆発で大きな噴石が2.5kmまで達した。南岳山頂火口及び昭和火口から3km以内の居住地域では、大きな噴石に厳重警戒。
		解説情報 第64号～67号	24日 21時35分 25～27日 16時00分	噴火警報の内容の解説。25日の現地調査の結果による降灰の状況、上空からの観測で変化なし。その後の噴火、爆発の状況。18日からわずかな山体膨張が観測され、21日以降は概ね停滞。
		降灰予報（速報）	25日 06時39分 21時00分 26日 09時08分 11時03分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報（詳細）	25日 07時02分 21時11分 26日 09時19分 11時15分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	火口周辺警報	27日 20時00分	火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低下。火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石及び火砕流に警戒。
		解説情報 第68号～70号	27日 20時10分 28日、29日 16時00分	24日警報発表後の南岳山頂火口の噴火、爆発の発生状況。現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量。火山性地震、微動の発生状況。18日から観測されていたわずかな山体膨張は停滞。
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第52号～54号	1日、4日、8日 16時00分
火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)		火口周辺警報	11日 11時00分	噴火活動は4月上旬まで活発で、その後は低下傾向。御岳火口から1kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火発生の可能性が低下。
		解説情報 第55号～58号	11日 11時10分 11日、18日、25日 16時00分	噴火活動、噴煙、噴石、火山性微動、地殻変動等の火山活動の状況。
		降灰予報（詳細）	27日 00時13分 01時09分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第40号～48号	1日、4日、8日、11日、15日、18日、22日、25日、29日 16時00分	火山性地震、火山性微動、地殻変動、噴煙、火口付近の地熱域等の状況。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第27号～30号	4日、11日、18日、25日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報(臨時)第1号	8日 04時30分	伽藍岳で8日02時から火山性地震が多発。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	8日 05時10分	伽藍岳で火口から1km以内に影響する噴火発生の可能性。で大きな噴石と火砕流に警戒。
		解説情報第2号～8号	8日 06時00分 8～11日、15日、22日 16時00分	伽藍岳の火山性地震は8日に92回。9日以降なし。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	噴火予報	27日 11時00分	警報解除。伽藍岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低下。
		解説情報第9号	27日 11時10分	伽藍岳の火山性地震は9日以降なし。噴気や地殻変動には特段の変化なし。現地調査で伽藍岳の地熱地帯の状況に特段の変化なし。
口永良部島	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報(臨時)第28号～29号	30日 13時22分 16時00分	火山性地震が増加し、火山活動が次第に高まっている。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	31日 06時40分	火山性地震が30日12時過ぎから増加し、火山活動が高まっている。火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。新岳火口から概ね1kmの範囲で、大きな噴石及び火砕流に警戒。同西側の概ね2kmの範囲で、火砕流に警戒。
		解説情報第30号～31号	31日 07時30分 16時00分	火山性地震の発生状況、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量、地殻変動の状況。
焼岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報第28号～31号	1日、4日、8日、11日 16時00分	山頂付近の微小な火山性地震発生状況。山頂付近の緩やかな膨張が継続。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	噴火予報	12日 14時00分	警報解除。火山活動は5月23日の地震増加前の状態に戻っている。想定火口域から概ね1kmの範囲に影響する噴火の可能性は低下。山頂付近を含む想定火口域内では、突発的な火山ガス等の噴出に注意。
		解説情報第32号	12日 14時10分	5月23日から6月中旬にかけて増加した山頂付近の微小な地震の活動は、その後は低調に推移。山頂付近の緩やかな膨張の可能性のあるGNSSの変化は継続。周辺で数年おきに活発な地震活動もみられる。今後の火山活動の推移に注意。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 焼岳、鶴見岳・伽藍岳、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を公表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を公表している。鶴見岳・伽藍岳の発表は8日8時に開始し、27日8時で終了した。焼岳の発表は、12日11時で終了した。口永良部島の発表は31日8時に開始した。

● 世界の主な地震

令和4年（2022年）7月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

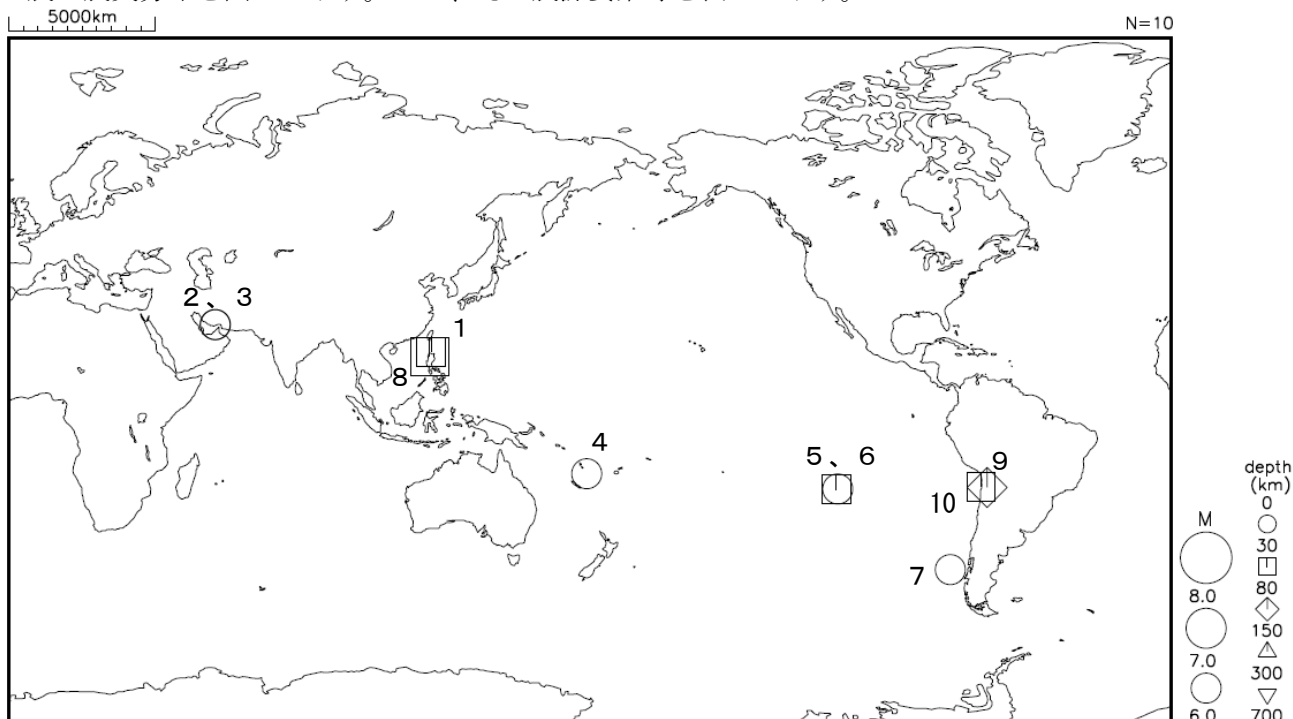


図1 令和4年（2022年）7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和4年（2022年）7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07月01日03時40分	N19° 01.4′	E121° 20.1′	30			6.0	フィリピン諸島			
2	07月02日06時32分	N26° 54.3′	E 55° 14.3′	16			6.0	イラン南部			
3	07月02日08時25分	N26° 53.2′	E 55° 19.2′	9			6.0	イラン南部	死者5人など		
4	07月12日06時10分	S18° 08.9′	E168° 57.3′	10			6.0	バヌアツ諸島			
5	07月13日04時16分	S22° 38.7′	W114° 13.3′	10			6.8	イースター島			
6	07月13日04時17分	S22° 46.6′	W114° 37.7′	33			6.6	イースター島			
7	07月16日04時37分	S44° 35.9′	W 79° 45.7′	10			6.4	チリ南部沖			
8	07月27日09時43分	N17° 32.6′	E120° 48.5′	46			(7.0)	フィリピン諸島、ルソン	死者11人など	○	○
9	07月28日03時58分	S22° 11.7′	W 68° 29.9′	97			6.2	チリ北部			
10	07月28日13時15分	S21° 56.0′	W 70° 20.4′	54			6.1	チリ北部沿岸			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2022年8月9日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による (27日のフィリピン諸島、ルソンの地震については速報値)。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2022年8月9日現在)、国内は総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- 津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

7月27日 フィリピン諸島、ルソンの地震

2022年7月27日09時43分（日本時間、以下同じ）にフィリピン諸島、ルソンの深さ46kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解、速報）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日10時00分及び10時33分に北西太平洋津波情報を発表した。また、同日10時35分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。また、この地震により、死者11人等の被害を生じた。

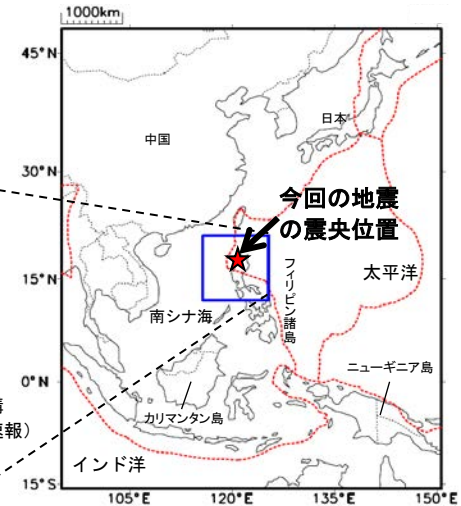
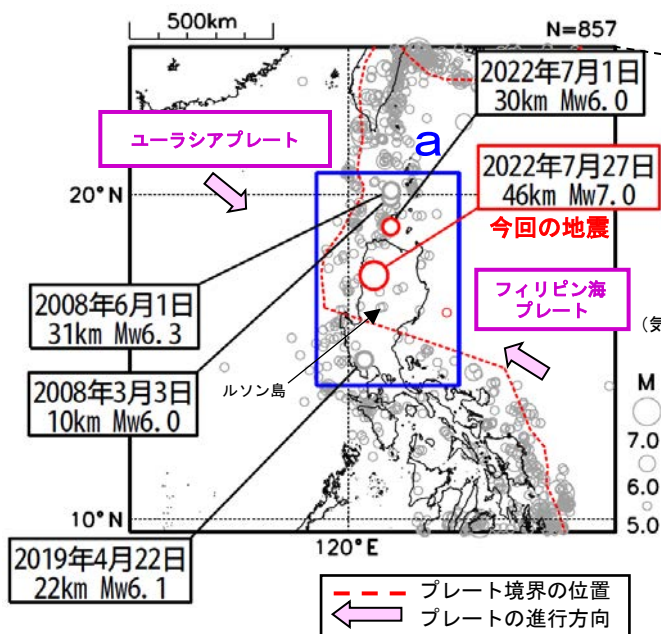
2001年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.5以上の地震が時々発生している。

1970年以降の活動をみると、フィリピン諸島周辺（領域b）では、M7を超える地震が時々発生している。1976年8月17日に発生したM8.0の地震では、この地震による津波が発生したほか、死者8000人の被害が生じた。

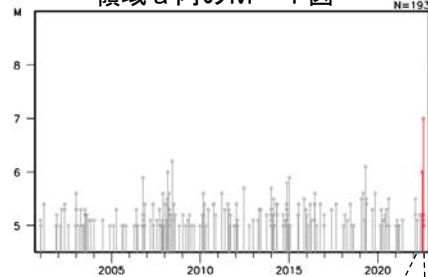
震央分布図

(2001年1月1日～2022年7月31日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2022年7月の地震を赤く表示



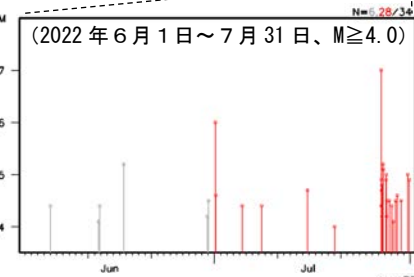
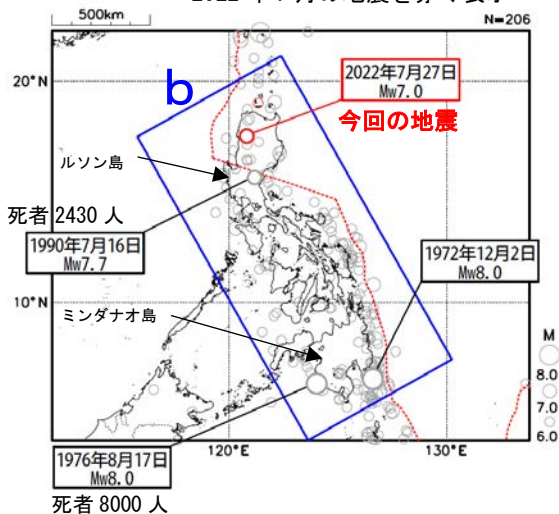
領域a内のM-T図



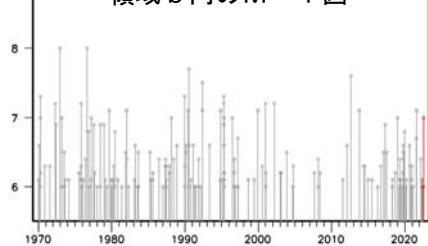
震央分布図

(1970年1月1日～2022年7月31日、深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

2022年7月の地震を赤く表示



領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁、また図中のその他の吹き出しの地震のMwはGlobalCMTによる（1972年12月2日の地震を除く）。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（2022年8月9日現在）。また今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所）による（2022年8月9日現在）。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和4年（2022年）7月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和4年（2022年）7月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和4年7月中に震度1以上を観測した地震は135回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 27	茨城県南部 茨城県 栃木県	36° 08.1' N	139° 50.0' E	51km	M: 3.1
		1 筑西市舟生=0.5 1 佐野市高砂町*=0.6 下野市笹原*=0.6 宇都宮市明保野町=0.5				
2	1 05 34	伊勢湾 愛知県	34° 45.8' N	136° 46.5' E	18km	M: 2.9
		1 南知多町豊浜=0.5				
3	1 07 03	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 53.4' N	141° 58.2' E	49km	M: 3.7
		1 大船渡市猪川町=1.1 大船渡市大船渡町=0.9 一関市千厩町*=0.8 一関市室根町*=0.7 釜石市中妻町*=0.7 釜石市只越町=0.5 一関市藤沢町*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=1.2 気仙沼市赤岩=0.9 登米市東和町*=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.6				
4	1 11 41	熊本県熊本地方 熊本県	32° 33.2' N	130° 41.2' E	10km	M: 2.7
		1 八代市泉支所*=0.6				
5	1 13 44	石川県能登地方 石川県	37° 31.5' N	137° 15.2' E	12km	M: 2.6
		1 珠洲市正院町*=0.5				
6	2 01 57	長野県中部 長野県	36° 20.7' N	137° 59.5' E	6km	M: 2.2
		1 筑北村西条*=0.8				
7	2 02 38	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 56.3' N	130° 45.9' E	0km	M: 1.4
		1 霧島市横川町中ノ*=0.5				
8	2 10 59	宗谷海峡 北海道	45° 49.1' N	142° 13.6' E	324km	M: 5.9
		3 猿払村浅茅野*=2.5 2 新冠町北星町*=2.3 函館市新浜町*=2.0 浦幌町桜町*=2.0 釧路市黒金町*=1.8 函館市泊町*=1.8 浦河町潮見=1.7 標茶町塘路*=1.7 根室市厚床*=1.7 新ひだか町静内山手町=1.7 十勝大樹町生花*=1.7 木古内町木古内*=1.6 幌延町宮園町*=1.6 釧路市幸町=1.6 胆振伊達市大滝区本町*=1.6 釧路市音別町中園*=1.6 浦河町築地*=1.6 渡島北斗市中央*=1.5 洞爺湖町栄町*=1.5 洞爺湖町洞爺町*=1.5 ニセコ町中央通*=1.5 倶知安町北4条*=1.5 浜中町茶内*=1.5 豊富町西6条*=1.5 知内町重内*=1.5 1 札幌手稲区前田*=1.4 千歳市支笏湖温泉*=1.4 真狩村真狩*=1.4 倶知安町南1条=1.4 新ひだか町静内御幸町*=1.4 えりも町えりも岬*=1.4 帯広市東6条*=1.4 上ノ国町大留*=1.3 むかわ町松風*=1.3 厚沢部町新町*=1.3 新ひだか町三石旭町*=1.3 檜山江差町姥神=1.3 留寿都村留寿都*=1.3 豊頃町茂岩本町*=1.3 釧路町別保*=1.3 厚岸町真栄*=1.3 白糠町西1条*=1.3 檜山江差町中歌町*=1.2 様似町栄町*=1.2 函館市川汲町*=1.2 帯広市東4条=1.2 函館市大森町*=1.2 浜頓別町クッチャロ*=1.2 十勝大樹町東本通*=1.2 室蘭市寿町*=1.2 厚岸町尾幌=1.2 乙部町緑町*=1.2 今金町今金*=1.2 浦河町野深=1.1 釧路市阿寒町中央*=1.1 根室市落石東*=1.1 千歳市北栄=1.1 喜茂別町喜茂別*=1.1 芽室町東2条*=1.0 根室市瑠璃瑠*=1.0 幕別町本町*=1.0 札幌東区元町*=1.0 宗谷枝幸町歌登東町*=1.0 江別市緑町*=1.0 えりも町目黒*=1.0 厚真町鹿沼=1.0 蘭越町蘭越*=1.0 鶴居村鶴居東*=1.0 岩内町清住*=1.0 長万部町平里*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.9 胆振伊達市梅本=0.9 別海町常盤=0.9 別海町本別海*=0.9 島牧村泊*=0.9 渡島森町砂原*=0.9 広尾町並木通=0.9 福島町福島*=0.9 むかわ町穂別*=0.9 札幌北区新琴似*=0.9 新千歳空港=0.8 礼文町香深*=0.8 利尻富士町鬼脇=0.8 日高地方日高町門別*=0.8 広尾町白樺通=0.8 上川中川町中川*=0.8 壮瞥町滝之町*=0.8 鹿部町宮浜*=0.8 渡島松前町清部=0.7 札幌白石区北郷*=0.7 苫小牧市末広町=0.7 中札内村東2条*=0.7 札幌清田区平岡*=0.7 八雲町熊石雲石町*=0.7 根室市牧の内*=0.7 礼文町船泊*=0.7 岩内町高台=0.7 札幌北区篠路*=0.7 豊浦町大岸*=0.6 小樽市勝納町=0.6 七飯町桜町=0.6 函館市美原=0.6 釧路市音別町尺別=0.6 渡島森町上台町*=0.6 登別市桜木町*=0.5 札幌西区琴似*=0.5 厚沢部町木間内*=0.5 渡島松前町福山=0.5 本別町北2丁目=0.5 浜中町湯沸=0.5 函館市尾札部町=0.5 新ひだか町静内御園=0.5 上ノ国町小砂子*=0.5 十勝清水町南4条=0.5 3 階上町道仏*=2.8 2 東通村砂子又沢内*=2.2 むつ市大畑町中島*=2.2 野辺地町田狭沢*=2.1 野辺地町野辺地*=2.1 八戸市南郷*=2.1 平内町小湊=2.0 五戸町倉石中市*=2.0 八戸市湊町=2.0 八戸市内丸*=2.0 東北町上北南*=1.9 青森南部町苦米地*=1.9 五戸町古館=1.9 七戸町森ノ上*=1.7 外ヶ浜町蟹田*=1.7 横浜町林ノ脇*=1.6 三沢市桜町*=1.6 おいらせ町中下田*=1.6 東通村砂子又蒲谷地=1.5 六ヶ所村尾駈=1.5 三戸町在府小路町*=1.5 1 平内町東田沢*=1.4 六戸町犬落瀬*=1.4 横浜町寺下*=1.4 青森南部町沖田面*=1.4				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		青森南部町平*1.4 おいらせ町上明堂*1.4 むつ市金谷*1.4 むつ市川内町*1.4 五所川原市栄町*1.3 七戸町七戸*1.3 東北町塔ノ沢山*1.3 むつ市金曲*1.3 青森市中央*1.3 中泊町小泊*1.2 十和田市西十二番町*1.2 蓬田村蓬田*1.1 つがる市木造*1.1 つがる市車力町*1.1 藤崎町西豊田*1.1 十和田市西二番町*1.1 佐井村長後*1.1 青森市花園*1.1 十和田市奥瀬*1.0 五所川原市敷島町*1.0 今別町今別*1.0 つがる市市柏*1.0 東通村尻屋*1.0 風間浦村易国間*1.0 つがる市稲垣町*1.0 外ヶ浜町平館*1.0 中泊町中里*1.0 六ヶ所村出戸*0.9 田子町田子*0.9 青森市浪岡*0.9 東通村白糠*0.9 五所川原市金木町*0.9 五所川原市相内*0.8 藤崎町水木*0.8 むつ市脇野沢*0.7 つがる市森田町*0.7 平川市猿賀*0.7 八戸市島守*0.6 深浦町深浦岡町*0.6 むつ市大畑町奥薬研*0.6 田舎館村田舎館*0.6 大間町大間*0.6 2 盛岡市薮川*2.3 久慈市枝成沢*2.2 宮古市田老*1.9 久慈市川崎町*1.7 普代村銅屋*1.7 岩手洋野町種米*1.7 軽米町軽米*1.7 久慈市長内町*1.6 矢巾町南矢幅*1.6 野田村野田*1.5 二戸市浄法寺町*1.5 1 盛岡市山王町*1.4 盛岡市浜民*1.4 岩手洋野町大野*1.3 二戸市福岡*1.3 岩手町五日市*1.3 一戸町高善寺*1.3 八幡平市田頭*1.3 紫波町紫波中央駅前*1.3 遠野市青笹町*1.3 宮古市五月町*1.2 釜石市中妻町*1.2 八幡平市大更*1.2 花巻市東和町*1.2 北上市相去町*1.2 八幡平市吹田*1.1 九戸村伊保内*1.1 滝沢市鶴飼*1.1 宮古市川井*1.1 一関市千蔵町*1.1 二戸市石切所*1.0 一関市室根町*1.0 奥州市江刺*1.0 大船渡市大船渡町*1.0 花巻市大迫町*0.9 山田町大沢*0.9 奥州市胆沢*0.9 葛巻町葛巻元木*0.9 住田町世田米*0.8 花巻市石鳥谷町*0.8 北上市柳原町*0.8 宮古市区界*0.8 山田町八幡町*0.8 宮古市鍛ヶ崎*0.7 田野畑村役場*0.7 奥州市水沢大鐘町*0.6 奥州市水沢佐倉河*0.6 盛岡市馬場町*0.6 葛巻町消防分署*0.6 葛巻町役場*0.6 雫石町千刈田*0.5 釜石市只越町*0.5 2 石巻市桃生町*1.5 1 涌谷町新町裏*1.2 登米市迫町*1.1 大崎市古川三日町*1.1 東松島市矢本*1.1 気仙沼市唐桑町*1.0 登米市中田町*1.0 岩沼市桜*1.0 松島町高城*1.0 気仙沼市赤岩*0.9 宮城加美町中新田*0.9 登米市南方町*0.9 大崎市松山*0.9 気仙沼市笹が陣*0.8 登米市米山町*0.8 大崎市田尻*0.8 石巻市相野谷*0.8 栗原市若柳*0.7 栗原市一迫*0.7 蔵王町円田*0.7 石巻市大街道南*0.7 栗原市栗駒*0.7 利府町利府*0.6 大崎市岩出山*0.5 秋田県 1 大館市早口*1.4 北秋田市新田目*1.3 三種町森岳*0.9 大館市桜町*0.8 北秋田市米内沢*0.8 能代市二ツ井町上台*0.7 横手市大雄*0.7 鹿角市花輪*0.6 小坂町小坂砂森*0.6 北秋田市花園町*0.6 仙北市西木町上桧木内*0.5 山形県 1 戸沢村古口*0.5				
9	2 20 44	父島近海 東京都 1 小笠原村母島*0.8	26° 41.9' N	142° 30.9' E	4km	M: 4.0
10	2 21 34	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏*1.6 1 八戸市湊町*1.1 八戸市内丸*0.9 青森南部町苦米地*0.6 岩手県 1 軽米町軽米*0.9 九戸村伊保内*0.6 岩手洋野町大野*0.5	40° 20.4' N	142° 07.4' E	49km	M: 3.6
11	3 02 10	択捉島付近 北海道 1 根室市落石東*1.0 根室市瑠璃瑠*0.7 別海町常盤*0.6 根室市牧の内*0.6	44° 29.6' N	147° 11.6' E	159km	M: 4.3
12	3 02 25	栃木県北部 栃木県 1 日光市芹沼*1.2 日光市御幸町*1.2 鹿沼市晃望台*1.2 宇都宮市中里町*1.1 日光市瀬川*1.0 宇都宮市明保野町*0.9 鹿沼市今宮町*0.9 日光市今市本町*0.5 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 下野市田中*0.5 日光市黒部*0.5 群馬県 1 桐生市黒保根町*0.7	36° 40.6' N	139° 38.5' E	8km	M: 3.3
13	3 18 11	岩手県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町*0.8 大船渡市猪川町*0.5 釜石市只越町*0.5 住田町世田米*0.5	39° 06.4' N	142° 07.6' E	45km	M: 3.4
14	3 18 28	岩手県内陸南部 岩手県 1 住田町世田米*0.9 一関市室根町*0.7 宮城県 1 気仙沼市赤岩*0.6	39° 17.2' N	141° 14.4' E	123km	M: 3.6
15	5 09 25	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*0.6	36° 15.1' N	137° 38.4' E	6km	M: 2.8
16	5 09 51	房総半島南方沖 千葉県 2 鴨川市横渚*1.6 南房総市谷向*1.6 鴨川市八色*1.6 館山市北条*1.5 1 館山市長須賀*1.4 南房総市岩糸*1.4 南房総市富浦町青木*1.3 南房総市上堀*1.3 鋸南町下佐久間*1.2 南房総市白浜町白浜*1.1 君津市久留里市場*1.1 市原市姉崎*1.1 いすみ市国府台*1.0 南房総市千倉町瀬戸*1.0 勝浦市墨名*0.9 千葉美浜区ひび野*0.7 長南町総合グラウンド*0.7 勝浦市新宮*0.6 千葉花見川区花島町*0.6 一宮町一宮*0.5 東京都 2 御蔵島村西川*2.2 三宅村坪田*1.6 新島村大原*1.5 1 神津島村金長*1.4 国分寺市本多*1.2 新島村本村*1.2 東京千代田区大手町*1.2 伊豆大島町差木地*1.0 伊豆大島町波浮港*1.0 東京利島村東山*1.0 東京渋谷区本町*0.9 東京世田谷区三軒茶屋*0.8 東京練馬区東大泉*0.8 神津島村役場*0.8 東京中野区中野*0.7 東京港区白金*0.7 東京渋谷区宇田川町*0.7 東京品川区平塚*0.6 東京大田区本羽田*0.6 新島村式根島*0.6 東京中央区勝どき*0.6 東京港区海岸*0.6 東京北区西ヶ原*0.5 東京新宿区上落合*0.5 東京新宿区歌舞伎町*0.5 東京江東区越中島*0.5 東京大田区多摩川*0.5	34° 16.3' N	139° 53.5' E	89km	M: 4.6

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京世田谷区世田谷*0.5 東京港区南青山*0.5 茨城県 1 筑西市舟生=0.5 坂東市岩井=0.5 埼玉県 1 さいたま大宮区天沼町*0.7 さいたま南区別所*0.6 さいたま緑区中尾*0.6 加須市大根*0.6 さいたま北区宮原*0.5 さいたま大宮区大門*0.5 神奈川県 1 相模原中央区水郷田名*1.4 横浜中区山手町=1.2 川崎川崎区千鳥町*1.2 藤沢市大庭*1.1 三浦市城山町*1.1 川崎川崎区宮前町*1.0 湯河原町中央=1.0 川崎中原区小杉町*0.7 川崎宮前区宮前平*0.7 横須賀市光の丘=0.7 藤沢市長後*0.7 相模原中央区上溝*0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*1.0 伊豆の国市長岡*0.8 伊豆市中伊豆グラウンド=0.5				
17	5 12 06	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*1.0	36° 15.1' N	137° 38.7' E	4km	M: 2.9
18	5 15 32	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*0.7	36° 15.2' N	137° 38.7' E	4km	M: 2.9
19	5 16 33	三重県北部 三重県 2 鈴鹿市神戸*1.6 1 四日市市日永=1.4 四日市市新浜町*1.2 四日市市諏訪町*1.2 四日市市楠町北五味塚*1.1 鈴鹿市西条=1.1 菰野町潤田*1.1 川越町豊田一色*0.9 亀山市本丸町*0.9 亀山市椿世町*0.7 三重朝日町小向*0.7 愛知県 1 豊田市長興寺*0.6 知多市緑町*0.6 幸田町菱池*0.5	34° 58.9' N	136° 29.8' E	15km	M: 3.1
20	5 17 52	日高地方東部 北海道 3 浦河町朝見=2.7 幕別町忠類町*2.7 浦幌町桜町*2.6 十勝大樹町生花*2.5 2 浦河町築地*2.4 浦河町野深=2.3 様似町栄町*2.3 えりも町えりも岬*2.2 えりも町目黒*2.1 新ひだか町静内山手町=2.1 十勝大樹町東本通*2.1 広尾町並木通=2.1 広尾町白樺通=2.1 十勝池田町西1条*2.0 更別村更別*1.9 豊頃町茂岩本町*1.9 新冠町北星町*1.8 函館市新浜町*1.8 新ひだか町三石旭町*1.8 平取町振内*1.8 帯広市東6条*1.8 芽室町東2条*1.8 むかわ町穂別*1.7 鹿追町東町*1.7 新ひだか町静内御幸町*1.6 足寄町南1条*1.6 本別町北2丁目=1.6 中札内村東2条*1.6 千歳市支笈湖温泉*1.5 音更町元町*1.5 千歳市若草*1.5 幕別町本町*1.5 安平町早来北進*1.5 えりも町本町=1.5 1 函館市泊町*1.4 厚真町鹿沼=1.4 安平町追分柏が丘*1.4 新得町2条*1.4 帯広市東4条=1.4 十勝清水町南4条=1.4 本別町向陽町*1.4 三笠市幸町*1.3 幕別町忠類明和=1.3 むかわ町松風*1.3 釧路市音別町中園*1.3 白糠町西1条*1.3 上士幌町上士幌*1.2 恵庭市京町*1.2 釧路市阿寒町中央*1.2 日高地方日高町門別*1.2 新ひだか町静内御園=1.2 千歳市北栄=1.1 胆振伊達市大滝区本町*1.1 札幌白石区北郷*1.1 江別市緑町*1.1 厚真町京町*1.0 函館市川汲町*1.0 新千歳空港=1.0 札幌東区元町*1.0 室蘭市寿町*1.0 新ひだか町静内農屋*1.0 上士幌町清水谷*1.0 登別市桜木町*1.0 札幌北区太平*1.0 長沼町中央*0.9 標茶町塘路*0.9 鹿部町宮浜*0.9 札幌厚別区もみじ台*0.9 苫小牧市末広町=0.9 小樽市勝納町=0.8 美唄市西5条=0.8 南富良野町役場*0.8 別海町本別海*0.8 釧路市音別町尺別=0.8 士幌町士幌*0.8 標津町北2条*0.7 札幌清田区平岡*0.7 札幌豊平区月寒東*0.7 釧路市幸町=0.7 日高地方日高町日高*0.7 別海町常盤=0.6 足寄町上螺湾=0.6 平取町仁世宇=0.6 弟子屈町弟子屈*0.6 占冠村中央*0.6 白老町大町=0.6 江別市高砂町=0.5 北見市留辺蘂町栄町*0.5 青森県 1 階上町道仏*1.1 東通村砂子又沢内*1.1 むつ市大畑町中島*0.8 八戸市南郷*0.7 岩手県 1 盛岡市薮川*0.6	42° 19.8' N	142° 59.5' E	53km	M: 4.9
21	5 21 18	滋賀県北部 滋賀県 1 大津市南小松=0.6	35° 18.6' N	135° 58.1' E	15km	M: 2.9
22	6 05 10	宮城県沖 岩手県 4 一関市千厩町*3.8 住田町世田米*3.6 北上市相去町*3.6 一関市花泉町*3.5 一関市藤沢町*3.5 3 大船渡市大船渡町=3.4 釜石市中妻町*3.4 北上市柳原町=3.4 一関市室根町*3.4 陸前高田市高田町*3.3 一関市東山町*3.3 大船渡市猪川町=3.3 奥州市江刺*3.3 奥州市前沢*3.3 平泉町平泉*3.2 奥州市衣川*3.2 一関市大東町=3.2 一関市竹山町*3.1 矢巾町南矢幅*3.1 一関市川崎町*2.9 花巻市東和町*2.9 釜石市只越町=2.8 遠野市宮守町*2.8 奥州市水沢佐倉河*2.8 奥州市胆沢*2.7 花巻市材木町*2.7 盛岡市薮川*2.7 花巻市石鳥谷町*2.7 金ヶ崎町西根*2.7 宮古市区界*2.6 盛岡市山王町=2.6 紫波町紫波中央駅前*2.5 遠野市青笹町*2.5 2 大船渡市盛町*2.4 盛岡市洪民*2.4 花巻市大迫町=2.4 奥州市水沢大鐘町=2.4 西和賀町沢内川舟*2.2 宮古市五月町*2.2 山田町大沢*2.2 八幡平市田頭*2.2 普代村銅屋*2.2 宮古市鎌ヶ崎=2.1 盛岡市馬場町*2.1 宮古市田老*2.1 大槌町小槌*2.0 滝沢市鶴飼*2.0 野田村野田*2.0 花巻市大迫総合支所*2.0 宮古市川井*1.9 宮古市長沢=1.9 山田町八幡町=1.9 宮古市茂市*1.8 葛巻町葛巻元木=1.8 一戸町高善寺*1.7 久慈市枝成沢=1.7 九戸村伊保内*1.7 岩手町五日市*1.7 八幡平市大更=1.6 西和賀町沢内太田*1.6 雫石町千刈田=1.6 軽米町軽米*1.5 西和賀町川尻*1.5 1 久慈市川崎町=1.4 八幡平市吹田*1.3 八幡平市野駄*1.3 久慈市長内町*1.2 田野畑村田野畑=1.2 葛巻町消防分署*1.2 二戸市福岡=1.1 岩手洋野町種市=1.0 岩手洋野町大野*1.0 岩泉町岩泉*1.0 葛巻町役場*1.0 田野畑村役場*0.9 岩泉町大川*0.9 雫石町西根上駒木野=0.9 二戸市石切所*0.8 久慈市山形町*0.5 宮城県 4 仙台宮城野区苦竹*4.2 大崎市田尻*4.1 大崎市古川旭*4.0 大崎市古川大崎=3.8 涌谷町新町裏=3.8 大崎市古川三日町=3.8 石巻市桃生町*3.8 南三陸町歌津*3.7	38° 24.7' N	141° 57.2' E	63km	M: 5.4

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>仙台若林区遠見塚*3.7 名取市増田*3.7 松島町高城=3.7 登米市中田町=3.6 登米市迫町*3.6 石巻市大街道南*3.6 仙台泉区将監*3.5 栗原市瀬峰*3.5 東松島市矢本*3.5 登米市豊里町*3.5</p> <p>3 気仙沼市唐桑町*3.4 栗原市志波姫*3.4 栗原市若柳*3.4 登米市南方町*3.4 大崎市鹿島台*3.4 仙台宮城野区五輪=3.4 栗原市築館*3.3 栗原市高清水*3.3 栗原市一迫*3.3 登米市東和町*3.3 宮城美里町北浦*3.3 大崎市松山*3.3 仙台青葉区作並*3.3 気仙沼市笹が陣*3.3 石巻市泉町=3.3 利府町利府*3.3 大和町吉岡*3.3 宮城川崎町前川*3.2 栗原市栗駒=3.2 石巻市北上町*3.2 岩沼市桜*3.2 大郷町柏川*3.2 大衡村大衡*3.2 登米市米山町*3.1 石巻市鮎川浜*3.1 石巻市前谷地*3.1 石巻市雄勝町*3.1 登米市石越町*3.1 宮城美里町木間塚*3.1 大崎市鳴子*3.1 仙台青葉区大倉=3.0 栗原市金成*3.0 登米市津山町*3.0 登米市登米町*3.0 多賀城市中央*3.0 東松島市小野*3.0 七ヶ浜町東宮浜*2.9 女川町女川*2.9 大河原町新南*2.9 気仙沼市赤岩=2.8 互理町悠里*2.8 栗原市鶯沢*2.8 栗原市花山*2.8 仙台青葉区雨宮*2.8 仙台青葉区落合*2.8 富谷市富谷*2.8 仙台空港=2.8 色麻町四籠*2.8 石巻市相野谷*2.8 柴田町船岡=2.8 山元町浅生原*2.7 宮城加美町中新田*2.7 大崎市岩出山*2.7 塩竈市今宮町*2.7 気仙沼市本吉町西川内=2.7 蔵王町円田*2.6 南三陸町志津川=2.5 角田市角田*2.5</p> <p>2 気仙沼市本吉町津谷*2.4 宮城加美町小野田*2.4 石巻市大瓜=2.3 大崎市三本木*2.3 仙台太白区山田*2.3 丸森町鳥屋*2.2 宮城加美町宮崎*2.2 白石市互理町*2.2 村田町村田*2.1 丸森町上滝=1.9 七ヶ宿町関*1.6</p> <p>3 横手市大雄*2.5</p> <p>2 大仙市高梨*2.3 仙北市西木町上桧木内*2.0 横手市大森町*1.9 大仙市刈和野*1.9 大仙市大曲花園町*1.9 横手市雄物川町今宿=1.7 横手市中央町*1.7 湯沢市川連町*1.7 大仙市北長野*1.6 五城市町西磯ノ目=1.6 秋田市河辺和田*1.6 秋田市雄和新波*1.6 由利本荘市前郷*1.6 東成瀬村椿川*1.6 湯沢市沖鶴=1.5 仙北市角館町中菅沢=1.5 横手市安田柳堤地内*1.5 仙北市角館町小勝田*1.5 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.5 仙北市西木町上荒井*1.5 大仙市南外*1.5</p> <p>1 井川町北川尻*1.4 横手市平鹿町浅舞*1.4 東成瀬村田子内*1.4 秋田美郷町六郷東根=1.4 大仙市神宮寺*1.4 羽後町西馬音内*1.3 大仙市太田町太田*1.3 仙北市田沢湖生保内上清水*1.3 湯沢市横堀*1.3 仙北市田沢湖田沢*1.2 横手市増田町増田*1.2 横手市十文字町*1.2 三種町森岳*1.2 秋田市山王=1.2 秋田美郷町土崎*1.2 秋田市雄和女米木=1.2 由利本荘市東由利老方*1.2 由利本荘市矢島町矢島町*1.2 由利本荘市岩谷町*1.1 由利本荘市西目町沼田*1.1 にかほ市平沢*1.0 横手市山内土淵*1.0 由利本荘市鳥海町伏見*1.0 湯沢市寺沢*1.0 湯沢市皆瀬*1.0 湯沢市佐竹町*1.0 由利本荘市岩城内道川*1.0 能代市上町*0.9 由利本荘市石脇=0.9 奥州市胆沢*0.8 北秋田市新田目*0.8 大仙市協和境唐松岳*0.8 大館市桜町*0.6 大館市早口*0.6 秋田市八橋運動公園*0.6 北秋田市阿仁水無*0.5</p> <p>3 尾花沢市若葉町*2.9</p> <p>2 大石町緑町*2.3 中山町長崎*2.2 東根市中央*2.1 河北町谷地=2.1 最上町向町*2.1 舟形町舟形*2.1 大蔵村肘折*2.1 天童市老野森*2.1 新庄市東谷地田町=2.0 大蔵村清水*1.9 村山市中央*1.9 米沢市林泉寺*1.9 戸沢村古口*1.8 山辺町緑ヶ丘*1.8 米沢市アルカディア=1.7 白鷹町荒砥*1.7 寒河江市中央*1.7 河北町役場*1.7 山形朝日町宮宿*1.7 新庄市住吉町*1.6 大江町左沢*1.6 真室川町新町*1.6 寒河江市西根*1.6 山形市薬師町*1.5 米沢市駅前=1.5 米沢市金池*1.5 南陽市三間通*1.5 遊佐町遊佐=1.5</p> <p>1 酒田市亀ヶ崎=1.4 山形金山町金山*1.4 鮭川村佐渡*1.4 上山市河崎*1.4 西川町海味*1.4 山形川西町上小松*1.4 山形市緑町=1.3 白鷹町黒鴨=1.3 酒田市飛鳥*1.3 酒田市山田*1.3 新庄市堀端町*1.3 鶴岡市藤島*1.2 三川町横山*1.2 遊佐町舞鶴*1.2 山形市旅籠町*1.2 山形小国町岩井沢=1.2 飯豊町椿*1.2 高島町高島*1.1 鶴岡市温海川=1.1 長井市本町*1.1 鶴岡市道田町*1.0 山形小国町小国小坂町*1.0 酒田市観音寺*1.0 酒田市本町*0.9 庄内町余目*0.9 酒田市宮野浦*0.9 山形金山町中田=0.8 鶴岡市馬場町=0.7 庄内町清川*0.7 鶴岡市羽黒町*0.7 鶴岡市上山添*0.5 飯豊町上原*0.5</p> <p>3 本宮市本宮*3.1 飯館村伊丹沢*3.1 相馬市中村*3.0 大熊町大川原*2.9 国見町藤田*2.8 福島伊達市霊山町*2.8 田村市船引町=2.7 南相馬市鹿島区西町*2.7 二本松市油井*2.6 川俣町五百田*2.6 双葉町両竹*2.6 南相馬市原町区高見町*2.6 田村市常葉町*2.6 福島伊達市梁川町*2.5 福島市松木町=2.5 福島市五老内町*2.5 新地町谷地小屋*2.5 田村市大越町*2.5</p> <p>2 福島市桜木町*2.4 二本松市針道*2.4 田村市都路町*2.4 檜葉町北田*2.4 富岡町本岡*2.4 葛尾村落合落合*2.4 南相馬市鹿島区栲漕=2.4 南相馬市小高区*2.4 福島伊達市保原町*2.3 本宮市白岩*2.3 川内村上川内早渡*2.3 浪江町幾世橋=2.3 天栄村下松本*2.3 玉川村小高*2.2 田村市滝根町*2.2 福島伊達市前川原*2.2 福島伊達市月館町*2.2 須賀川市岩瀬支所*2.2 南相馬市原町区三島町=2.2 白河市新白河*2.1 桑折町谷地*2.1 石川町長久保*2.1 いわき市三和町=2.0 福島広野町下北迫大谷地原*2.0 棚倉町棚倉中居野=2.0 川内村下川内=2.0 平田村永田*2.0 小野町小野新町*2.0 二本松市金色*2.0 郡山市開成*1.9 浅川町浅川*1.9 小野町中通*1.9 福島市飯野町*1.9 郡山市朝日=1.9 須賀川市八幡町*1.8 大玉村玉井*1.8 南相馬市原町区本町*1.8 白河市大信*1.8 須賀川市八幡山*1.8 泉崎村泉崎*1.7 中島村滑津*1.7 川内村上川内小山平*1.7 大熊町野上*1.7 白河市郭内=1.7 白河市東*1.7 白河市表郷*1.6 猪苗代町千代田*1.6 鏡石町不時沼*1.6 いわき市平梅本*1.5 福島広野町下北迫苗代替*1.5 郡山市湖南町*1.5 矢祭町東館*1.5 いわき市小名浜=1.5 いわき市錦町*1.5</p> <p>1 大玉村南小屋=1.4 矢吹町一本木*1.4 いわき市平四ツ波*1.4 須賀川市長沼支所*1.3 二本松市小浜*1.3 矢祭町戸塚*1.3 古殿町松川新桑原*1.3 西郷村熊倉*1.2 三春町大町*1.1 天栄村湯本支所*1.0 古殿町松川横川=1.0 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.9 鮫川村赤坂中野*0.9 下郷町高崎*0.9 猪苗代町城南=0.9 塙町塙*0.8 下郷町塩生*0.6 南会津町田島=0.5</p>				
		秋田県				
		山形県				
		福島県				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		青森県 2 階上町道仏*2.4 八戸市南郷*2.0 青森南部町苦米地*1.9 五戸町古館=1.7 八戸市湊町=1.6 八戸市内丸*=1.5 1 七戸町森ノ上*1.4 東北町上北南*1.4 青森南部町平*1.4 おいらせ町中下田*1.4 三戸町在府小路町*1.3 六戸町犬落瀬*1.3 五戸町倉石中市*1.1 おいらせ町上明堂*1.0 七戸町七戸*1.0 東通村砂子又沢内*0.9 三沢市桜町*0.9 野辺地町野辺地*0.9 田子町田子*0.9 十和田市西十二番町*0.8 十和田市西二番町*0.7 八戸市島守=0.6 むつ市大畑町中島*0.6 外ヶ浜町蟹田*0.6				
		茨城県 2 大子町池田*2.0 笠間市石井*1.9 日立市助川小学校*1.8 水戸市内原町*1.7 東海村東海*1.7 水戸市千波町*1.5 水戸市栗崎町*1.5 日立市十王町友部*1.5 ひたちなか市南神敷台*1.5 常陸大宮市山方*1.5 城里町小勝*1.5 土浦市常名=1.5 1 日立市役所*1.4 高萩市安良川*1.4 常陸大宮市野口*1.4 常陸太田市金井町*1.3 笠間市中央*1.3 笠間市笠間*1.3 常陸大宮市北町*1.3 石岡市柿岡=1.3 水戸市金町=1.2 常陸太田市高柿町*1.2 高萩市本町*1.2 那珂市福田*1.2 那珂市瓜連*1.2 城里町石塚*1.2 小美玉市小川*1.2 小美玉市堅倉*1.2 筑西市門井*1.2 北茨城市磯原町*1.1 小美玉市上玉里*1.1 桜川市羽田*1.1 ひたちなか市東石川*1.1 茨城町小堤*1.1 笠間市下郷*1.0 取手市寺田*1.0 つくば市研究学園*1.0 坂東市山*1.0 稲敷市江戸崎甲*1.0 常陸太田市町屋町=1.0 かすみがうら市上土田*1.0 鉾田市汲上*1.0 北茨城市中郷町*1.0 土浦市藤沢*0.9 石岡市石岡*0.9 つくば市天王台*0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 稲敷市伊佐津*0.9 筑西市舟生=0.9 筑西市二木成*0.9 かすみがうら市大和田*0.9 行方市麻生*0.9 桜川市真壁*0.9 城里町阿波山*0.9 常陸太田市町田町*0.9 鉾田市造谷*0.8 石岡市八郷*0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.8 桜川市岩瀬*0.8 美浦村受領*0.8 常陸大宮市高部*0.7 鉾田市鉾田=0.7 常陸大宮市中富町=0.7 潮来市辻*0.7 龍ヶ崎市役所*0.7 境町旭町*0.6 土浦市田中*0.6 稲敷市須賀津*0.5 潮来市堀之内=0.5 牛久市中央*0.5 坂東市岩井=0.5 行方市玉造*0.5 坂東市役所*0.5				
		栃木県 1 那須町寺子*1.4 宇都宮市明保野町=1.3 市貝町市塙*1.1 芳賀町祖母井*1.1 栃木那珂川町小川*1.1 栃木那珂川町馬頭*0.9 益子町益子=0.8 茂木町茂木*0.8 栃木さくら市喜連川*0.7 下野市笹原*0.7 宇都宮市中里町*0.7 栃木市岩舟町静*0.7 小山市神鳥谷*0.7 那須烏山市神長=0.6 大田原市黒羽田町=0.5 那須塩原市鍋掛*0.5 下野市大光山*0.5 栃木市旭町=0.5 真岡市田町*0.5				
		群馬県 1 渋川市赤城町*0.8 邑楽町中野*0.8 桐生市黒保根町*0.7 伊勢崎市西久保町*0.7 前橋市堀越町*0.6 板倉町板倉=0.5				
		埼玉県 1 春日部市谷原新田*1.0 久喜市下早見=0.7 宮代町笠原*0.7 滑川町福田*0.6 加須市大利根*0.6 東松山市松葉町*0.6 春日部市粕壁*0.5 春日部市金崎*0.5				
		千葉県 1 野田市鶴奉*1.0 香取市役所*0.8 香取市佐原平田=0.7 香取市仁良*0.7 成田国際空港=0.7 柏市旭町=0.7 八千代市大和田新田*0.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.7 白井市復*0.7 香取市佐原諏訪台*0.6 野田市東宝珠花*0.6 成田市名古屋=0.6 習志野市鷺沼*0.6 富里市七栄*0.6				
		東京都 1 東京千代田区大手町=0.5				
		新潟県 1 村上市岩船駅前*1.3 村上市府屋*0.8 胎内市新和町=0.6 関川村下関*0.5				
23	6 06 51	種子島近海 鹿兒島県 1 南種子町西之*0.8	30° 08.1' N	130° 55.0' E	19km	M: 4.0
24	6 09 19	北海道西方沖 北海道 1 苫前町旭*1.3 羽幌町南3条=1.1 羽幌町南町*0.9	44° 19.1' N	141° 36.2' E	9km	M: 2.3
25	6 10 40	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.5	26° 32.2' N	142° 31.3' E	47km	M: -, -
26	6 11 41	北海道南西沖 北海道 1 上ノ国町小砂子*0.7	41° 32.2' N	139° 49.3' E	11km	M: 3.0
27	6 13 02	青森県東方沖 北海道 2 函館市泊町*1.5 1 函館市新浜町*1.1 登別市鉦山=0.7 様似町栄町*0.7 函館市日ノ浜町*0.7 恵庭市京町*0.6 千歳市北栄=0.6 新千歳空港=0.6 青森県 2 階上町道仏*2.0 東通村砂子又沢内*2.0 1 八戸市湊町=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.4 野辺地町田狭沢*1.3 むつ市金曲=1.1 むつ市大畑町中島*1.1 六ヶ所村尾駈=1.0 むつ市金谷*1.0 八戸市南郷*0.9 青森南部町苦米地*0.9 八戸市内丸*0.8 野辺地町野辺地*0.8 東北町上北南*0.7 五戸町古館=0.7 東通村尻屋*0.7 東通村白糠*0.6 外ヶ浜町蟹田*0.5 むつ市大畑町奥薬研=0.5 横浜町林ノ脇*0.5	41° 29.5' N	142° 00.9' E	58km	M: 4.6
		岩手県 1 久慈市枝成沢=0.8 軽米町軽米*0.7				
28	6 22 02	沖縄本島北西沖 沖縄県 2 久米島町比嘉*1.8 1 久米島町謝名堂=1.4 久米島町仲泊*0.9 久米島町山城=0.7	26° 47.2' N	126° 21.4' E	23km	M: 5.1
29	7 03 34	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 飛騨市河合町元田*1.0	36° 15.6' N	137° 01.3' E	5km	M: 2.1
30	7 12 31	長野県南部 長野県 1 王滝村役場*0.7 木曾町新開*0.5	35° 48.9' N	137° 29.0' E	6km	M: 2.6

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
31	7 17 03	福島県沖 宮城県 福島県 岩手県 茨城県 栃木県	37° 44.0' N	141° 31.7' E	55km	M: 4.4
		2 亘理町悠里*=1.7 岩沼市桜*=1.6 山元町浅生原*=1.6 石巻市桃生町*=1.5 丸森町鳥屋*=1.5 角田市角田*=1.5 宮城川崎町前川*=1.5				
		1 大河原町新南*=1.4 柴田町船岡=1.4 名取市増田*=1.3 蔵王町円田*=1.3 七ヶ浜町東宮浜*=1.2 仙台青葉区落合*=1.1 仙台北白区山田*=1.1 大崎市松山*=1.0 仙台青葉区作並*=1.0 白石市亘理町*=1.0 仙台空港=1.0 石巻市大街道南*=1.0 村田町村田*=1.0 丸森町上滝=0.9 利府町利府*=0.9 松島町高城=0.9 大衡村大衡*=0.8 東松島市小野*=0.8 仙台青葉区雨宮*=0.8 大崎市田尻*=0.8 塩竈市今宮町*=0.8 登米市中田町*=0.7 多賀城市中央*=0.7 仙台宮城野区五輪=0.7 東松島市矢本*=0.7 仙台若林区遠見塚*=0.7 宮城美里町木間塚*=0.7 大崎市古川三日町=0.7 富谷市富谷*=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 色麻町四籠*=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.5				
		2 大熊町大川原*=2.4 檜葉町北田*=2.2 相馬市中村*=2.2 田村市船引町=2.1 飯館村伊丹沢*=2.1 田村市大越町*=2.0 玉川村小高*=1.8 二本松市油井*=1.8 二本松市針道*=1.8 双葉町両竹*=1.8 田村市常葉町*=1.8 南相馬市鹿島区西町*=1.8 国見町藤田*=1.7 川内村下川内=1.7 田村市都路町*=1.7 福島伊達市梁川町*=1.7 福島伊達市保原町*=1.7 南相馬市鹿島区栞窪=1.7 本宮市本宮*=1.6 葛尾村落合落合*=1.6 福島広野町下北迫大谷地原*=1.6 郡山市朝日=1.6 富岡町本岡*=1.6 川俣町五百田*=1.5 大玉村南小屋=1.5 天栄村下松本*=1.5 福島伊達市霊山町*=1.5 いわき市三和町=1.5				
		1 棚倉町棚倉中居野=1.4 浅川町浅川*=1.4 福島伊達市前川原*=1.4 本宮市白岩*=1.4 浪江町幾世橋=1.4 新地町谷地小屋*=1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 南相馬市原町区高見町*=1.4 大玉村玉井*=1.3 泉崎村泉崎*=1.3 小野町小野新町*=1.3 田村市滝根町*=1.3 福島市桜木町*=1.3 福島市五老内町*=1.3 川内村上川内早渡*=1.3 大熊町野上*=1.3 郡山市開成*=1.3 白河市新白河*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.3 二本松市金色*=1.3 鏡石町不時沼*=1.2 白河市表郷*=1.2 福島広野町下北迫苗代替*=1.2 須賀川市八幡山*=1.2 石川町長久保*=1.2 小野町中通*=1.2 郡山市湖南町*=1.2 福島市松木町=1.2 南相馬市小高区*=1.2 須賀川市八幡町*=1.1 川内村上川内小山平*=1.1 桑折町谷地*=1.1 古殿町松川新桑原*=1.1 白河市大信*=1.1 福島市飯野町*=1.1 矢吹町一本木*=1.1 南相馬市原町区本町*=1.1 福島伊達市月館町*=1.1 平田村永田*=1.0 白河市東*=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 矢祭町戸塚*=0.7 猪苗代町千代田*=0.7 三春町大町*=0.7 矢祭町東館*=0.6 白河市郭内=0.6 古殿町松川横川=0.5				
		1 一関市千蔵町*=0.5 一関市室根町*=0.5				
		1 日立市助川小学校*=1.0 笠間市石井*=0.9 大子町池田*=0.9 東海村東海*=0.8 水戸市千波町*=0.7 水戸市内原町*=0.7 日立市役所*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 城里町小勝*=0.7 土浦市常名=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.6 常陸大宮市北町*=0.6 水戸市栗崎町*=0.5				
		1 宇都宮市明保野町=0.5				
32	8 03 50	茨城県北部 茨城県 栃木県 福島県 群馬県 千葉県	36° 48.1' N	140° 32.7' E	8km	M: 3.9
		2 日立市助川小学校*=1.8 常陸太田市大中町*=1.7 ひたちなか市南神敷台*=1.5 大子町池田*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5 土浦市常名=1.5 笠間市石井*=1.5				
		1 常陸太田市町屋町=1.4 城里町小勝*=1.4 常陸太田市高柿町*=1.3 笠間市笠間*=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 常陸太田市町田町*=1.3 坂東市山*=1.2 筑西市門井*=1.2 常陸大宮市野口*=1.1 水戸市内原町*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 石岡市柿岡=1.1 東海村東海*=1.0 水戸市千波町*=1.0 常総市水海道諏訪町*=1.0 ひたちなか市東石川*=1.0 筑西市舟生=0.9 笠間市中央*=0.9 筑西市二木成*=0.9 笠間市下郷*=0.9 桜川市羽田*=0.9 常陸大宮市高部*=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 水戸市栗崎町*=0.9 つくば市研究学園*=0.9 日立市十王町友部*=0.9 常総市新石下*=0.8 高萩市安良川*=0.8 日立市役所*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 取手市寺田*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 城里町阿波山*=0.8 鉾田市汲上*=0.7 つくば市天王台*=0.7 水戸市金町=0.7 小美玉市小川*=0.7 坂東市役所*=0.7 小美玉市堅倉*=0.7 那珂市福田*=0.7 那珂市瓜連*=0.7 城里町石塚*=0.7 石岡市石岡*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 桜川市真壁*=0.7 常陸大宮市中富町=0.7 土浦市田中*=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 石岡市八郷*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5				
		2 宇都宮市明保野町=1.6				
		1 栃木市旭町=1.2 宇都宮市中里町*=1.0 芳賀町祖母井*=1.0 栃木那珂川町馬頭*=1.0 鹿沼市晃望台*=0.8 茂木町茂木*=0.8 栃木那珂川町小川*=0.8 下野市大松山*=0.7 栃木市万町*=0.6 栃木市岩舟町静*=0.6 下野市田中*=0.5 下野市笹原*=0.5 鹿沼市口栗野*=0.5 鹿沼市今宮町*=0.5 小山市神鳥谷*=0.5				
		1 矢祭町東館*=0.9 矢祭町戸塚*=0.8 白河市新白河*=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 白河市郭内=0.5 鏡石町不時沼*=0.5 浅川町浅川*=0.5				
		1 渋川市赤城町*=1.0 桐生市黒保根町*=0.8 沼田市利根町*=0.7				
		1 野田市鶴奉*=0.9 野田市東宝珠花*=0.7 柏市旭町=0.6				
33	8 07 10	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 32.2' N	141° 43.6' E	53km	M: 3.7
		1 一関市室根町*=1.1 一関市藤沢町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 住田町世田米*=0.6 一関市千蔵町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.5 大船渡市猪川町=0.5				
		1 涌谷町新町裏=0.9 南三陸町歌津*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.8 気仙沼市赤岩=0.6 石巻市桃生町*=0.6				
34	8 08 00	大阪府南部 大阪府	34° 29.5' N	135° 32.8' E	14km	M: 3.3
		2 千早赤阪村水分*=1.6 大阪堺市南区桃山台*=1.6 富田林市高辺台*=1.5				
		1 河内長野市清見台*=1.4 大阪堺市西区鳳東町*=1.4 河南町白木*=1.3 大阪堺市堺区山本町*=1.3 熊取町野田*=1.3 大阪堺市美原区黒山*=1.2 大阪堺市中区深井清水町=1.1 泉南市男里*=1.1 富田林市本町=1.1 大阪和泉市府中町*=1.1 大阪太子町山田*=1.0 岸和田市畑町*=1.0 高石市加茂*=1.0 岸和田市役所*=0.9 泉大津市東雲町*=0.9 石岡市柿岡=0.9 大阪堺市北区新金岡町*=0.9 岸和田市岸城町=0.9 泉佐野市市場*=0.8 河内長野市役所*=0.8				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		大阪狭山市狭山*0.7 藤井寺市岡*0.7 松原市阿保*0.7 大阪堺市堺区大浜南町*0.6 大阪堺市堺区市役所*0.6 柏原市安堂町*0.6 大阪堺市東区日置荘原寺町*0.6 田尻町嘉祥寺*0.6 羽曳野市誉田*0.6 奈良県 1 香芝市本町*1.0 御所市役所*0.9 三郷町勢野西*0.9 斑鳩町法隆寺西*0.7 広陵町南郷*0.7 葛城市柿本*0.7 高取町観覧寺*0.6				
35	8 09 00	沖繩本島北西沖 沖繩県 2 久米島町比嘉*1.6 久米島町謝名堂=1.5 1 久米島町仲泊*1.1 久米島町山城=0.9	26° 50.1' N	126° 15.6' E	17km	M: 5.1
36	8 23 18	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市大谷町*1.1 珠洲市正院町*0.8	37° 30.7' N	137° 12.3' E	13km	M: 3.2
37	9 02 20	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*1.7 1 東松島市小野*1.4 松島町高城=1.4 涌谷町新町裏=1.3 石巻市大街道南*1.3 石巻市泉町=1.2 登米市豊里町*1.2 大崎市田尻*1.2 宮城川崎町前川*1.2 女川町女川*1.2 石巻市鮎川浜*1.1 東松島市矢本*1.1 宮城美里町北浦*1.1 岩沼市桜*1.0 蔵王町円田*1.0 石巻市北上町*1.0 大崎市古川三日町=0.9 七ヶ浜町東宮浜*0.9 大崎市鹿島台*0.9 亶理町悠里*0.8 大崎市松山*0.8 大崎市古川大崎=0.8 大衡村大衡*0.7 石巻市相野谷*0.7 石巻市前谷地*0.7 塩竈市今宮町*0.7 栗原市瀬峰*0.7 栗原市築館*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.7 仙台泉区将監*0.7 大崎市三本木*0.6 村田町村田*0.6 登米市東和町*0.6 多賀城市中央*0.6 宮城加美町中新田*0.6 名取市増田*0.5 仙台青葉区大倉=0.5 角田市角田*0.5 栗原市高清水*0.5 栗原市一迫*0.5 登米市中田町=0.5 岩手県 1 一関市千厩町*1.0 一関市室根町*1.0 住田町世田米*0.6 一関市東山町*0.5 福島県 1 相馬市中村*1.2 飯館村伊丹沢*1.2 南相馬市鹿島区西町*1.1 福島伊達市霊山町*1.0 川俣町五百田*0.9 新地町谷地小屋*0.8 大熊町大川原*0.7 田村市船引町=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6	38° 06.6' N	141° 47.4' E	57km	M: 4.2
38	9 07 25	沖繩本島近海 沖繩県 1 沖繩市美里*1.0	26° 18.6' N	127° 46.0' E	15km	M: 2.9
39	9 10 12	福島県沖 宮城県 2 岩沼市桜*1.8 1 大崎市古川三日町=1.3 山元町浅生原*1.3 角田市角田*1.1 亶理町悠里*1.0 大崎市松山*0.9 大崎市田尻*0.9 色麻町四籠*0.9 蔵王町円田*0.9 宮城加美町中新田*0.9 宮城美里町木間塚*0.8 名取市増田*0.8 宮城川崎町前川*0.8 大河原町新南*0.7 丸森町鳥屋*0.7 白石市亶理町*0.6 七ヶ浜町関*0.6 丸森町上滝=0.5 福島県 2 天栄村下松本*2.3 二本松市金色*2.0 泉崎村泉崎*1.9 国見町藤田*1.8 双葉町両竹*1.8 飯館村伊丹沢*1.7 玉川村小高*1.6 田村市都路町*1.6 相馬市中村*1.6 大熊町大川原*1.6 白河市新白河*1.6 浪江町幾世橋=1.6 鏡石町不時沼*1.6 檜葉町北田*1.5 川内村上川内早渡*1.5 いわき市平梅本*1.5 1 二本松市針道*1.4 田村市滝根町*1.4 福島伊達市梁川町*1.4 福島伊達市霊山町*1.4 いわき市三和町=1.4 福島広野町下北迫大谷地原*1.4 新地町谷地小屋*1.4 浅川町浅川*1.3 田村市船引町=1.3 田村市常葉町*1.3 須賀川市八幡山*1.3 いわき市小名浜=1.3 須賀川市岩瀬支所*1.3 須賀川市八幡町*1.3 葛尾村落合落合*1.3 西会津町登世島*1.3 郡山市湖南町*1.2 白河市大信*1.2 いわき市平四ツ波*1.2 いわき市錦町*1.2 福島広野町下北迫苗代替*1.2 川俣町五百田*1.2 大玉村南小屋=1.2 南相馬市鹿島区西町*1.2 大玉村玉井*1.2 本宮市本宮*1.2 白河市郭内=1.1 田村市大越町*1.1 郡山市朝日=1.1 富岡町本岡*1.1 川内村上川内小山平*1.1 郡山市開成*1.1 平田村永田*1.1 小野町中通*1.1 小野町小野新町*1.1 大熊町野上*1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 福島伊達市保原町*1.0 二本松市油井*1.0 喜多方市塩川町*1.0 猪苗代町千代田*1.0 古殿町松川新桑原*1.0 桑折町谷地*1.0 福島市五老内町*0.9 南相馬市小高区*0.9 白河市東*0.9 下郷町高崎*0.8 川内村下川内=0.8 古殿町松川横川=0.8 福島市松木町=0.7 福島市桜木町*0.7 西会津町野沢=0.7 南相馬市鹿島区栞窪=0.7 南相馬市原町区高見町*0.6 猪苗代町城南=0.6 天栄村湯本支所*0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 矢祭町戸塚*0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*1.4 米沢市アルカディア=1.3 上山市河崎*1.2 白鷹町荒砥*1.1 米沢市駅前=0.9 中山町長崎*0.8 南陽市三間通*0.8 高島町高島*0.8 山形川西町上小松*0.8 米沢市金池*0.7 山辺町緑ヶ丘*0.5 茨城県 1 東海村東海*1.3 日立市十王町友部*1.1 高萩市安良川*1.0 日立市助川小学校*0.9 高萩市本町*0.9 北茨城市磯原町*0.9 笠間市石井*0.9 大子町池田*0.7 ひたちなか市南神敷台*0.5 土浦市常名=0.5 筑西市舟生=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.5 新潟県 1 阿賀町鹿瀬中学校*0.5	37° 09.3' N	141° 19.3' E	11km	M: 4.6
40	9 11 15	奄美大島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙*0.7	27° 31.7' N	129° 15.6' E	33km	M: 3.3
41	9 12 28	国後島付近 北海道 2 中標津町丸山*2.0 別海町常盤=2.0 根室市瑤瑤瑠*2.0 根室市牧の内*1.9 浜中町茶内*1.8 中標津町養老牛=1.7 別海町西春別*1.7 根室市厚床*1.6 根室市落石東*1.5 1 標津町北2条*1.4 羅臼町岬町*1.3 標茶町塘路*1.2 別海町本別海*1.2 白糠町西1条*1.1 根室市豊里=0.9 羅臼町緑町*0.7 鶴居村鶴居東*0.5 羅臼町春日=0.5 浜中町湯沸=0.5	43° 21.4' N	145° 33.2' E	70km	M: 4.0

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
50	11 04 51	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.4	37° 30.8' N	137° 13.6' E	13km	M: 3.0
51	11 05 29	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町請島*=0.7 瀬戸内町与路島*=0.7 瀬戸内町西古見=0.6 奄美市名瀬港町=0.6 瀬戸内町加計呂麻島*=0.5	28° 07.6' N	129° 33.9' E	30km	M: 3.3
52	11 16 53	有明海 長崎県 熊本県 1 島原市有明町*=0.5 1 玉名市天水町*=1.4 熊本西区春日=1.4 玉名市横島町*=1.3 山鹿市鹿央町*=1.0 熊本北区植木町*=1.0 宇城市不知火町*=0.8 上天草市大矢野町=0.8 玉東町木葉*=0.7 嘉島町上島*=0.7 熊本南区城南町*=0.6 宇土市浦田町*=0.6 宇城市三角町*=0.6 玉名市中尾*=0.5	32° 47.3' N	130° 32.9' E	11km	M: 3.2
53	12 02 51	福島県沖 宮城県 福島県 1 山元町浅生原*=0.9 岩沼市桜*=0.6 角田市角田*=0.5 1 檜葉町北田*=1.2 相馬市中村*=1.1 田村市滝根町*=1.1 浪江町幾世橋=1.1 双葉町両竹*=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 大熊町大川原*=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 いわき市三和町=0.6	37° 32.9' N	141° 29.1' E	50km	M: 4.0
54	12 20 19	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=1.1	36° 02.1' N	137° 33.1' E	6km	M: 2.4
55	12 21 48	岐阜県飛騨地方 岐阜県 2 高山市高根町*=1.5 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5 高山市久々野町*=0.5	36° 05.1' N	137° 32.4' E	5km	M: 3.0
56	13 02 09	長野県南部 長野県 1 伊那市高遠町荊口=0.6	35° 54.3' N	138° 03.6' E	10km	M: 2.8
57	13 07 05	福島県沖 宮城県 1 山元町浅生原*=0.6	37° 42.7' N	141° 34.7' E	53km	M: 3.7
58	13 16 12	兵庫県南西部 兵庫県 1 姫路市安田*=1.0 姫路市白浜*=0.9 市川町西川辺*=0.8 姫路市林田*=0.7 たつの市御津町*=0.7 姫路市本町*=0.6	34° 45.7' N	134° 25.9' E	19km	M: 3.3
59	13 21 07	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=0.8	37° 30.2' N	137° 16.8' E	13km	M: 2.4
60	14 02 49	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.5	24° 48.4' N	142° 38.6' E	67km	M: -. -
61	14 07 03	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町*=0.5	35° 25.7' N	133° 49.5' E	8km	M: 2.2
62	14 11 38	秋田県内陸南部 秋田県 1 湯沢市寺沢*=0.9	39° 02.6' N	140° 27.5' E	6km	M: 2.5
63	14 11 56	石狩地方中部 北海道 1 安平町早来北進*=1.3 安平町追分柏が丘*=0.9	42° 47.3' N	141° 12.8' E	134km	M: 3.9
64	15 13 06	茨城県北部 茨城県 2 笠間市石井*=1.7 1 城里町小勝*=1.4 笠間市笠間*=1.3 東海村東海*=1.2 水戸市金町=1.2 土浦市常名=1.2 ひたちなか市南神敷台*=1.1 大子町池田*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 桜川市羽田*=1.0 水戸市千波町*=1.0 石岡市柿岡=0.9 筑西市門井*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.9 笠間市下郷*=0.9 水戸市内原町*=0.9 水戸市栗崎町*=0.8 鉾田市汲上*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 城里町石塚*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 小美玉市小川*=0.7 日立市助川小学校*=0.7 笠間市中央*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 常陸大宮市山方*=0.5 筑西市二木成*=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 石岡市若宮*=0.5 つくば市研究学園*=0.5 桜川市真壁*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 市貝町市塙*=1.2 真岡市田町*=0.8 茂木町茂木*=0.8 真岡市荒町*=0.7 芳賀町祖母井*=0.6 宇都宮市明保野町=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=0.9	36° 27.1' N	140° 36.8' E	55km	M: 3.7
65	15 14 02	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.6	38° 46.0' N	141° 52.1' E	67km	M: 3.2
66	16 07 25	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏*=1.5 1 八戸市内丸*=1.2 青森南部町苔米地*=1.2 八戸市湊町=1.0 三戸町在府小路町*=1.0 八戸市南郷*=0.9 五戸町古館=0.8 五戸町倉石中市*=0.7 青森南部町平*=0.7 青森南部町沖田面*=0.7 八戸市島守=0.5	40° 20.6' N	142° 02.3' E	52km	M: 3.8

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
67	16 10 58	岩手県 2 九戸村伊保内*=1.5 1 軽米町軽米*=1.1 岩手洋野町大野*=0.6 岩手洋野町種市=0.5 茨城県沖 茨城県 36° 17.0' N 140° 49.7' E 82km M: 3.8 1 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 水戸市千波町*=1.3 水戸市金町=1.2 笠間市石井*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 東海村東海*=1.0 城里町小勝*=1.0 水戸市栗崎町*=1.0 水戸市内原町*=0.9 常陸大宮市北町*=0.9 鉾田市汲上*=0.9 小美玉市堅倉*=0.8 城里町石塚*=0.8 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 桜川市羽田*=0.7 土浦市常名=0.7 大洗町磯浜町*=0.6 日立市助川小学校*=0.6 常陸大宮市中富町=0.6 小美玉市上玉里*=0.5 石岡市柿岡=0.5 千葉県 1 香取市佐原平田=0.5				
68	16 12 24	和歌山県北部 和歌山県 34° 01.1' N 135° 14.0' E 4km M: 2.4 2 湯浅町青木*=2.2				
69	16 18 43	和歌山県北部 和歌山県 34° 01.1' N 135° 13.8' E 4km M: 1.6 1 湯浅町青木*=0.8				
70	17 03 10	岩手県沖 青森県 40° 16.6' N 141° 57.8' E 22km M: 3.8 2 階上町道仏*=1.7 1 八戸市内丸*=1.2 青森南部町苫米地*=0.9 八戸市湊町=0.9 八戸市南郷*=0.7 五戸町古舘=0.6 岩手県 1 岩手洋野町大野*=1.2 久慈市枝成沢=0.8 軽米町軽米*=0.8 久慈市川崎町=0.7				
71	17 07 51	大阪湾 大阪府 34° 30.6' N 135° 22.3' E 14km M: 3.2 2 大阪堺市中区深井清水町=2.2 松原市阿保*=1.8 大阪堺市堺区山本町*=1.8 1 泉大津市東雲町*=1.3 忠岡町忠岡東*=1.3 大阪堺市堺区大浜南町*=1.3 大阪堺市西区鳳東町*=1.2 大阪堺市北区新金岡町*=1.2 高石市加茂*=1.0 大阪和泉市府中町*=0.9 大阪堺市南区桃山台*=0.9 八尾市本町*=0.9 大阪住吉区遠里小野*=0.8 大阪住之江区御崎*=0.8 大阪大正区泉尾*=0.8 岸和田市役所*=0.8 大阪西成区岸里*=0.7 大阪平野区平野南*=0.6 大阪此花区春日出北*=0.6 大阪堺市堺区市役所*=0.5 大阪東住吉区杭全*=0.5 藤井寺市岡*=0.5 富田林市高辺台*=0.5 兵庫区福島*=0.5 兵庫県 1 神戸兵庫区上沢通*=0.5 奈良県 1 平群町吉新*=0.7 斑鳩町法隆寺西*=0.5				
72	17 20 51	能登半島沖 石川県 37° 31.0' N 137° 14.8' E 14km M: 3.4 2 珠洲市正院町*=2.0 1 珠洲市三崎町=1.3 珠洲市大谷町*=1.2 穴水町大町*=0.7				
73	17 21 00	日向灘 大分県 32° 44.9' N 132° 13.5' E 37km M: 2.9 1 佐伯市鶴見*=0.5				
74	18 12 32	熊本県熊本地方 熊本県 32° 42.5' N 130° 37.6' E 11km M: 2.3 1 宇城市不知火町*=0.9				
75	18 20 14	宮城県北部 岩手県 38° 52.5' N 140° 34.2' E 137km M: 3.6 1 住田町世田米*=0.8 一関市室根町*=0.8				
76	19 04 22	兵庫県南東部 兵庫県 34° 54.6' N 134° 54.0' E 18km M: 2.5 1 多可町八千代区*=0.5				
77	19 07 42	胆振地方中東部 北海道 42° 34.5' N 141° 57.4' E 37km M: 2.7 1 安平町追分柏が丘*=0.5				
78	19 11 33	宮古島近海 沖縄県 24° 45.4' N 125° 03.5' E 22km M: 3.2 1 宮古島市伊良部前里添=0.6				
79	20 05 21	十勝地方南部 北海道 42° 21.1' N 143° 06.4' E 48km M: 3.3 1 更別村更別*=0.7				
80	20 05 22	宮城県沖 宮城県 37° 52.2' N 141° 41.9' E 63km M: 3.9 1 山元町浅生原*=0.8 丸森町上滝=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 福島県 1 双葉町両竹*=1.4 福島伊達市霊山町*=1.2 相馬市中村*=1.1 大熊町大川原*=1.0 川内村下川内=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 田村市常葉町*=0.9 田村市都路町*=0.9 田村市船引町=0.9 南相馬市鹿島区西町*=0.9 浪江町幾世橋=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.8 檜葉町北田*=0.8 新地町谷地小屋*=0.6 南相馬市鹿島区栞窪=0.5 浅川町浅川*=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5				
81	20 12 08	茨城県北部 茨城県 36° 47.9' N 140° 33.0' E 9km M: 3.6 2 日立市助川小学校*=1.9 常陸太田市大中町*=1.7 1 常陸大宮市山方*=1.2 高萩市安良川*=1.0 日立市十王町友部*=1.0 常陸太田市町屋町=0.9 笠間市石井*=0.8 日立市役所*=0.8 城里町小勝*=0.8 常陸大宮市北町*=0.7 大子町池田*=0.6 常陸太田市高柿町*=0.6 常陸太田市町田町*=0.5 笠間市笠間*=0.5 ひたちなか市南神敷台*=0.5 土浦市常名=0.5				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
82	20 15 53	福島県 1 矢祭町戸塚*=1.1 白河市郭内=0.5				
		茨城県沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.5	35° 53.1' N	141° 17.7' E	19km	M: 3.4
83	20 21 10	鳥取県西部 鳥取県 2 日吉津村日吉津*=1.7 鳥取南部町天萬*=1.5 1 米子市東町*=1.4 米子市博労町=1.1 伯耆町溝口*=1.0 米子市淀江町*=1.0 鳥取日野町根雨*=1.0 伯耆町吉長*=0.9 鳥取南部町法勝寺*=0.9 大山町末長*=0.8 江府町江尾*=0.7	35° 26.6' N	133° 24.7' E	14km	M: 3.4
		島根県 岡山県 1 安来市伯太町東母里*=1.2 安来市安来町*=0.8 1 真庭市禾津*=1.1 真庭市下方*=0.5				
84	20 21 30	福島県中通り 福島県 1 浅川町浅川*=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.5	37° 03.1' N	140° 26.6' E	8km	M: 2.3
85	21 08 50	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田*=2.4 大熊町大川原*=2.2 川内村上川内早渡*=2.1 田村市都路町*=2.1 田村市大越町*=2.0 双葉町両竹*=1.9 浪江町幾世橋=1.9 田村市常葉町*=1.8 川内村上川内小山平*=1.8 田村市船引町=1.8 南相馬市原町区高見町*=1.8 天栄村下松本*=1.7 白河市新白河*=1.7 いわき市三和町=1.6 須賀川市岩瀬支所*=1.6 南相馬市原町区三島町=1.6 川内村下川内=1.6 川俣町五百田*=1.5 福島伊達市梁川町*=1.5 1 玉川村小高*=1.4 相馬市中村*=1.4 富岡町本岡*=1.4 猪苗代町千代田*=1.4 古殿町松川新桑原*=1.3 小野町小野新町*=1.3 田村市滝根町*=1.3 福島伊達市霊山町*=1.3 二本松市油井*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 国見町藤田*=1.3 南相馬市小高区*=1.3 二本松市針道*=1.2 本宮市本宮*=1.2 鏡石町不時沼*=1.2 泉崎村泉崎*=1.2 石川町長久保*=1.2 大熊町野上*=1.2 飯館村伊丹沢*=1.2 郡山市湖南町*=1.2 南相馬市原町区本町*=1.1 南相馬市鹿島区西町*=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 浅川町浅川*=1.1 二本松市金色*=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.0 福島伊達市保原町*=1.0 桑折町谷地*=1.0 本宮市白岩*=1.0 須賀川市八幡町*=1.0 葛尾村落合落合*=0.9 新地町谷地小屋*=0.9 白河市大信*=0.9 南相馬市鹿島区栞窪=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 郡山市朝日=0.9 福島伊達市前川原*=0.9 白河市郭内=0.9 郡山市開成*=0.8 大玉村南小屋=0.8 大玉村玉井*=0.8 福島市桜木町*=0.8 白河市東*=0.8 いわき市錦町*=0.7 福島市松木町=0.7 福島広野町下北迫苗代替*=0.7 福島市飯野町*=0.7 福島伊達市月館町*=0.7 福島市五老内町*=0.7 いわき市小名浜=0.6 猪苗代町城南=0.5 古殿町松川横川=0.5	37° 33.9' N	141° 56.5' E	41km	M: 4.6
		宮城県 1 石巻市桃生町*=1.3 宮城川崎町前川*=1.2 石巻市北上町*=1.2 名取市増田*=1.2 岩沼市桜*=1.0 亶理町悠里*=1.0 利府町利府*=1.0 山元町浅生原*=0.9 石巻市大街道南*=0.9 涌谷町新町裏=0.9 蔵王町円田*=0.8 角田市角田*=0.8 東松島市矢本*=0.7 仙台空港=0.7 丸森町鳥屋*=0.7 仙台太白区山田*=0.7 村田町村田*=0.6 東松島市小野*=0.6 栗原市築館*=0.5 白石市亶理町*=0.5 石巻市雄勝町*=0.5				
		山形県 茨城県 1 米沢市アルカディア=0.5 1 笠間市石井*=1.0 大子町池田*=1.0 城里町小勝*=0.8 水戸市内原町*=0.7 日立市助川小学校*=0.7 常陸大宮市山方*=0.6 土浦市常名=0.6 高萩市安良川*=0.6 常陸大宮市北町*=0.5 水戸市千波町*=0.5				
		栃木県 1 那須町寺子*=1.2 宇都宮市明保野町=0.8 芳賀町祖母井*=0.5 栃木那珂川町小川*=0.5				
86	21 10 08	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=0.6	37° 30.5' N	137° 13.4' E	13km	M: 2.7
87	21 16 19	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市泉支所*=0.7	32° 32.5' N	130° 40.9' E	9km	M: 2.7
88	21 16 37	奄美大島近海 鹿児島県 1 天城町平土野*=1.3	27° 51.5' N	128° 52.9' E	8km	M: 2.4
89	21 18 44	福島県沖 福島県 3 檜葉町北田*=2.6 富岡町本岡*=2.6 2 田村市大越町*=2.3 大熊町大川原*=2.3 双葉町両竹*=2.3 浪江町幾世橋=2.2 福島広野町下北迫大谷地原*=2.1 田村市都路町*=2.1 いわき市三和町=2.1 いわき市平梅本*=2.1 南相馬市原町区高見町*=2.1 福島広野町下北迫苗代替*=1.8 白河市新白河*=1.8 棚倉町棚倉中居野=1.8 相馬市中村*=1.8 南相馬市小高区*=1.8 田村市滝根町*=1.7 新地町谷地小屋*=1.7 南相馬市原町区三島町=1.7 本宮市本宮*=1.7 田村市常葉町*=1.7 国見町藤田*=1.6 川内村上川内早渡*=1.6 いわき市平四ツ波*=1.6 古殿町松川新桑原*=1.5 小野町小野新町*=1.5 田村市船引町=1.5 須賀川市岩瀬支所*=1.5 川内村下川内=1.5 1 天栄村下松本*=1.4 泉崎村泉崎*=1.4 大熊町野上*=1.4 南相馬市原町区本町*=1.4 川俣町五百田*=1.3 玉川村小高*=1.3 浅川町浅川*=1.3 福島伊達市霊山町*=1.3 白河市表郷*=1.3 須賀川市八幡山*=1.3 福島伊達市梁川町*=1.2 二本松市油井*=1.2 本宮市白岩*=1.2 いわき市錦町*=1.2 川内村上川内小山平*=1.2 白河市郭内=1.2 南相馬市鹿島区西町*=1.2 須賀川市八幡町*=1.2 桑折町谷地*=1.1 鏡石町不時沼*=1.1 二本松市金色*=1.1 郡山市湖南町*=1.0 いわき市小名浜=1.0 白河市東*=1.0 葛尾村落合落合*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 大玉村玉井*=1.0 矢祭町戸塚*=1.0 福島市松木町=1.0 小野町中通*=1.0 福島伊達市前川原*=1.0 福島市五老内町*=1.0 福島伊達市保原町*=1.0 二本松市針道*=0.9 福島伊達市月館町*=0.9 福島市桜木町*=0.9 石川町長久保*=0.9 猪苗代町千代田*=0.9 白河市大信*=0.9 古殿町松川横川=0.8 福島市飯野町*=0.8 郡山市朝日=0.8 大玉村南小屋=0.8 矢祭町東館*=0.8	37° 30.4' N	141° 32.5' E	47km	M: 4.8

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県 平田村永田*0.7 南相馬市鹿島区柘窪=0.7 2 石巻市桃生町*2.2 角田市角田*2.0 山元町浅生原*1.8 岩沼市桜*1.8 石巻市大街道南*1.6 蔵王町円田*1.6 登米市迫町*1.6 亙理町悠里*1.5 丸森町鳥屋*1.5 東松島市小野*1.5 1 登米市中田町*1.4 東松島市矢本*1.4 丸森町上滝=1.3 名取市増田*1.3 涌谷町新町裏=1.2 宮城川崎町前川*1.2 大崎市田尻*1.2 松島町高城=1.1 大崎市鹿島台*1.1 登米市南方町*1.1 大崎市松山*1.0 気仙沼市笹が陣*1.0 色麻町四竈*1.0 白石市亙理町*1.0 仙台空港=1.0 大河原町新南*1.0 登米市米山町*1.0 石巻市北上町*1.0 大崎市古川三日町=1.0 栗原市築館*0.9 栗原市瀬峰*0.9 登米市津山町*0.9 宮城美里町木間塚*0.9 栗原市若柳*0.9 大崎市古川大崎=0.9 仙台宮城野区五輪=0.9 石巻市鮎川浜*0.9 登米市東和町*0.9 石巻市相野谷*0.9 登米市登米町*0.8 栗原市志波姫*0.8 石巻市前谷地*0.8 村田町村田*0.8 仙台若林区遠見塚*0.8 利府町利府*0.8 大郷町粕川*0.8 大衡村大衡*0.8 女川町女川*0.8 柴田町船岡=0.8 登米市石越町*0.7 気仙沼市赤岩=0.7 石巻市雄勝町*0.7 栗原市高清水*0.7 栗原市栗駒=0.7 七ヶ浜町東宮浜*0.7 仙台太白区山田*0.7 仙台泉区将監*0.7 石巻市泉町=0.7 塩竈市今宮町*0.6 栗原市金成*0.6 仙台青葉区雨宮*0.6 仙台宮城野区苦竹*0.5				
		茨城県 2 笠間市石井*1.5 1 日立市助川小学校*1.3 笠間市中央*1.3 城里町小勝*1.3 水戸市内原町*1.2 東海村東海*1.2 大子町池田*1.2 那珂市瓜連*1.2 城里町石塚*1.2 土浦市常名=1.2 笠間市笠間*1.1 常陸大宮市北町*1.1 常陸太田市金井町*1.1 水戸市千波町*1.0 日立市十王町友部*1.0 日立市役所*1.0 常陸太田市高柿町*1.0 高萩市安良川*1.0 笠間市下郷*1.0 城里町阿波山*1.0 ひたちなか市南神敷台*0.9 常陸大宮市山方*0.9 小美玉市上玉里*0.9 石岡市柿岡=0.9 筑西市舟生=0.9 筑西市門井*0.9 桜川市岩瀬*0.9 水戸市栗崎町*0.9 水戸市金町=0.8 常陸大宮市野口*0.8 小美玉市小川*0.8 小美玉市堅倉*0.8 高萩市本町*0.8 大茨城市磯原町*0.8 桜川市真壁*0.8 桜川市羽田*0.8 鉾田市汲上*0.8 ひたちなか市東石川*0.8 土浦市藤沢*0.7 石岡市若宮*0.7 石岡市石岡*0.7 美浦村受領*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.7 常陸大宮市中富町=0.7 常陸太田市町屋町=0.7 鉾田市鉾田=0.7 取手市寺田*0.6 つくば市天王台*0.6 かすみがうら市上土田*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 茨城鹿嶋市宮中*0.5				
		岩手県 1 一関市千厩町*1.0 一関市室根町*1.0 一関市藤沢町*1.0 一関市花泉町*0.9 住田町世田米*0.7 盛岡市薮川*0.7 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市中妻町*0.5 一関市東山町*0.5				
		山形県 1 中山町長崎*0.6 米沢市アルカディア=0.6 米沢市林泉寺*0.6 高島町高島*0.5				
		栃木県 1 那須町寺子*1.2 高根沢町石末*1.1 芳賀町祖母井*1.0 宇都宮市明保野町=0.9 栃木那珂川町小川*0.9 益子町益子=0.7 大田原市黒羽田町=0.6 栃木那珂川町馬頭*0.6 宇都宮市中里町*0.5 真岡市田町*0.5				
		埼玉県 1 春日部市粕壁*0.5 宮代町笠原*0.5				
90	21 23 52	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*0.7 大崎市田尻*0.6 栗原市築館*0.6 岩沼市桜*0.5	37° 57.6' N	141° 46.4' E	55km	M: 3.9
91	22 04 13	沖縄本島北西沖 沖縄県 1 久米島町比嘉*1.1 久米島町謝名堂=0.9 久米島町仲泊*0.6	26° 48.1' N	126° 25.0' E	29km	M: 4.4
92	22 05 58	福島県中通り 福島県 1 浅川町浅川*0.5	37° 04.0' N	140° 25.6' E	8km	M: 1.6
93	22 12 01	青森県三八上北地方 青森県 4 階上町道仏*3.8 3 東北町上北南*3.0 五戸町古館=3.0 八戸市内丸*2.9 おいらせ町中下田*2.9 おいらせ町上明堂*2.9 東通村砂子又沢内*2.9 青森南部町苔米地*2.8 五戸町倉石中市*2.7 八戸市湊町=2.7 七戸町森ノ上*2.6 八戸市南郷*2.6 平内町小湊=2.5 青森南部町平*2.5 むつ市大畑町中島*2.5 2 野辺地町田狭沢*2.4 青森南部町沖田面*2.4 東通村砂子又蒲谷地=2.3 むつ市金谷*2.3 野辺地町野辺地*2.2 六戸町犬落瀬*2.2 むつ市金曲=2.1 東通村白糠*2.1 三戸町在府小路町*2.1 七戸町七戸*2.0 むつ市川内町*2.0 三沢市桜町*1.9 外ヶ浜町蟹田*1.9 藤崎町西豊田*1.9 横浜町林ノ脇*1.8 十和田市西二番町*1.8 東北町塔ノ沢山*1.7 六ヶ所村尾駈=1.7 六ヶ所村出戸=1.7 佐井村長後*1.7 十和田市西十二番町*1.7 横浜町寺下*1.7 田子町田子*1.6 青森市中央*1.6 むつ市脇野沢*1.6 青森市花園=1.6 藤崎町水木*1.5 1 平内町東田沢*1.4 八戸市島守=1.4 十和田市奥瀬*1.4 風間浦村易国間*1.4 つがる市稲垣町*1.3 平川市猿賀*1.3 青森市浪岡*1.3 新郷村戸来*1.2 東通村尻屋*1.2 蓬田村蓬田*1.2 田舎館村田舎館*1.2 弘前市賀田*1.1 佐井村佐井*1.0 弘前市弥生=1.0 五所川原市敷島町*1.0 五所川原市金木町*1.0 むつ市大畑町奥栗研=1.0 大間町大間*1.0 つがる市柏*1.0 黒石市市ノ町*0.9 つがる市車力町*0.9 外ヶ浜町平館*0.9 中泊町中里*0.9 つがる市木造*0.8 西目屋村田代*0.8 板柳町板柳*0.8 今別町今別*0.7 鶴田町鶴田*0.7 七戸町北天間館=0.6 弘前市五所*0.6 五所川原市相内*0.6 鱒ヶ沢町舞戸町鳴戸=0.5 岩手県 3 軽米町軽米*2.9 久慈市枝成沢=2.8 岩手洋野町大野*2.8 久慈市川崎町=2.6 九戸村伊保内*2.6 盛岡市薮川*2.5 2 二戸市福岡=2.4 野田村野田*2.3 二戸市浄法寺町*2.3 岩手洋野町種市=2.2 二戸市石切所*2.1 岩手町五日市*2.1 一戸町高善寺*2.1 矢巾町南矢幅*2.1 久慈市長内町*2.0 普代村銅屋*2.0 葛巻町葛巻元木=2.0 八幡平市田頭*2.0 八幡平市吠田*2.0 八幡平市野駄*2.0 宮古市五月町*2.0 花巻市東和町*2.0 釜石市中妻町*1.9 盛岡市山王町=1.9 宮古市田老*1.9 遠野市青笹町*1.9 奥州市江刺*1.9 滝沢市鶴飼*1.8 宮古市鎌ヶ崎=1.8 奥州市胆沢*1.8 平泉町平泉*1.7 住田町世田米*1.7 大船渡市大船渡町=1.6 盛岡市洪民*1.6 八幡平市大更=1.6	40° 33.0' N	141° 25.0' E	86km	M: 5.3

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>一関市千厩町*=1.5 一関市室根町*=1.5 金ヶ崎町西根*=1.5 宮古市川井*=1.5 葛巻町消防分署*=1.5 宮古市区界*=1.5 花巻市大迫町=1.5 北上市相去町*=1.5 1 金石市只越町=1.4 葛巻町役場*=1.4 紫波町紫波中央駅前*=1.4 奥州市水沢大鐘町=1.4 奥州市前沢*=1.4 遠野市宮守町*=1.3 一関市藤沢町*=1.3 奥州市水沢倉倉河*=1.3 奥州市衣川*=1.3 山田町大沢*=1.3 宮古市茂市*=1.2 山田町八幡町=1.2 田野畑村役場*=1.2 盛岡市馬場町*=1.2 北上市柳原町=1.2 一関市花泉町*=1.2 雫石町千刈田=1.1 岩泉町大川*=1.1 田野畑村田野畑=1.1 花巻市石鳥谷町*=1.1 久慈市山形町*=1.1 一関市大東町=1.1 一関市竹山町*=1.1 岩泉町岩泉*=0.9 大槌町小釜*=0.9 一関市東山町*=0.8 西和賀町沢内川舟*=0.8 大船渡市猪川町=0.8 大船渡市盛町*=0.8 陸前高田市高田町*=0.8 雫石町西根上駒木野=0.7 宮古市長沢=0.6 西和賀町川尻*=0.5 2 函館市泊町*=2.2 函館市新浜町*=1.9 新冠町北星町*=1.8 函館市日ノ浜町*=1.7 安平町早来北進*=1.5 様似町茶町*=1.5 1 千歳市若草*=1.3 むかわ町松風*=1.3 浦河町潮見=1.3 厚真町鹿沼=1.2 新千歳空港=1.2 室蘭市寿町*=1.2 浦河町築地*=1.2 幕別町忠類錦町*=1.2 むかわ町穂別*=1.1 十勝大樹町東本通*=1.0 新ひだか町三石旭町*=1.0 帯広市東4条=1.0 帯広市東6条*=1.0 千歳市北栄=1.0 江別市緑町*=0.9 札幌東区元町*=0.9 函館市川汲町*=0.9 えりも町えりも岬*=0.9 壮瞥町滝之町*=0.9 札幌清田区平岡*=0.8 苫小牧市末広町=0.8 浦河町野深=0.8 日高地方日高町門別*=0.7 函館市美原=0.7 白糠町西1条*=0.7 別海町常盤=0.7 十勝清水町南4条=0.7 新得町2条*=0.6 函館市尾札部町=0.6 安平町追分柏が丘*=0.6 十勝大樹町生花*=0.6 広尾町並木通=0.6 登別市桜木町*=0.5 千歳市支笏湖温泉*=0.5 七飯町桜町=0.5 胆振伊達市大滝区本町*=0.5 2 登米市迫町*=1.8 気仙沼市唐桑町*=1.7 涌谷町新町裏=1.7 石巻市桃生町*=1.7 登米市登米町*=1.6 登米市中田町=1.5 登米市米山町*=1.5 大崎市松山*=1.5 1 登米市南方町*=1.4 大崎市古川旭*=1.4 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.3 栗原市栗駒=1.3 栗原市若柳*=1.3 大崎市古川三日町=1.3 岩沼市桜*=1.3 松島町高城=1.3 栗原市築館*=1.2 大崎市田尻*=1.2 東松島市矢本*=1.2 栗原市金成*=1.1 栗原市一迫*=1.1 宮城美里町木間塚*=1.1 丸森町鳥屋*=1.1 石巻市大街道南*=1.1 石巻市前谷地*=1.1 栗原市志波姫*=1.1 角田市角田*=1.0 亶理町悠里*=1.0 石巻市相野谷*=1.0 登米市東和町*=0.9 大崎市鹿島台*=0.9 名取市増田*=0.9 宮城加美町中新田*=0.9 宮城加美町小野田*=0.9 色麻町四籠*=0.9 登米市石越町*=0.8 宮城美里町北浦*=0.8 利府町利府*=0.8 大衡村大衡*=0.8 大崎市古川大崎=0.8 栗原市鶯沢*=0.8 石巻市北上町*=0.8 栗原市花山*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 栗原市高清水*=0.7 大河原町新南*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 石巻市泉町=0.6 仙台宮城野区五輪=0.5 1 横手市大雄*=1.3 井川町北川尻*=1.2 大館市早口*=1.1 北秋田市米内沢*=1.1 潟上市昭和久保*=1.0 大館市桜町*=1.0 大館市比内町扇田*=1.0 鹿角市花輪*=1.0 北秋田市花園町=1.0 大仙市高梨*=1.0 能代市二ツ井町上台*=0.9 三種町森岳*=0.9 藤里町藤琴*=0.8 北秋田市新田目*=0.8 由利本荘市岩城内道川*=0.7 湯沢市沖鶴=0.7 湯沢市川連町*=0.7 羽後町西馬音内*=0.7 大仙市大曲花園町*=0.7 小坂町小坂砂森*=0.6 上小阿仁村小沢田*=0.6 横手市雄物川町今宿=0.6 潟上市天王*=0.6 秋田市河辺和田*=0.6 遊佐町舞鶴*=0.5 山形県 1 中山町長崎*=1.1 鶴岡市藤島*=0.8 村山市中央*=0.7 福島県 1 いわき市三和町=0.5 浪江町幾世橋=0.5 茨城県 1 笠間市石井*=0.5</p>				
94	23 22 46	<p>宮城県沖 宮城県 2 石巻市北上町*=1.6 1 登米市東和町*=1.2 登米市豊里町*=1.2 岩沼市桜*=1.2 石巻市桃生町*=1.1 石巻市雄勝町*=1.1 涌谷町新町裏=1.0 大崎市古川大崎=0.9 南三陸町歌津*=0.9 宮城美里町北浦*=0.8 登米市石越町*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 大崎市田尻*=0.7 石巻市鮎川浜*=0.6 石巻市大街道南*=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 石巻市泉町=0.6 松島町高城=0.6 登米市中田町=0.5 大崎市古川三日町=0.5 岩手県 1 一関市室根町*=1.1 一関市千厩町*=1.1 一関市大東町=0.5</p>	38° 35.0' N	141° 55.8' E	53km	M: 3.8
95	24 01 17	<p>岩手県沿岸北部 青森県 岩手県 1 階上町道仏*=1.1 1 遠野市青笹町*=1.4 宮古市茂市*=1.1 遠野市宮守町*=1.0 宮古市川井*=0.9 葛巻町葛巻元木=0.8 宮古市田老*=0.8 宮古市区界*=0.8 住田町世田米*=0.7 善代村銅屋*=0.7 一関市室根町*=0.7 八幡平市田頭*=0.6 田野畑村田野畑=0.6 盛岡市藪川*=0.6 久慈市枝成沢=0.6</p>	39° 45.5' N	141° 50.8' E	57km	M: 3.5
96	24 01 21	<p>有明海 福岡県 佐賀県 長崎県 1 みやま市高田町*=0.5 1 嬉野市下宿乙*=0.8 1 雲仙市国見町=0.6</p>	32° 57.9' N	130° 19.8' E	9km	M: 2.8
97	24 17 29	<p>茨城県南部 茨城県 3 笠間市下郷*=2.8 水戸市内原町*=2.8 筑西市二木成*=2.7 笠間市石井*=2.7 坂東市馬立*=2.6 筑西市舟生=2.5 城里町小勝*=2.5 石岡市柿岡=2.5 笠間市中央*=2.5 2 小美玉市小川*=2.4 土浦市藤沢*=2.4 茨城古河市仁連*=2.4 小美玉市上玉里*=2.3 石岡市若宮*=2.3 石岡市石岡*=2.3 つくば市小基*=2.3 坂東市山*=2.3 筑西市門井*=2.3 桜川市岩瀬*=2.3 常総市新石下*=2.3 土浦市常名=2.3 笠間市笠間*=2.3 つくばみらい市福田*=2.2 坂東市役所*=2.2 下妻市鬼怒*=2.2 石岡市八郷*=2.2 桜川市羽田*=2.2 水戸市千波町*=2.2 常陸大宮市北町*=2.1 下妻市本城町*=2.1 ひたちなか市南神敷台*=2.1 鉾田市汲上*=2.1 水戸市栗崎町*=2.0 坂東市岩井=2.0 茨城古河市下大野*=2.0 常総市水海道諏訪町*=2.0 桜川市真壁*=2.0 日立市十王町友部*=1.9 城里町石塚*=1.9 取手市寺田*=1.9</p>	36° 03.0' N	139° 54.0' E	44km	M: 4.2

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		筑西市海老ヶ島*1.9 つくば市天王台*1.9 茨城町小堤*1.9 小美玉市堅倉*1.9 かすみがうら市上土田*1.8 八千代町菅谷*1.8 牛久市中央*1.8 茨城鹿嶋市鉢形*1.8 常陸大宮市野口*1.7 つくば市研究学園*1.7 土浦市田中*1.7 鉾田市鉾田*1.7 鉾田市造谷*1.7 那珂市瓜連*1.7 水戸市金町*1.7 境町旭町*1.7 つくばみらい市加藤*1.7 行方市玉造*1.7 行方市麻生*1.7 守谷市大柏*1.6 取手市藤代*1.6 茨城古河市長谷町*1.6 常陸大宮市山方*1.6 稲敷市江戸崎甲*1.6 東海村東海*1.6 取手市井野*1.5 茨城鹿嶋市宮中*1.5 那珂市福田*1.5 五霞町小福田*1.5 日立市助川小学校*1.5 1 高萩市安良川*1.4 城里町阿波山*1.4 結城市中央町*1.4 かすみがうら市大和田*1.4 神栖市溝口*1.4 美浦村受領*1.3 ひたちなか市東石川*1.3 稲敷市結佐*1.2 稲敷市須賀津*1.2 大洗町磯浜町*1.2 龍ヶ崎市役所*1.2 潮来市辻*1.2 ひたちなか市山ノ上町*1.2 阿見町中央*1.2 稲敷市伊佐津*1.2 常陸太田市町屋町*1.1 常陸太田市高柿町*1.1 利根町布川*1.1 稲敷市役所*1.0 常陸大宮市中富町*0.9 常陸大宮市高部*0.9 常陸太田市町田町*0.8 潮来市堀之内*0.8 大子町池田*0.8 日立市役所*0.8 高萩市本町*0.8 北茨城市郷中郷町*0.8 河内町源清田*0.7 3 下野市田中*2.9 下野市笹原*2.6 宇都宮市明保野町*2.5 2 栃木市旭町*2.3 栃木市岩舟町静*2.2 茂木町茂木*2.2 真岡市荒町*2.1 栃木市藤岡町藤岡*2.1 野木町丸林*2.0 鹿沼市晃望台*2.0 真岡市田町*2.0 益子町益子*2.0 栃木市西方町本城*1.8 佐野市高砂町*1.8 栃木市都賀町家中*1.7 芳賀町祖母井*1.7 足利市大正町*1.7 上三川町しらさぎ*1.6 下野市大松山*1.6 小山市神鳥谷*1.5 栃木市万町*1.5 宇都宮市旭*1.5 1 宇都宮市埴田*1.4 宇都宮市中里町*1.4 市貝町埴田*1.4 佐野市葛生東*1.2 佐野市田沼町*1.2 鹿沼市今宮町*1.2 高根沢町石末*1.2 栃木市大平町富田*1.1 鹿沼市口栗野*1.0 矢板市本町*1.0 茂木町北高岡天矢場*1.0 日光市鬼怒川温泉大原*0.9 栃木さくら市氏家*0.8 日光市芹沼*0.7 塩谷町玉生*0.7 那須塩原市塩原庁舎*0.7 日光市黒部*0.6 栃木那珂川町小川*0.6 佐野市中町*0.6 日光市藤原庁舎*0.6 那須烏山市大金*0.5 日光市足尾町中才*0.5 日光市御幸町*0.5 栃木さくら市喜連川*0.5 3 久喜市下早見*2.5 2 加須市騎西*2.4 春日部市粕壁*2.4 宮代町笠原*2.3 川口市中青木分室*2.1 春日部市金崎*2.1 さいたま見沼区堀崎*2.1 さいたま南区別所*2.1 さいたま大宮区大門*1.9 さいたま浦和区高砂*1.9 さいたま中央区下落合*1.8 さいたま岩槻区本丸*1.8 加須市大利根*1.7 久喜市栗橋*1.7 さいたま北区宮原*1.7 さいたま大宮区天沼町*1.7 さいたま緑区中尾*1.7 久喜市青葉*1.6 久喜市鷲宮*1.6 春日部市谷原新田*1.6 幸手市東*1.6 杉戸町清地*1.6 戸田市上戸田*1.5 白岡市千駄野*1.5 東松山市松葉町*1.5 熊谷市江南*1.5 1 加須市三俣*1.4 加須市北川辺*1.4 羽生市東*1.4 久喜市菖蒲*1.4 蕨市中央*1.4 八潮市中央*1.4 吉川市きよみ野*1.4 三郷市中央*1.3 蓮田市黒浜*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3 滑川町福田*1.3 上尾市本町*1.3 越谷市越ヶ谷*1.3 桶川市泉*1.3 北本市本町*1.3 鴻巣市中央*1.3 川口市三ツ和*1.2 行田市本丸*1.2 松伏町松伏*1.2 さいたま西区指扇*1.2 さいたま桜区道場*1.2 川口市安行領家*1.1 草加市中央*1.1 伊奈町中央*1.1 行田市南河原*1.1 石巻市桃生町*1.1 和光市広沢*1.1 鴻巣市川里*1.0 熊谷市妻沼*1.0 川越市新宿町*1.0 川島町下八ツ林*0.9 深谷市仲町*0.9 富士見市鶴馬*0.9 熊谷市桜町*0.9 東松山市市ノ川*0.9 秩父市近戸町*0.8 朝霞市本町*0.8 鴻巣市吹上富士見*0.8 深谷市川本*0.8 嵐山町杉山*0.8 吉見町下細谷*0.8 熊谷市宮町*0.8 長瀨町野上下郷*0.7 川越市旭町*0.7 小川町大塚*0.7 新座市野火止*0.7 熊谷市大里*0.6 所沢市北有楽町*0.5 狭山市入間川*0.5 深谷市普濟寺*0.5 本庄市児玉町*0.5 東秩父村御堂*0.5 ときがわ町桃木*0.5 2 板倉町板倉*2.0 館林市上三林町*1.9 邑楽町中野*1.7 千代田町赤岩*1.6 大泉町日の出*1.6 1 群馬明和町新里*1.4 太田市西本町*1.2 館林市城町*1.2 沼田市利根町*1.0 桐生市元宿町*1.0 太田市浜町*0.8 太田市大原町*0.8 渋川市赤城町*0.8 沼田市西倉内町*0.7 桐生市新里町*0.7 桐生市黒保根町*0.6 伊勢崎市東町*0.6 太田市粕川町*0.6 沼田市白沢町*0.6 片品村鎌田*0.6 渋川市吹屋*0.5 伊勢崎市西久保町*0.5 みどり市大間々町*0.5 千葉県 2 野田市鶴寿*2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.9 芝山町小池*1.8 野田市東宝珠花*1.8 柏市旭町*1.7 柏市柏*1.7 成田国際空港*1.6 成田市中台*1.6 香取市役所*1.5 松戸市西馬橋*1.5 八千代市大和田新田*1.5 1 香取市仁良*1.4 習志野市鷺沼*1.4 柏市大島田*1.4 白井市復*1.4 旭市南堀之内*1.3 多古町多古*1.3 香取市佐原諏訪台*1.3 千葉花見川区花島町*1.3 成田市名古屋*1.3 柴町安食台*1.3 旭市二*1.2 香取市佐原平田*1.2 香取市羽根川*1.2 香取市岩部*1.2 山武市松尾町富士見台*1.2 山武市埴谷*1.2 千葉佐倉市海隣寺町*1.2 浦安市日の出*1.2 富里市七栄*1.2 船橋市湊町*1.1 流山市平和台*1.1 印西市大森*1.1 松戸市根本*1.0 神崎町神崎本宿*1.0 長南町長南*1.0 市原市姉崎*1.0 我孫子市我孫子*1.0 千葉稲毛区園生町*1.0 千葉美浜区ひび野*1.0 八街市八街*0.9 印西市笠神*0.9 成田市役所*0.9 成田市松子*0.9 東金市日吉台*0.9 千葉中央区中央港*0.9 長南町総合グラウンド*0.8 千葉中央区千葉市役所*0.8 千葉若葉区小倉台*0.8 千葉美浜区稲毛海岸*0.8 印西市美瀬*0.7 酒々井町中央台*0.7 横芝光町宮川*0.7 旭市萩園*0.6 千葉緑区おゆみ野*0.6 市川市八幡*0.6 君津市久留里市場*0.5 成田市猿山*0.5 山武市蓮沼二*0.5 東京都 2 東京練馬区豊玉北*1.6 1 東京千代田区大手町*1.3 東京中野区江古田*1.3 東京北区西ヶ原*1.3 東京板橋区相生町*1.3 東京足立区神明南*1.3 東京新宿区上落合*1.2 東京中野区中野*1.2 東京板橋区高島平*1.2 東京足立区伊興*1.2 東京文京区大塚*1.1 東京渋谷区本町*1.1 東京杉並区桃井*1.1 東京杉並区高井戸*1.1 調布市西つつじヶ丘*1.1 東京目黒区中央町*1.0 東京世田谷区三軒茶屋*1.0 東京葛飾区立石*1.0 東京文京区本郷*1.0 東京荒川区東尾久*0.9 東京千代田区富士見*0.9 東大和市中央*0.9 東京文京区スポーツセンタ*0.9				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京品川区平塚*0.9 東京世田谷区中町*0.8 東京世田谷区成城*0.8 東京豊島区南池袋*0.8 東京北区赤羽南*0.8 東京練馬区光が丘*0.8 東京江戸川区中央*0.8 東京中央区勝どき*0.8 東京港区海岸*0.8 東京港区白金*0.8 東京新宿区百人町*0.8 東京板橋区板橋*0.7 東京練馬区東大泉*0.7 東京足立区千住中居町*0.7 東京台東区東上野*0.7 東京品川区北品川*0.7 東京葛飾区金町*0.7 東京江戸川区鹿骨*0.7 東京江戸川区船堀*0.7 三鷹市野崎*0.7 東京府中市朝日町*0.7 西東京市中町*0.7 東京渋谷区宇田川町*0.7 東京港区南青山*0.7 東京新宿区歌舞伎町*0.6 町田市森野*0.6 日野市神明*0.6 国分寺市戸倉*0.6 狛江市和泉本町*0.6 東京墨田区吾妻橋*0.6 東京江東区越中島*0.6 東京国際空港*0.6 東京大田区多摩川*0.6 東京世田谷区世田谷*0.6 武蔵野市緑町*0.5 東京荒川区荒川*0.5 東京江東区枝川*0.5 東京大田区本羽田*0.5 東京中央区築地*0.5 1 白河市表郷*1.4 白河市大信*1.0 白河市東*0.9 玉川村小高*0.8 須賀川市岩瀬支所*0.8 棚倉町棚倉中居野*0.7 矢祭町東館*0.7 白河市新白河*0.7 いわき市三和町*0.7 浅川町浅川*0.6 矢祭町戸塚*0.6 須賀川市八幡山*0.5 いわき市小名浜*0.5				
		神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*1.4 横浜港北区日吉本町*1.4 川崎宮前区宮前平*1.4 横浜緑区十日市場町*1.2 横浜青葉区市ケ尾町*1.2 横浜中区山手町*1.1 川崎中原区小杉町*1.1 横浜旭区川井宿町*1.0 川崎宮前区野川*0.9 相模原緑区久保沢*0.8 川崎中原区小杉陣屋町*0.7 三浦市城山町*0.5 相模原緑区中野*0.5				
98	25 07 17	静岡県東部 静岡県	35° 11.6' N	138° 34.1' E	14km	M: 3.5
		3 富士宮市野中*3.2 2 富士宮市長貫*2.3 静岡清水区蒲原新栄*2.3 富士市大淵*2.0 富士市岩淵*1.9 富士市吉永*1.9 静岡駿河区用宗*1.7 富士宮市弓沢町*1.7 静岡清水区千歳町*1.5 1 静岡清水区由比北田*1.4 静岡清水区谷津*1.4 静岡駿河区曲金*1.3 伊豆の国市長岡*1.2 静岡葵区駒形通*1.2 沼津市戸田*1.1 静岡葵区梅ヶ島*1.1 伊豆市中伊豆グラウンド*1.0 富士市本市場*1.0 富士市永田町*1.0 三島市東本町*0.6 藤枝市岡出山*0.5 沼津市原*0.5				
		山梨県 1 山梨南部町富士*1.0 山梨南部町栄小学校*0.5				
99	25 07 27	静岡県東部 静岡県	35° 11.6' N	138° 34.2' E	14km	M: 2.7
		2 富士宮市野中*2.2 1 富士宮市長貫*1.3 富士市大淵*1.2 静岡清水区蒲原新栄*1.2 富士宮市弓沢町*0.6				
100	25 07 28	静岡県東部 静岡県	35° 11.7' N	138° 34.2' E	14km	M: 2.1
		1 富士宮市野中*0.9				
101	25 08 47	静岡県東部 静岡県	35° 11.5' N	138° 34.2' E	14km	M: 2.6
		2 富士宮市野中*1.8 1 富士市大淵*0.9 静岡清水区蒲原新栄*0.9 富士宮市長貫*0.6				
102	25 12 47	静岡県東部 静岡県	35° 11.4' N	138° 34.1' E	14km	M: 1.7
		1 富士宮市野中*0.6				
103	25 14 46	択捉島南東沖 北海道	44° 20.2' N	148° 23.0' E	132km	M: 4.4
		1 根室市落石東*0.6				
104	25 23 41	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 47.6' N	126° 23.8' E	30km	M: 5.1
		2 久米島町比嘉*1.5 1 久米島町謝名堂*1.1 久米島町仲泊*0.7 久米島町山城*0.6				
105	25 23 44	沖縄本島北西沖 沖縄県	26° 48.5' N	126° 22.9' E	27km	M: 4.6
		2 久米島町比嘉*1.5 1 久米島町謝名堂*0.9 久米島町仲泊*0.7				
106	26 02 57	日向灘 宮崎県	32° 08.1' N	131° 53.9' E	28km	M: 3.2
		1 川南町川南*0.7				
107	26 04 34	岩手県内陸北部 岩手県	40° 13.0' N	141° 05.1' E	7km	M: 3.2
		2 二戸市浄法寺町*2.3 1 二戸市石切所*1.4 一戸町高善寺*1.2 二戸市福岡*1.0 軽米町軽米*0.6 九戸村伊保内*0.6				
		青森県 1 三戸町在府小路町*1.1 田子町田子*1.0 八戸市南郷*0.6				
108	26 04 42	苫小牧沖 北海道	41° 36.2' N	141° 57.4' E	60km	M: 3.4
		1 函館市泊町*0.7 1 東通村砂子又沢内*0.6				
109	26 04 58	千葉県北東部 千葉県	35° 24.7' N	140° 18.6' E	30km	M: 2.9
		2 長南町長南*1.9 長南町総合グラウンド*1.7 1 大網白里市大網*1.0 茂原市道表*0.9 白子町関*0.7 東金市日吉台*0.5 一宮町一宮*0.5				
110	26 10 45	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 19.9' N	130° 27.8' E	10km	M: 2.6
		1 芦北町田浦町*0.6 球磨村渡*0.5				
111	26 11 07	静岡県東部 静岡県	35° 11.7' N	138° 34.2' E	14km	M: 2.0
		1 富士宮市野中*1.0				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
112	26 16 17	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町西古見=0.9	28° 15.2' N	129° 16.4' E	19km	M: 2.9
113	26 19 00	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=1.0 一関市東山町*=0.7 一関市室根町*=0.6 住田町世田米*=0.5 一関市藤沢町*=0.5 宮城県 1 登米市中田町=1.1 登米市南方町*=0.9 石巻市北上町*=0.8 栗原市築館*=0.7 登米市石越町*=0.7 石巻市桃生町*=0.7 宮城川崎町前川*=0.6 登米市東和町*=0.6 栗原市志波姫*=0.5	37° 53.1' N	141° 41.9' E	56km	M: 4.0
114	26 21 00	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.5	38° 42.4' N	141° 48.3' E	53km	M: 2.8
115	27 00 34	岩手県沖 岩手県 3 野田村野田*=2.7 2 普代村銅屋*=2.4 1 久慈市川崎町=1.1 久慈市長内町*=1.1 田野畑村田野畑=1.1 久慈市枝成沢=1.0 田野畑村役場*=0.8 宮古市区界*=0.6 宮古市田老*=0.5 青森県 1 八戸市南郷*=0.7	40° 03.6' N	141° 52.8' E	7km	M: 3.8
116	27 08 56	千葉県東方沖 千葉県 1 山武市松尾町富士見台=0.5	35° 26.4' N	140° 27.4' E	55km	M: 3.0
117	27 10 05	紀伊水道 和歌山県 2 和歌山市一番丁*=1.5 1 和歌山市男野芝丁=0.7	34° 13.6' N	135° 06.7' E	8km	M: 2.6
118	27 19 33	青森県津軽北部 青森県 1 今別町今別*=0.7	41° 12.4' N	140° 31.4' E	4km	M: 1.9
119	28 09 32	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.7	38° 21.9' N	142° 06.1' E	37km	M: 3.8
120	28 21 52	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町*=1.3	37° 31.1' N	137° 12.7' E	13km	M: 3.4
121	29 02 47	長野県北部 長野県 1 小川村高府*=0.6	36° 38.3' N	137° 53.7' E	8km	M: 1.8
122	29 04 52	八丈島東方沖 宮城県 1 岩沼市桜*=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=0.5 千葉県 1 市原市姉崎*=0.6 館山市長須賀=0.5 東京都 1 国分寺市本多*=0.9 東京千代田区大手町=0.7 神奈川県 1 湯河原町中央=0.6 横浜中区山手町=0.6 秦野市曾屋=0.5 長野県 1 茅野市葛井公園*=1.1 佐久市中込*=0.8 長野南牧村海ノ口*=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.6 伊豆の国市長岡*=0.6	32° 34.7' N	142° 24.6' E	69km	M: 5.3
123	29 06 36	東京湾 神奈川県 2 横浜港北区日吉本町*=1.5 1 横浜神奈川区神大寺*=1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.2 横浜神奈川区広台太田町*=1.0 横浜鶴見区鶴見*=0.9 横浜鶴見区末広町*=0.9 横浜磯子区洋光台*=0.8 三浦市城山町*=0.8 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.7 横浜中区山手町=0.6 茨城県 1 坂東市岩井=0.5 埼玉県 1 草加市中央*=0.9 朝霞市本町*=0.5 川口市安行領家*=0.5 千葉県 1 長南町長南*=1.2 千葉緑区おゆみ野*=1.2 船橋市湊町*=1.2 市原市姉崎*=1.2 木更津市富士見*=1.2 千葉若葉区小倉台*=1.1 千葉中央区中央港=1.1 千葉花見川区花島町*=1.1 千葉稲毛区園生町*=1.1 八千代市大和田新田*=1.0 長南町総合グラウンド=1.0 富津市下飯野*=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 君津市久留里市場*=0.9 四街道市鹿渡*=0.8 千葉中央区千葉市役所*=0.7 東金市日吉台*=0.6 千葉美浜区稲毛海岸*=0.5 木更津市太田=0.5 東京都 1 東京国際空港=1.2 東京千代田区大手町=1.0 東京渋谷区本町*=0.9 東京北区西ヶ原*=0.9 調布市西つつじヶ丘*=0.8 東京港区海岸=0.8 東京中野区中野*=0.7 東京練馬区東大泉*=0.7 東京江戸川区鹿骨*=0.7 東京杉並区桃井*=0.6 東京港区白金*=0.6 東京足立区神明南*=0.6 東京葛飾区金町*=0.6 東京品川区北品川*=0.5 東京品川区平塚*=0.5 東京大田区多摩川*=0.5 東京世田谷区成城*=0.5 東京中央区勝どき*=0.5 東京江東区越中島*=0.5 東京葛飾区立石*=0.5	35° 34.1' N	140° 05.4' E	70km	M: 3.6
124	29 08 03	茨城県北部 茨城県 3 常陸大宮市北町*=2.6 2 城里町小勝*=2.3 大子町池田*=2.1 東海村東海*=2.1 日立市助川小学校*=2.0 笠間市石井*=2.0 水戸市金町=1.8 常陸太田市町屋町=1.8 城里町石塚*=1.7 日立市十王町友部*=1.7 土浦市常名=1.7 桜川市羽田*=1.7 水戸市千波町*=1.5 笠間市笠間*=1.5 常陸太田市金井町*=1.5 桜川市岩瀬*=1.5 常陸太田市高柿町*=1.5 鉾田市汲上*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5 1 ひたちなか市南神敷台*=1.4 水戸市内原町*=1.3 水戸市栗崎町*=1.3 日立市役所*=1.3	36° 27.5' N	140° 36.1' E	56km	M: 4.0

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		常陸太田市大中町*1.3 常陸大宮市中富町=1.3 那珂市瓜連*1.3 小美玉市小川*1.3 筑西市門井*1.3 北茨城市中郷町*1.2 石岡市柿岡=1.2 常陸大宮市野口*1.2 かすみがうら市大和田*1.2 桜川市真壁*1.2 城里町阿波山*1.2 小美玉市上玉里*1.1 土浦市田中*1.1 ひたちなか市東石川*1.1 北茨城市磯原町*1.1 石岡市若宮*1.0 かすみがうら市上土田*1.0 笠間市下郷*1.0 高萩市安良川*0.9 常陸大宮市高部*0.9 ひたちなか市山ノ上町=0.9 小美玉市堅倉*0.9 笠間市中央*0.9 筑西市二木成*0.8 常陸太田市町田町*0.8 石岡市八郷*0.8 鉾田市造谷*0.8 土浦市藤沢*0.7 取手市寺田*0.7 行方市麻生*0.7 高萩市本町*0.7 筑西市海老ヶ島*0.7 那珂市福田*0.7 つくば市研究学園*0.6 つくば市小基*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 稲敷市江戸崎甲*0.6 阿見町中央*0.5 鉾田市鉾田=0.5 つくば市天王台*0.5 福島県 2 矢祭町東館*2.0 1 矢祭町戸塚*1.4 棚倉町棚倉中居野=1.3 浅川町浅川*1.3 白河市新白河*1.2 玉川村小高*1.1 田村市都路町*1.0 石川町長久保*1.0 田村市船引町=0.9 白河市東*0.9 いわき市錦町*0.8 鏡石町不時沼*0.6 栃木県 2 市貝町市塙*1.6 1 茂木町茂木*1.4 真岡市荒町*1.3 真岡市田町*1.2 栃木那珂川町小川*1.2 栃木那珂川町馬頭*1.1 宇都宮市中里町*1.0 芳賀町祖母井*1.0 宇都宮市明保野町=0.9 益子町益子=0.9 那須烏山市神長=0.9 那須烏山市大金*0.8 那須烏山市役所*0.8 栃木さくら市喜連川*0.6 那須町寺子*0.5 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 埼玉県 1 熊谷市江南*0.5 春日部市粕壁*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*0.8				
125	29 23 07	大分県南部 大分県	33° 04.0' N	131° 37.1' E	7km	M: 2.4
		3 豊後大野市犬飼町黒松*2.8 1 豊後大野市千歳町*1.2 豊後大野市犬飼町大飼*1.2				
126	29 23 40	駿河湾 栃木県	34° 37.5' N	138° 26.4' E	230km	M: 4.2
		1 宇都宮市明保野町=0.7				
127	30 00 05	宗谷東方沖 青森県	45° 59.4' N	143° 39.9' E	351km	M: 5.1
		1 階上町道仏*1.3 八戸市湊町=0.7 むつ市大畑町中島*0.6				
128	30 13 18	石川県能登地方 石川県	37° 31.0' N	137° 17.9' E	13km	M: 2.8
		1 珠洲市正院町*1.1				
129	30 17 53	福島県沖 宮城県	37° 49.4' N	141° 37.8' E	56km	M: 4.0
		2 石巻市桃生町*1.8 東松島市矢本*1.5 1 東松島市小野*1.3 石巻市大街道南*1.1 涌谷町新町裏=1.1 大郷町粕川*1.1 角田市角田*1.1 登米市石越町*1.0 登米市迫町*1.0 大崎市鹿島台*0.9 大崎市田尻*0.9 岩沼市桜*0.9 亶理町悠里*0.9 登米市中田町=0.9 塩竈市今宮町*0.9 大崎市古川旭*0.8 蔵王町円田*0.8 宮城川崎町前川*0.8 大衡村大衡*0.8 山元町浅生原*0.8 石巻市泉町=0.8 登米市南方町*0.7 栗原市栗駒=0.7 栗原市築館*0.7 石巻市北上町*0.7 石巻市前谷地*0.7 石巻市雄勝町*0.7 大崎市古川大崎=0.7 栗原市瀬峰*0.7 七ヶ浜町東宮浜*0.7 利府町利府*0.7 大崎市古川三日町=0.6 気仙沼市笹か陣*0.6 登米市東和町*0.6 気仙沼市唐桑町*0.6 栗原市一迫*0.6 松島町高城=0.6 栗原市志波姫*0.5 仙台青葉区大倉=0.5 栗原市金成*0.5 岩手県 1 一関市室根町*0.9 一関市千厩町*0.8 住田町世田米*0.7 一関市東山町*0.6 一関市藤沢町*0.5 福島県 1 田村市大越町*1.3 福島伊達市霊山町*1.1 大熊町大川原*1.1 川内村下川内=1.0 新地町谷地小屋*1.0 相馬市中村*0.9 檜葉町北田*0.9 飯館村伊丹沢*0.9 南相馬市鹿島区西町*0.9 双葉町両竹*0.8 天栄村下松本*0.7 浪江町幾世橋=0.6 田村市都路町*0.6 南相馬市原町区高見町*0.6 浅川町浅川*0.5 田村市船引町=0.5 田村市常葉町*0.5 いわき市三和町=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*0.5				
130	30 18 58	山形県庄内地方 山形県 新潟県	38° 33.9' N	139° 37.3' E	9km	M: 3.2
		1 鶴岡市温海川=1.0 鶴岡市温海*1.0 1 村上市府屋*0.8				
131	31 09 59	新潟県上越地方 新潟県	36° 59.7' N	137° 57.6' E	2km	M: 2.2
		1 糸魚川市大野*0.8				
132	31 19 32	茨城県南部 茨城県	36° 04.8' N	139° 52.9' E	46km	M: 3.3
		2 城里町小勝*1.9 桜川市羽田*1.6 笠間市下郷*1.5 常陸大宮市北町*1.5 1 笠間市笠間*1.4 筑西市門井*1.4 小美玉市小川*1.3 水戸市内原町*1.2 坂東市馬立*1.2 笠間市石井*1.1 土浦市常名=1.1 桜川市岩瀬*1.1 筑西市海老ヶ島*1.0 石岡市柿岡=1.0 筑西市二木成*0.9 笠間市中央*0.9 小美玉市上玉里*0.9 坂東市役所*0.9 水戸市金町=0.9 土浦市藤沢*0.9 小美玉市堅倉*0.8 下妻市本城町*0.8 坂東市山*0.7 城里町石塚*0.7 筑西市舟生=0.7 水戸市千波町*0.7 常陸大宮市山方*0.7 かすみがうら市上土田*0.6 城里町阿波山*0.6 桜川市真壁*0.5 石岡市若宮*0.5 つくば市天王台*0.5 坂東市岩井=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.3 下野市田中*1.3 下野市笹原*1.3 栃木市旭町=1.1 真岡市田町*0.8 栃木市岩舟町静*0.8 真岡市荒町*0.7 栃木市藤岡町藤岡*0.6 益子町益子=0.6 栃木市西方町本城*0.5 群馬県 1 板倉町板倉=0.9 群馬明和町新里*0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*0.8 久喜市下早見=0.6 久喜市鷺宮*0.5 春日部市金崎*0.5				

令和4年7月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
133	31 22 33	千葉県 1 野田市東宝珠花*=0.5 鹿兒島県大隅地方 2 都城市菖蒲原=1.5 都城市姫城町*=1.5 宮崎県 鹿兒島県 1 曾於市大隅町中之内*=1.4 霧島市福山町牧之原*=0.9 霧島市国分中央*=0.8 曾於市財部町南俣*=0.8 曾於市末吉町二之方*=0.6 鹿屋市札元*=0.5 霧島市隼人町内山田=0.5	31° 37.7' N	130° 57.7' E	7km	M: 2.9
134	31 22 35	和歌山県北部 2 和歌山市男野芝丁=2.2 和歌山市一番丁*=2.2 和歌山県 1 紀美野町下佐々*=1.2 有田市初島町*=1.0 海南市下津*=0.9 海南市南赤坂*=0.7 大阪府 1 大阪岬町深日*=1.2 兵庫県 1 洲本市物部=0.5	34° 12.0' N	135° 11.7' E	5km	M: 3.3
135	31 23 22	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市男野芝丁=1.3 和歌山市一番丁*=1.3	34° 12.0' N	135° 11.5' E	5km	M: 2.6

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <令和3年（2021年）8月～令和4年（2022年）7月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和3年（2021年）											
8月	97	40	10	4						151	茨城県沖の地震活動 （3日から4日の期間：震度3：1回、震度2：4回、震度1：9回） 石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：9回、13日16時50分に発生した能登半島沖の地震（最大震度1）を含む）
9月	101	36	17	1	1					156	16日 石川県能登地方（震度5弱） 岐阜県飛騨地方の地震活動 （19日以降30日現在：震度4：1回、震度3：2回、震度2：8回、震度1：21回）
10月	73	32	11	3		2				121	6日 岩手県沖（震度5強） 7日 千葉県北西部（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度3：3回、震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震3回を含む）
11月	71	42	13	2						128	石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度3：2回、震度2：6回、震度1：2回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 鹿児島県薩摩地方の地震活動 （29日以降30日現在：震度2：6回、震度1：4回）
12月	316	119	30	6	2	1				474	3日 山梨県東部・富士五湖（震度5弱） 3日 紀伊水道（震度5弱） 9日 トカラ列島近海（震度5強） トカラ列島近海の地震活動 （12月中：震度5強：1回、震度4：2回、震度3：15回、震度2：85回、震度1：205回） 伊豆大島近海の地震活動 （4日から17日の期間：震度2：7回、震度1：18回）
令和4年（2022年）											
1月	108	43	14			2				167	4日 父島近海（震度5強） 父島近海の地震活動 （4日以降31日現在：震度5強：1回、震度2：3回、震度1：10回） 22日 日向灘（震度5強） 日向灘の地震活動 （22日以降31日現在：震度5強：1回、震度3：5回、震度2：8回、震度1：28回） 石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度2：3回、震度1：3回）
2月	85	51	8	1						145	石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：1回、震度2：1回、震度1：4回） 沖縄本島北西沖の地震活動 （9日以降28日現在：震度2：5回、震度1：8回） トカラ列島近海の地震活動 （13日以降28日現在：震度3：1回、震度2：5回、震度1：6回）
3月	172	71	19	8	1	1		1		273	16日 福島県沖（震度6強） （3月中：震度6強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：10回、震度2：26回、震度1：68回） 18日 岩手県沖（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度4：2回、震度3：3回、震度2：6回、震度1：11回） 沖縄本島北西沖の地震活動 （3月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：9回）
4月	113	45	9	7	1					175	19日 茨城県北部（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度4：2回、震度3：1回、震度2：8回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （4月中：震度2：4回、震度1：12回） 福島県沖の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度2：4回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震3回を含む）
5月	97	31	17	3	1					149	22日 茨城県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （5月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：11回、能登半島沖で発生した地震1回を含む） 福島県沖の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：6回、震度1：11回、宮城県沖で発生した地震2回を含む） 京都府南部の地震活動 （5月中：震度4：1回、震度2：1回、震度1：5回）
6月	121	44	13	3	1	1	1			184	19日 石川県能登地方（震度6弱） （6月中：震度6弱：1回、震度5強：1回、震度4：1回、震度3：3回、震度2：9回、震度1：30回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 26日 熊本県熊本地方（震度5弱） 福島県沖の地震活動 （6月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震5回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （6月中：震度2：4回、震度1：8回） 京都府南部の地震活動 （6月中：震度2：1回）
7月	89	35	9	2						135	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） 福島県沖の地震活動 （7月中：震度2：3回、震度1：4回、宮城県沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （7月中：震度2：4回、震度1：1回）
2022年計	785	320	89	24	4	4	1	1	0	1228	
過去1年計	1443	589	170	40	7	7	1	1	0	2258	（令和3年8月～令和4年7月）

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈令和3年（2021年）8月～令和4年（2022年）7月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和3年（2021年）								
8月	457	90	15	2		564	107	4日 茨城県沖（M6.0） 5日 台湾付近（M6.3）
9月	309	66	10	3		388	79	14日 東海道南方沖（M6.0） 21日 千島列島（M6.6） 29日 日本海中部（M6.1）
10月	303	63	13	1		380	77	24日 台湾付近（M6.3）
11月	339	79	5	2		425	86	11日 宮古島近海（M6.5） 29日 鳥島近海（M6.4）
12月	604	134	12	2		752	148	9日 トカラ列島近海（M6.1） 26日 宮古島近海（M6.1）
令和4年（2022年）								
1月	400	80	2	3		485	85	3日 台湾付近（M6.3） 4日 父島近海（M6.1） 22日 日向灘（M6.6）
2月	388	79	10			477	89	
3月	952	168	24	2	1	1147	195	16日23時34分 福島県沖（M6.1） 16日23時36分 福島県沖（M7.4） 23日 台湾付近（M6.6）
4月	491	124	22	1		638	147	24日 千島列島（M6.2）
5月	459	76	18	3		556	97	9日 与那国島近海（M6.6） 22日 茨城県沖（M6.0） 23日 八丈島東方沖（M6.1）
6月	441	96	12	3		552	111	20日 台湾付近（M6.4） 21日 父島近海（M6.1）
7月	383	71	12			466	83	
2022年計	3514	694	100	12	1	4321	807	
過去1年計	5526	1126	155	22	1	6830	1304	（令和3年8月～令和4年7月）

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和4年7月に長周期地震動階級*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和4年7月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0						7

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和3年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202112/202112furoku_10.pdf

●付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和4年7月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は49回であった。

平成19年10月～令和4年7月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)						12(578)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。